

和歌山県高齢者等生活意識調査 (要支援・要介護者調査)

報 告 書

令和8年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2 要支援・要介護者調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 住まい、住み替えなどについて	15
(4) 介護サービスの利用状況などについて	20
(5) 買い物など日常の状況について	31
(6) 身体状況や医療などについて	38
(7) リハビリなどについて	42
(8) 自宅での看取りの考え方などについて	45
(9) 介護保険制度などについて	50
(10) 介護者について	53
(11) 自由意見	79
3 調査間の比較	81
(1) 回答者の属性	81
(2) 日常生活について	83
(3) 医療等の状況について	86
(4) 住まい、住み替えなどについて	87
(5) 看取りなどについて	89
(6) 介護保険制度について	91
(7) 認知症について	92
参考資料：アンケート調査票	94

1 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収する方法で実施すると同時に、WEB回答による回収方法も併用しました。

高齢者一般調査	令和7年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計2,300人を抽出
要支援・要介護者調査	令和7年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計1,600人を抽出
第2号被保険者調査	令和7年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計1,600人を抽出

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下のとおりです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	2,300	1,600	1,600
配布実数※	2,285	1,589	1,597
回収数	1,362 (内WEB回答104)	687 (内WEB回答70)	735 (内WEB回答300)
回収率	59.6%	43.2%	46.0%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**要支援・要介護者調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、令和2年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数(回答者数)は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率(%)です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の 카테고リーに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)
海南市	新宮市 (旧熊野川町)
橋本市	紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市 (旧田辺市)	九度山町
新宮市 (旧新宮市)	高野町
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

2 要支援・要介護者調査の結果

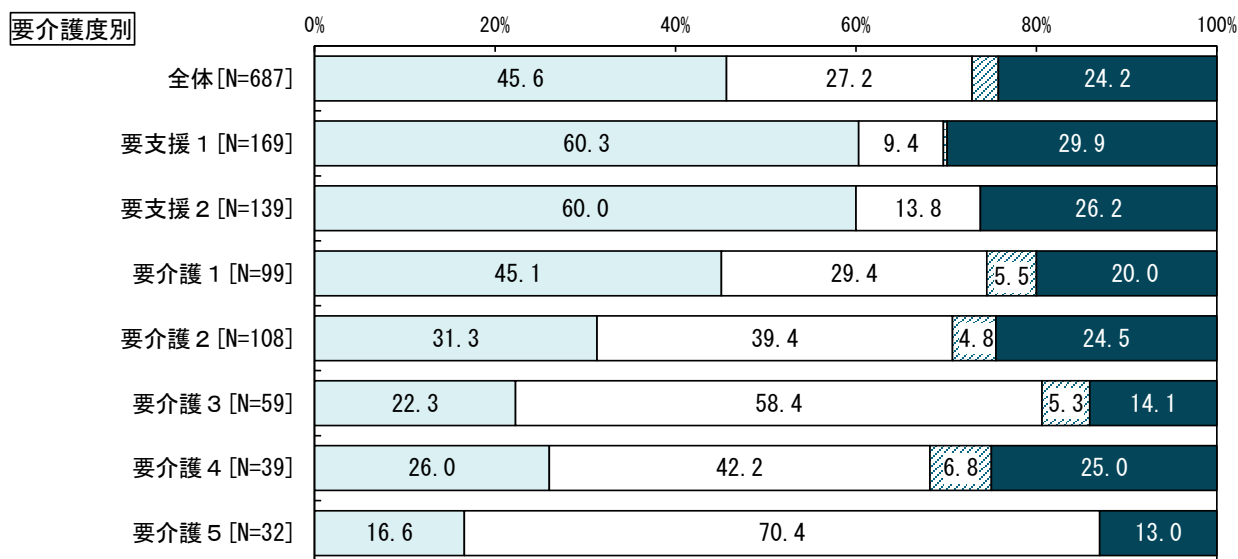
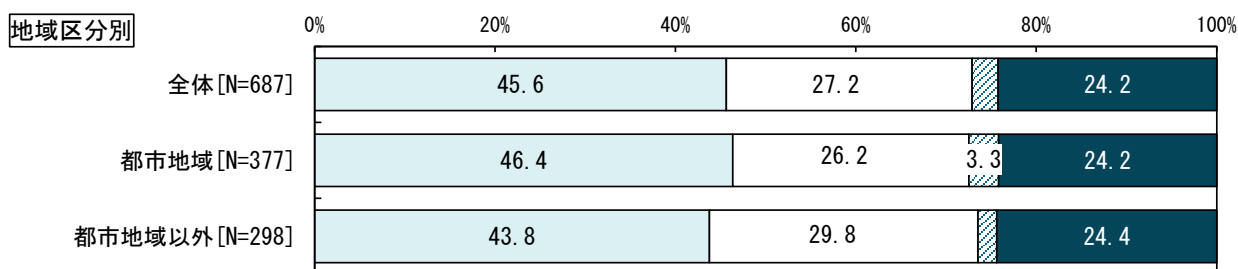
(1) 回答者

質問文

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

○ 調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が45.6%で最も多くなっています。

図表1 回答者



- あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
- ご家族がご本人の代わりに回答
- ご家族以外の方がご本人の代わりに回答
- 無回答

(2) 回答者の属性

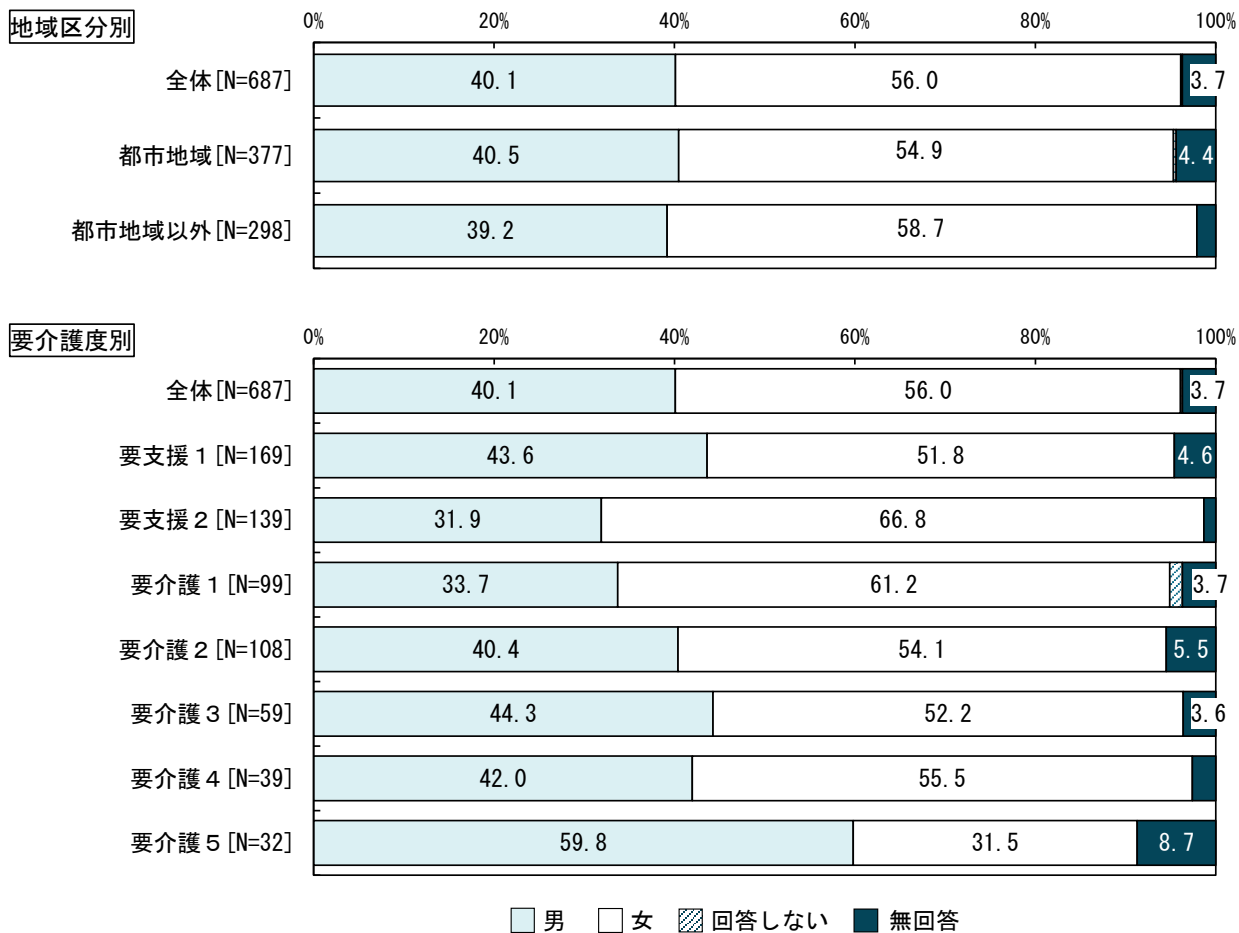
(2) - ① 性別

質問文

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

○ 回答者の性別は、「女」が56.0%、「男」が40.1%となっています。

図表2 性別



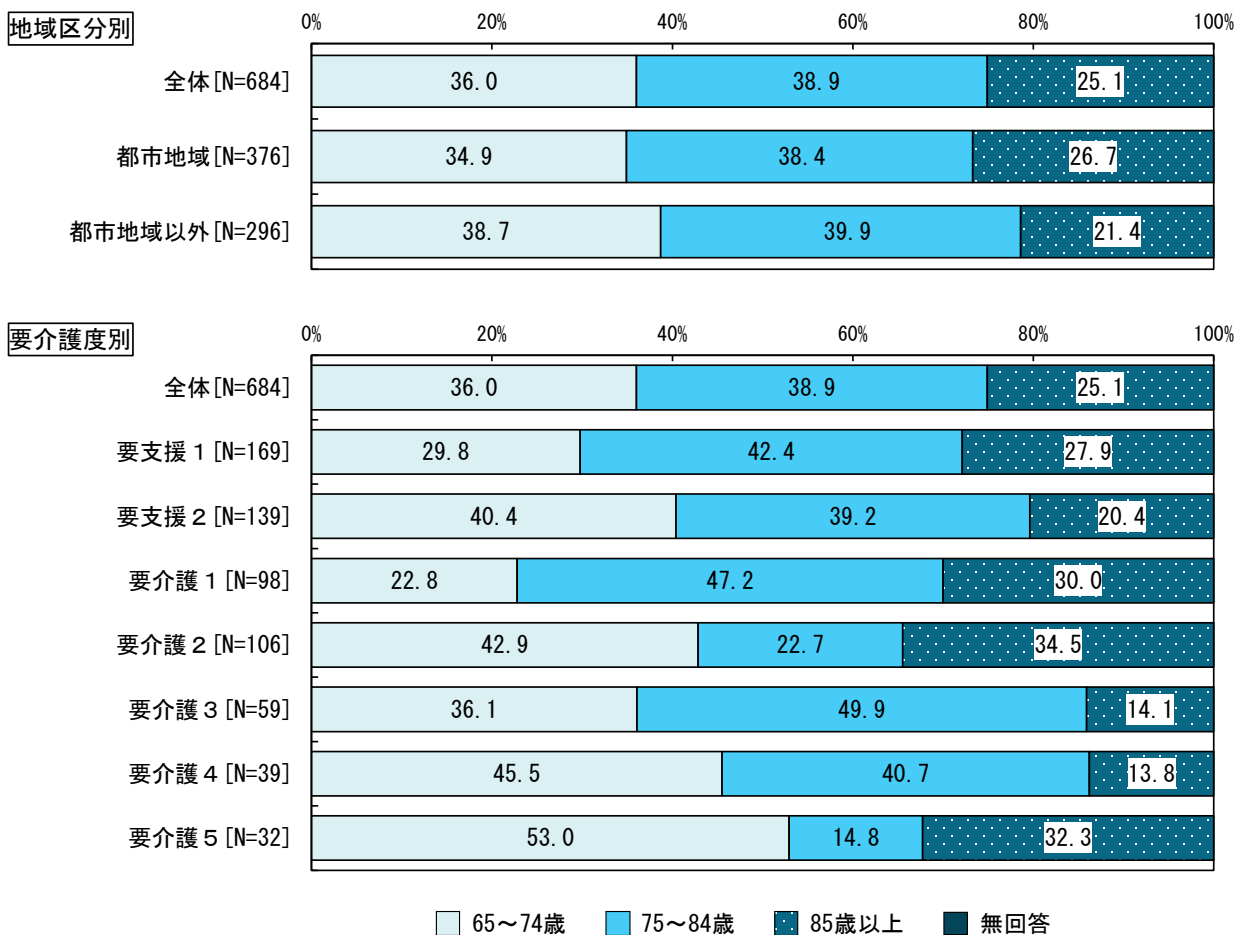
(2) - ② 年齢区分

質問文

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

○ 回答者の年齢区分は、「75～84歳」が38.9%、「65～74歳」が36.0%、「85歳以上」が25.1%となっています。

図表3 年齢区分



(2) - ③ 居住市町村

質問文

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

○ 居住市町村については、以下のとおりとなっています。

図表4 居住市町村

全体 [N=687]			
和歌山市	35.7	広川町	0.8
海南市	5.9	有田川町	2.8
橋本市	6.5	美浜町	0.9
有田市	3.1	日高町	0.8
御坊市	2.5	由良町	0.7
田辺市 (旧田辺市)	6.1	印南町	0.9
田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.5	みなべ町	1.2
新宮市 (旧新宮市)	3.2	日高川町	1.2
新宮市 (旧熊野川町)	0.2	白浜町	2.6
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	3.3	上富田町	1.3
紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	3.1	すさみ町	0.6
岩出市	4.2	那智勝浦町	2.1
紀美野町	1.4	太地町	0.5
かつらぎ町	2.2	古座川町	0.5
九度山町	0.5	北山村	0.1
高野町	0.4	串本町	2.3
湯浅町	1.4		

(単位 : %)

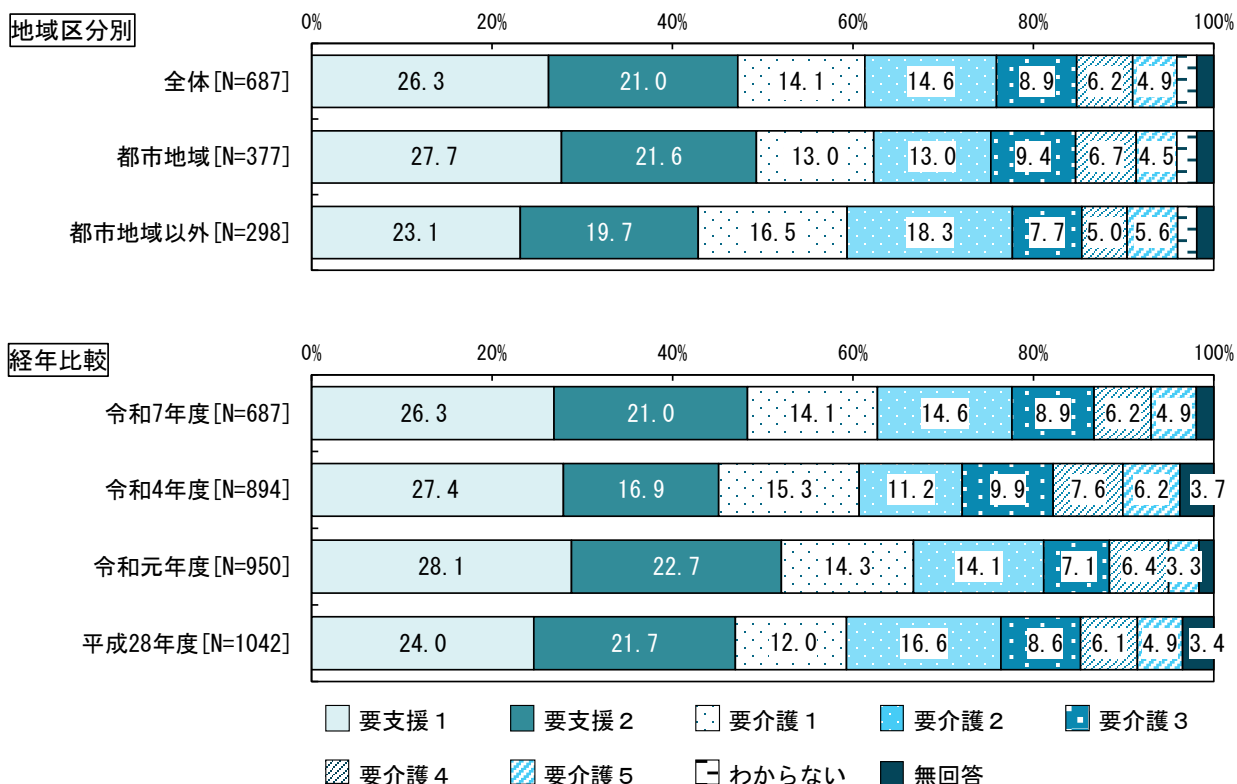
(2) - ④ 要介護度

質問文

問4 あなたの要介護度は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- 回答者の要介護度は、「要支援1」が26.3%、「要支援2」が21.0%、「要介護2」が14.6%等となっています。
- 地域区別では、都市地域は都市地域以外に比べて「要支援1」の割合が多くなっています。

図表5 要介護度



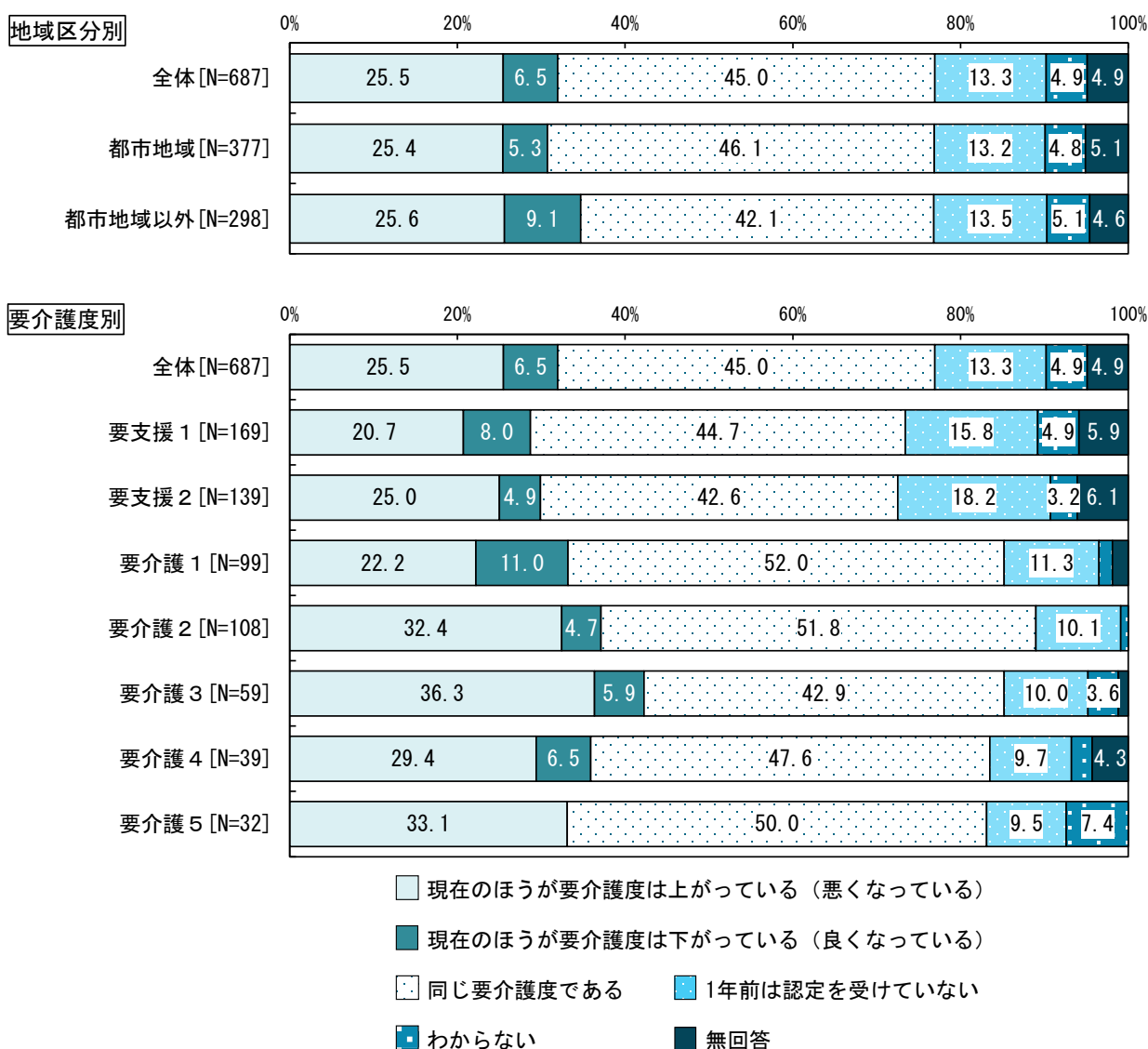
(2) - ⑤ 1年前と比べた要介護度の変化

質問文

問5 あなたの要介護度は、1年前と比べて、どのように変化していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1年前と比べた要介護度の変化は、「同じ要介護度である」が45.0%、「現在のほうが要介護度は上がっている（悪くなっている）」が25.5%等となっています。
- 要介護度別では、要介護2~3や要介護5で「現在のほうが要介護度は上がっている（悪くなっている）」が多くなっています。

図表6 1年前と比べた要介護度の変化



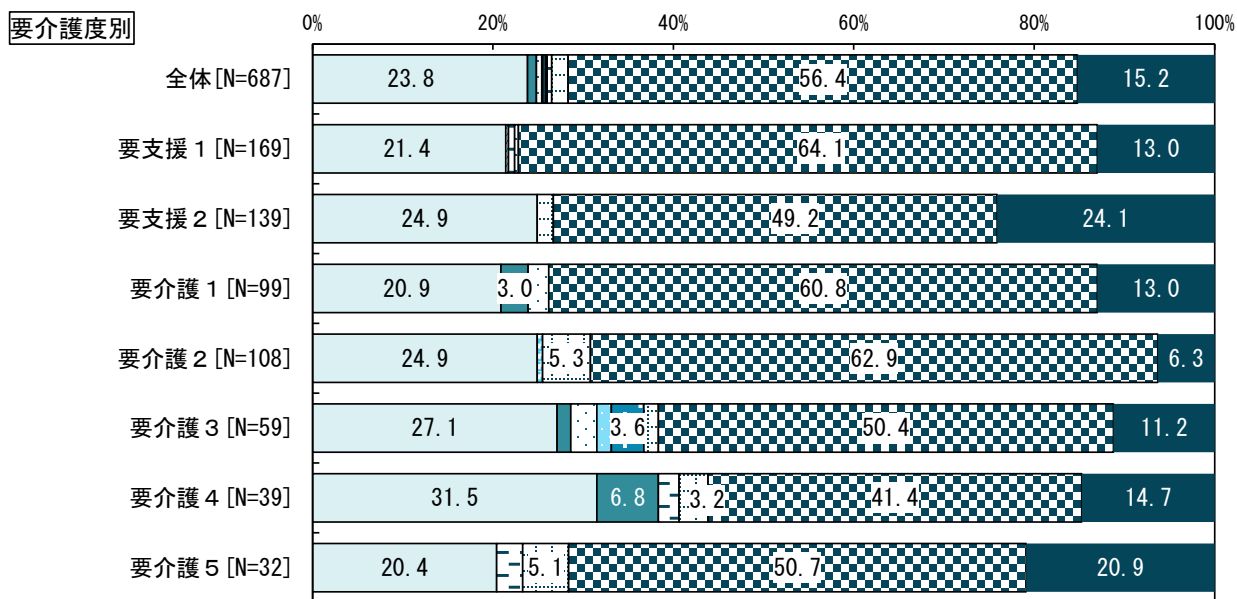
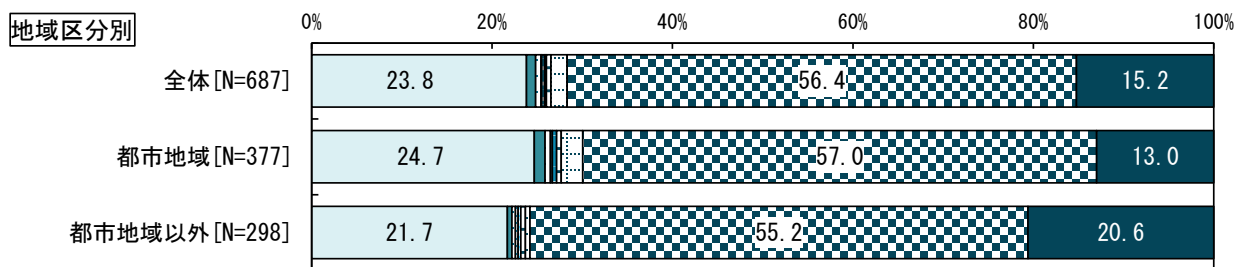
(2) - ⑥ 過去3年間の転居の有無と転居前の住まい

質問文

問6 あなたは過去3年間で住み替えたことがありますか。ある場合、現在のお住まいの前はどちらにお住まいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

○ 過去3年間で転居した人の転居前の住まいについて、「一般の住宅」が23.8%です。一方、「住み替えたことがない」は56.4%で、最も多くなっています。

図表7 過去3年間の転居の有無と転居前の住まい



- 一般の住宅
- サービス付き高齢者向け住宅
- 有料老人ホーム
- 軽費老人ホーム(ケアハウス)
- 認知症高齢者グループホーム
- 生活支援ハウス、養護老人ホーム
- 特別養護老人ホーム
- 老人保健施設、介護医療院
- 病院等に入院(医療保険、介護保険)
- 過去3年間で住み替えたことがない
- 無回答

(2) - ⑦ 過去3年間の転居理由

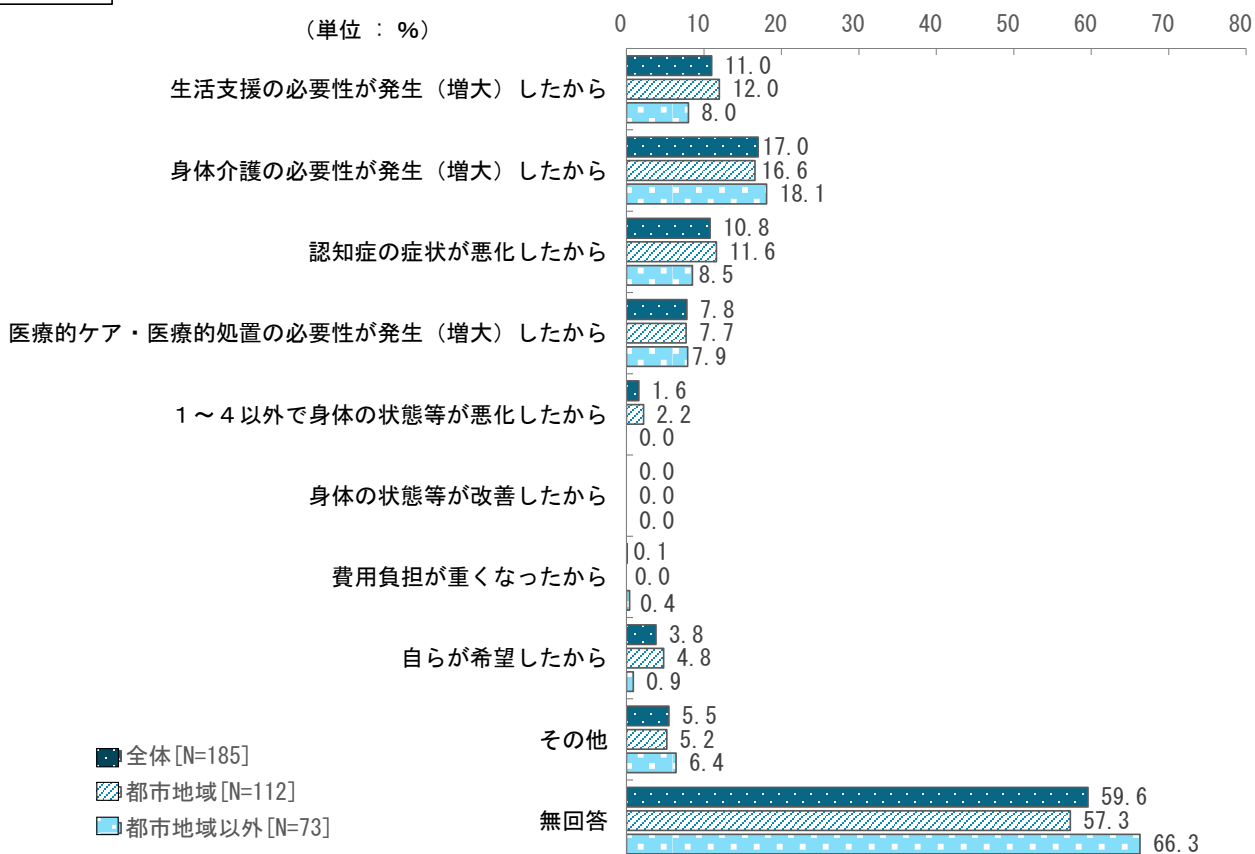
質問文

問7 住み替えたのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

○ 転居理由は、「身体介護の必要性が発生（増大）したから」が17.0%、「生活支援の必要性が発生（増大）したから」が11.0%、「認知症の症状が悪化したから」が10.8%等となっています。

図表8 過去3年間の転居理由（複数回答）

地域区分別



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=185]	要支援		要介護				
		1 [N=42]	2 [N=34]	1 [N=25]	2 [N=29]	3 [N=20]	4 [N=17]	5 [N=10]
生活支援の必要性が発生（増大）したから	11.0	3.3	3.4	18.2	14.0	18.8	28.6	0.0
身体介護の必要性が発生（増大）したから	17.0	3.3	0.0	8.7	39.5	39.2	22.1	41.9
認知症の症状が悪化したから	10.8	2.2	0.0	11.5	16.5	35.2	5.1	30.5
医療的ケア・医療的処置の必要性が発生（増大）したから	7.8	1.7	6.7	2.8	11.3	6.5	17.0	30.6
1～4以外で身体の状態等が悪化したから	1.6	0.0	0.0	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0
身体の状態等が改善したから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
費用負担が重くなったから	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自らが希望したから	3.8	1.5	0.0	10.4	6.2	9.4	0.0	0.0
その他	5.5	1.5	10.8	2.8	7.7	7.3	0.0	0.0
無回答	59.6	93.2	79.2	57.1	33.6	14.8	60.8	14.3

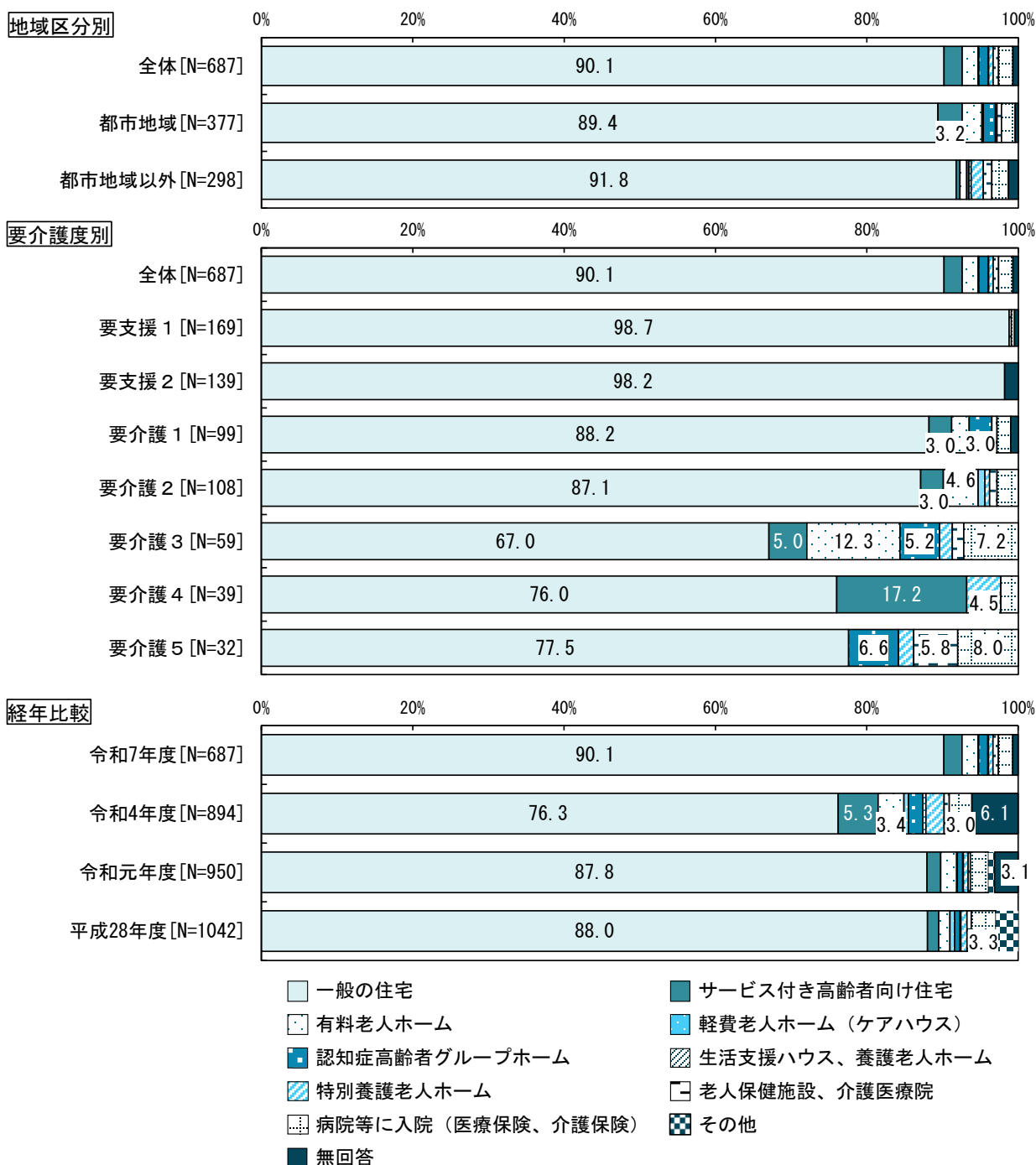
(2) - ⑧ 現在の住まい

質問文

問 8 あなたは現在、どちらにいらっしゃいますか。(あてはまるもの1つに○)

- 現在の住まいは、「一般の住宅」が90.1%と多くなっています。
- 要介護度別では、要介護3と5で「病院等に入院（医療保険、介護保険）」の人が多くなっています。
- 経年比較では、令和7年度は、「一般の住宅」の割合がこれまでで最も高くなっています。

図表 9 現在の住まい



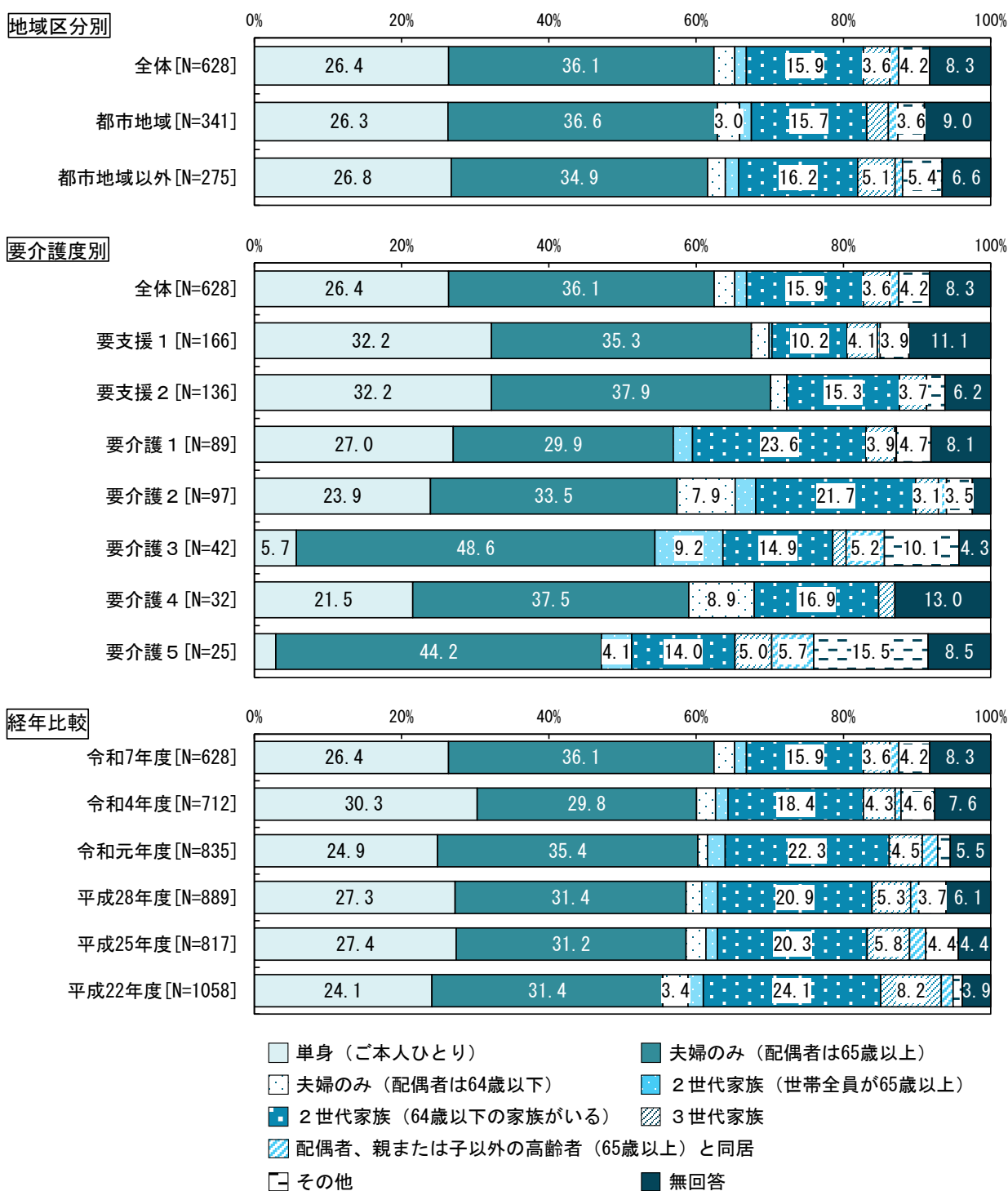
(2) - ⑨ 世帯構成

質問文

問9 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- 回答者の世帯構成は、「単身」が26.4%、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が36.1%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が15.9%等となっています。
- 要介護度別では、要支援1,2で「単身（ご本人ひとり）」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「単身（ご本人ひとり）」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」を合わせた割合が増えてきています。

図表10 世帯構成



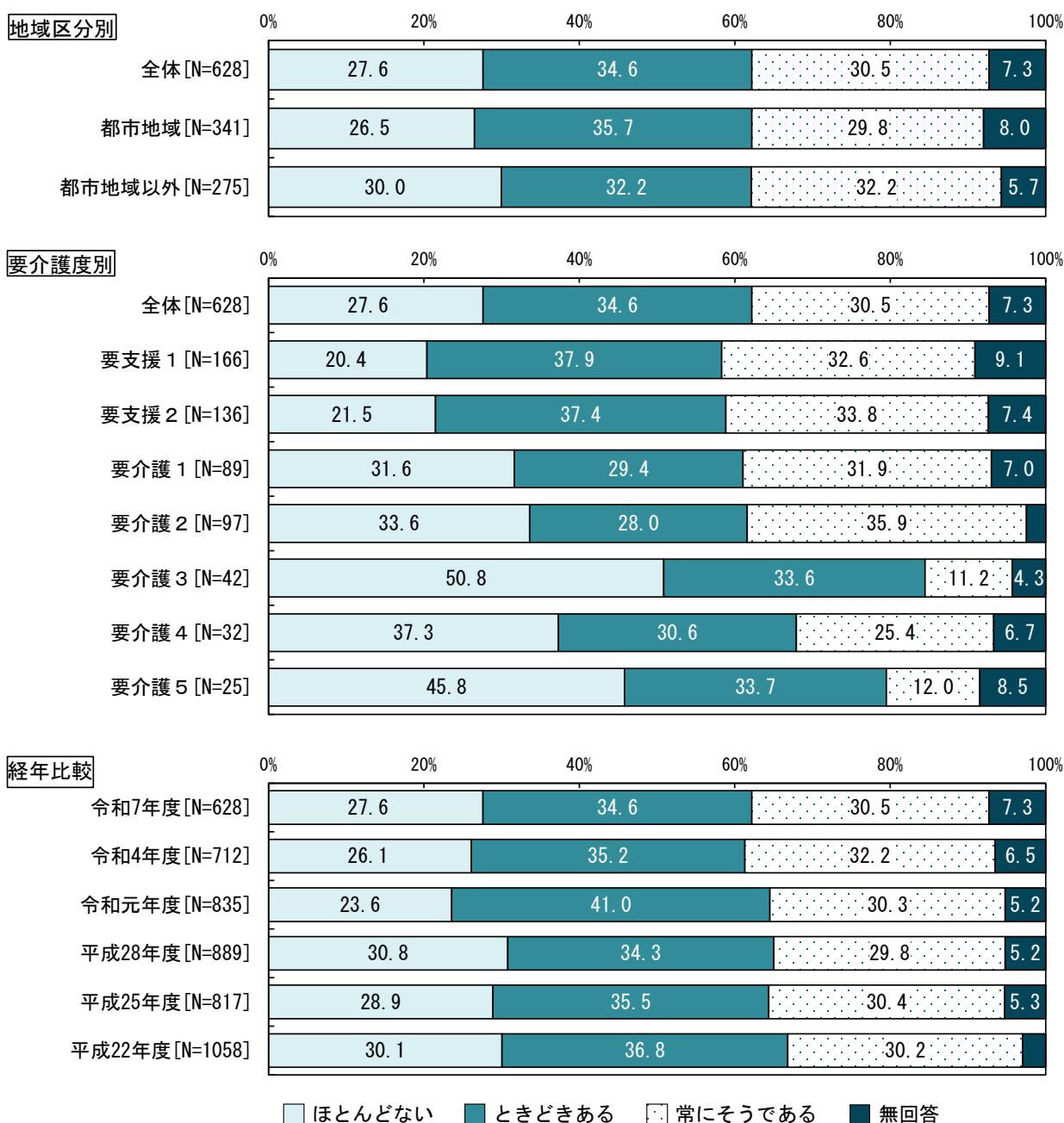
(2) - ⑩ 昼間ひとりきりになることの有無

質問文

問10 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 昼間ひとりきりになることの有無について聞いたところ、「ときどきある」が34.6%、「常にそうである」が30.5%、「ほとんどない」が27.6%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ほとんどない」が多くなっています。要介護度別では、要介護度が重くなるほど「ほとんどない」が増加する傾向があります。
- 経年比較では、令和4年度と比べて、大きな変動はありません。

図表11 昼間ひとりきりになることの有無



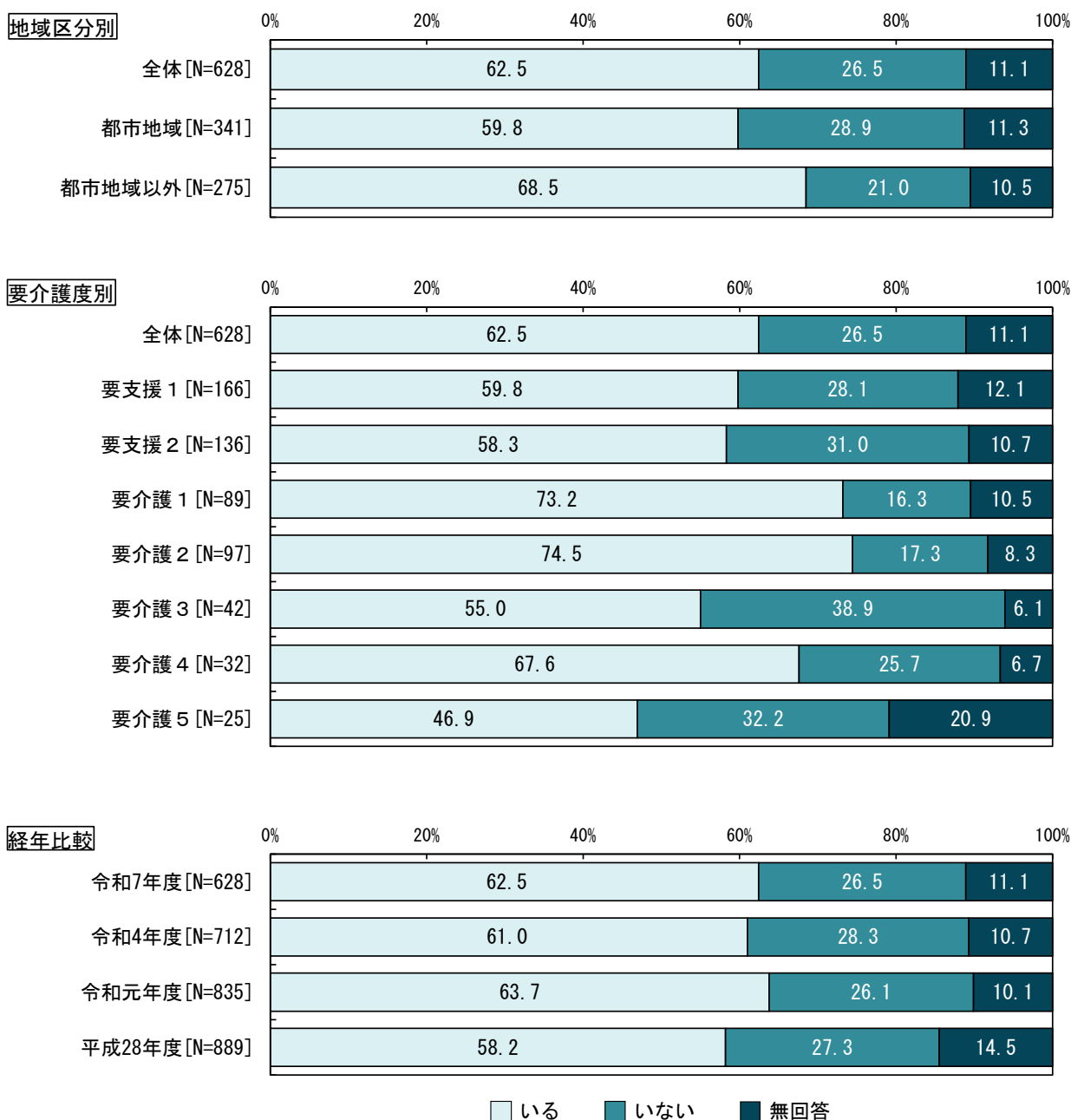
(2) - ⑪ 別居で生活を支援してくれる子や孫、親せきなどの有無

質問文

問 11 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。(いずれか1つに○)

- 別居で生活を支援してくれる子や孫、親せきなどの有無について聞いたところ、「いる」が62.5%、「いない」が26.5%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「いる」が多くなっています。要介護度別では、要介護1,2,4で「いる」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、大きな変動はありません。

図表 12 別居で生活を支援してくれる子や孫、親せきなどの有無



(3) 住まい、住み替えなどについて

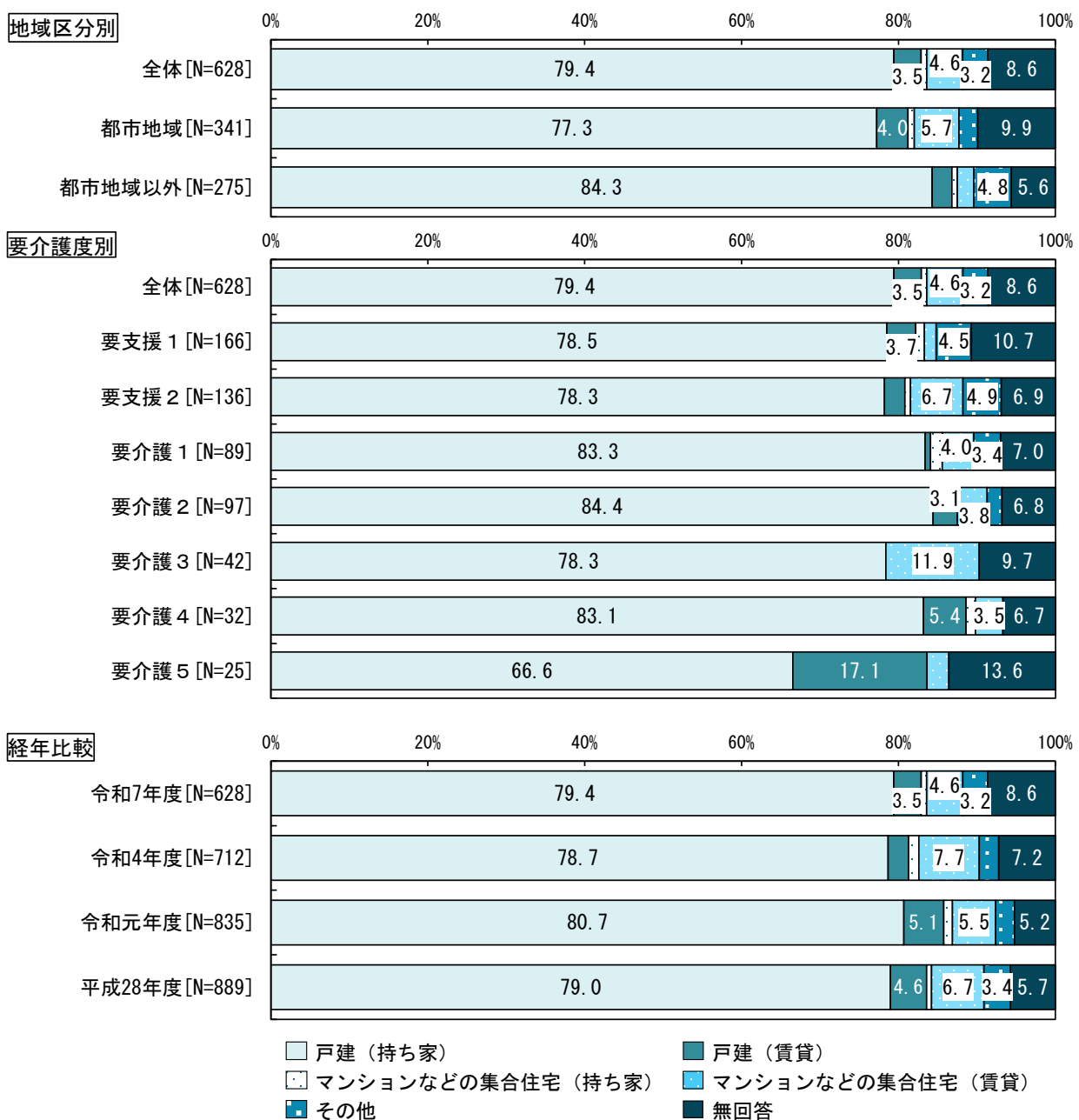
(3) - ① 現在の住まいの種類

質問文

問 12 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- 一般の住宅に住んでいる人の、現在の住まいの種類について聞いたところ、「戸建（持ち家）」が79.4%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「戸建（持ち家）」が多くなっています。要介護度別では、要介護1,2,4で「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、大きな変動はありません。

図表 13 現在の住まいの種類



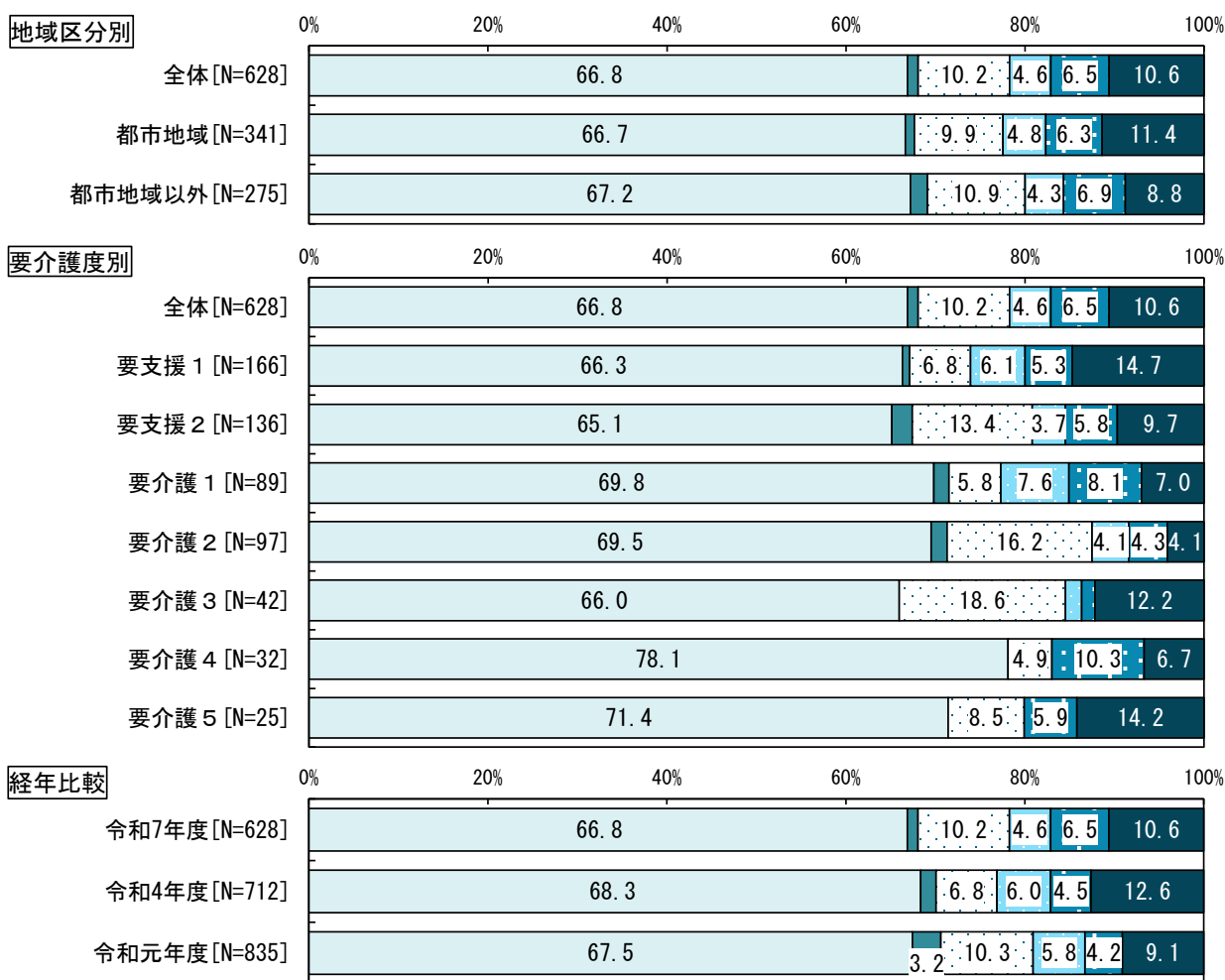
(3) - ② 介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向

質問文

問 13 あなたは、今後、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

- 現在の住まいから、介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向については、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が66.8%となっています。
- 地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別では、要介護1, 2, 4, 5で「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっています。
- 経年比較では、大きな変動はありません。

図表 14 介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向



- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

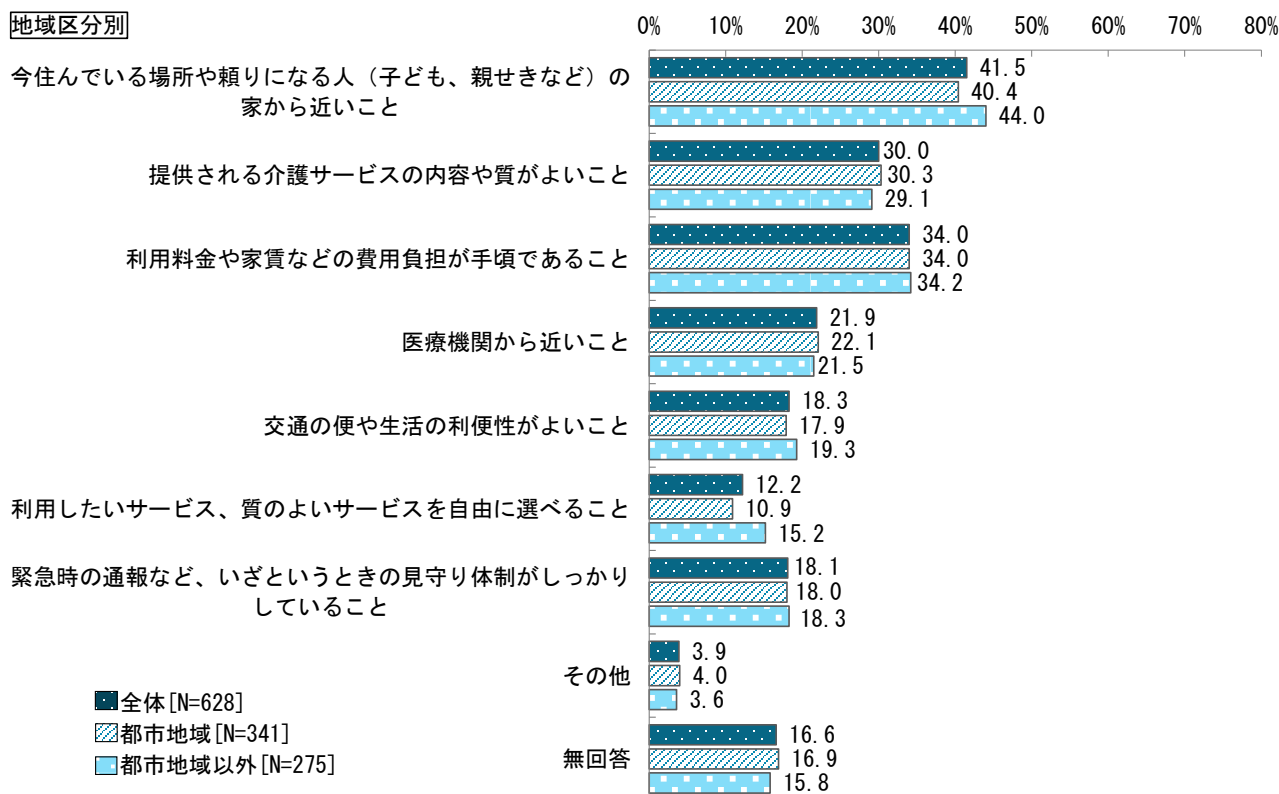
(3) - ③ 住み替えで重視すること

質問文

問 14 もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

- 住み替えを考える場合に、重視することについて聞いたところ、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が41.5%、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が34.0%、「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」が30.0%、「医療機関から近いこと」が21.9%等と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「今住んでいる場所や頼りになる人の家から近いこと」が多くなっています。要介護度別では、要支援2及び要介護2,3で「今住んでいる場所や頼りになる人の家から近いこと」が多くなっています。

図表 15 住み替えで重視すること（3つまで○）



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=628]	要支援		要介護				
		1 [N=166]	2 [N=136]	1 [N=89]	2 [N=97]	3 [N=42]	4 [N=32]	5 [N=25]
今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと	41.5	39.2	44.6	39.3	46.5	49.8	38.1	38.0
提供される介護サービスの内容や質がよいこと	30.0	18.0	31.6	31.6	36.0	49.1	43.3	46.6
利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること	34.0	31.4	37.3	36.6	39.3	44.5	18.7	28.1
医療機関から近いこと	21.9	26.3	24.4	17.1	20.9	15.4	17.6	14.1
交通の便や生活の利便性がよいこと	18.3	21.8	15.9	18.0	18.0	15.4	11.2	17.2
利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること	12.2	14.6	11.2	8.9	10.6	10.7	10.9	23.3
緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること	18.1	20.5	18.1	11.6	22.6	28.6	9.7	13.0
その他	3.9	2.9	3.5	7.5	3.6	5.4	0.0	5.7
無回答	16.6	16.9	13.5	18.3	12.3	13.1	25.2	21.0

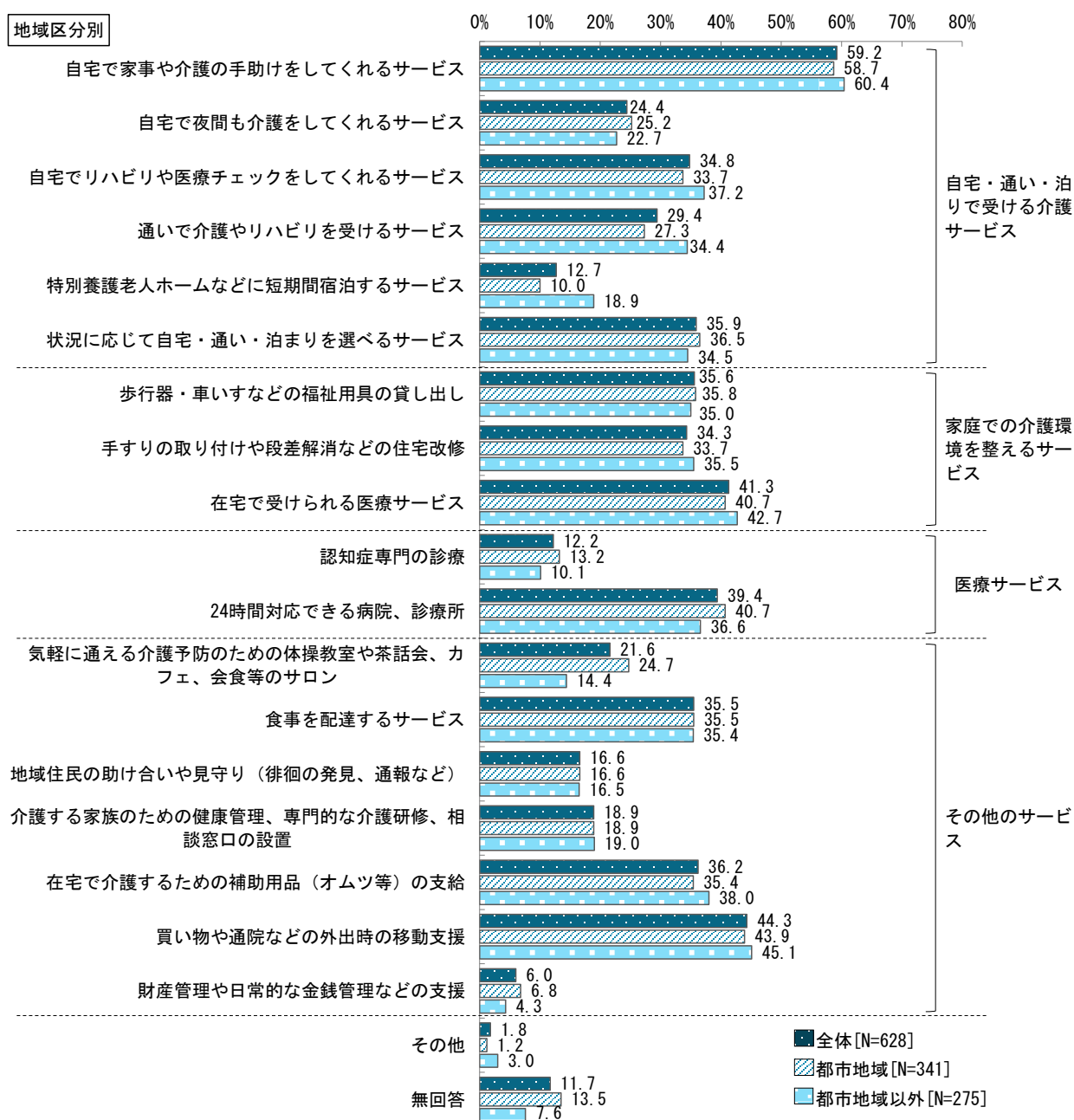
(3) - ④ 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくために必要なサービス

質問文

問 15 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくためには、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

- 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくために、必要なサービスについて聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が59.2%と最も多く、次いで、「買い物や通院などの外出時の移動支援」が44.3%、「在宅で受けられる医療サービス」が41.3%、「24時間対応できる病院、診療所」が39.4%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「通いで介護やリハビリを受けるサービス」や「特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス」の割合が多くなっています。

図表 16 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくために必要なサービス（複数回答）



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=628]	要支援		要介護					
		1 [N=166]	2 [N=136]	1 [N=89]	2 [N=97]	3 [N=42]	4 [N=32]	5 [N=25]	
自宅・通い・泊りで 受ける介護 サービス	自宅で家事や介護の手助けをして くれるサービス	59.2	60.1	63.6	50.1	64.4	67.9	56.6	61.1
	自宅で夜間も介護をしてくれる サービス	24.4	20.2	23.3	27.4	28.8	29.0	30.1	37.6
	自宅でリハビリや医療チェックを してくれるサービス	34.8	25.6	38.6	36.0	38.0	48.7	46.4	56.9
	通いで介護やリハビリを受ける サービス	29.4	27.4	24.5	30.2	47.8	29.1	29.3	24.9
	特別養護老人ホームなどに短期 間宿泊するサービス	12.7	4.4	7.9	17.4	25.0	22.1	23.7	20.3
	状況に応じて自宅・通い・泊まり を選ぶサービス	35.9	34.8	31.2	32.5	47.4	38.3	40.0	42.7
家庭での介護環境を整える サービス	歩行器・車いすなどの福祉用具 の貸し出し	35.6	27.8	40.3	31.5	47.1	54.2	39.3	25.9
	手すりの取り付けや段差解消な どの住宅改修	34.3	30.7	30.8	38.1	44.3	54.2	31.8	24.3
医療サービス	在宅で受けられる医療サービス	41.3	34.2	42.5	41.5	46.0	58.3	59.5	52.7
	認知症専門の診療	12.2	10.5	7.4	26.7	9.8	16.5	17.7	5.7
	24時間対応できる病院、診療 所	39.4	33.6	40.3	33.1	47.2	50.2	30.5	64.4
その他のサービス	気軽に通える介護予防のための 体操教室や茶話会、カフェ、会 食等のサロン	21.6	30.0	22.6	19.3	14.5	21.8	12.4	10.1
	食事を配達するサービス	35.5	35.1	44.6	43.0	32.9	31.8	17.8	12.8
	地域住民の助け合いや見守り (徘徊の発見、通報など)	16.6	15.1	15.9	20.6	14.4	24.2	8.2	14.3
	介護する家族のための健康管 理、専門的な介護研修、相談窓 口の設置	18.9	15.8	14.7	26.0	16.5	32.6	18.9	40.8
	在宅で介護するための補助用品 (オムツ等)の支給	36.2	28.5	28.2	32.1	41.4	68.4	61.7	65.2
	買い物や通院などの外出時の 移動支援	44.3	49.7	50.9	44.0	42.4	31.3	31.1	33.7
	財産管理や日常的な金銭管理 などの支援	6.0	5.0	4.0	14.3	4.3	13.6	3.5	0.0
その他	1.8	1.0	0.5	3.9	2.5	0.0	0.0	3.8	
無回答	11.7	13.1	11.7	16.7	3.4	9.7	8.9	13.6	

(4) 介護サービスの利用状況などについて

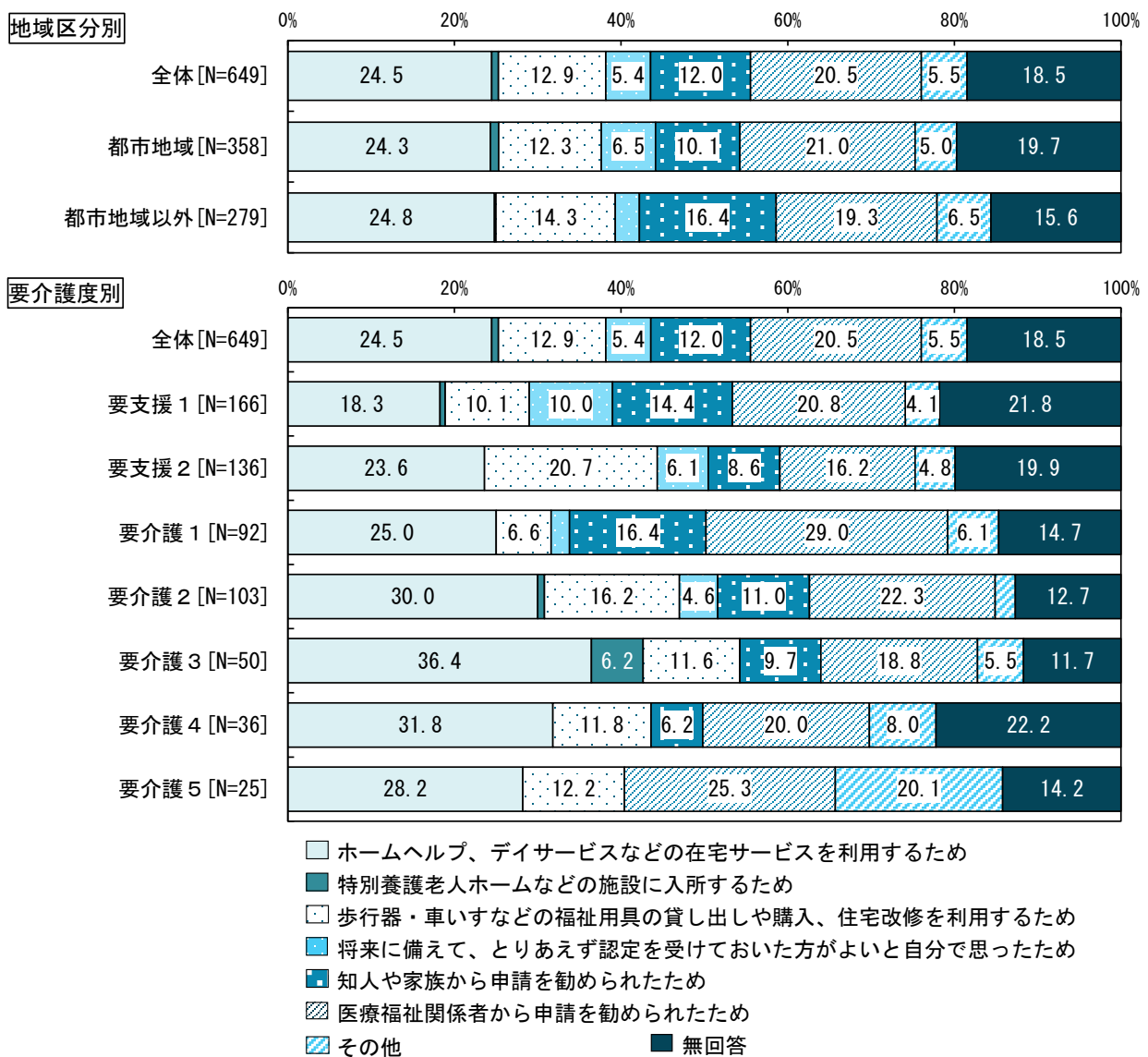
(4) - ① 介護認定を受けた理由

質問文

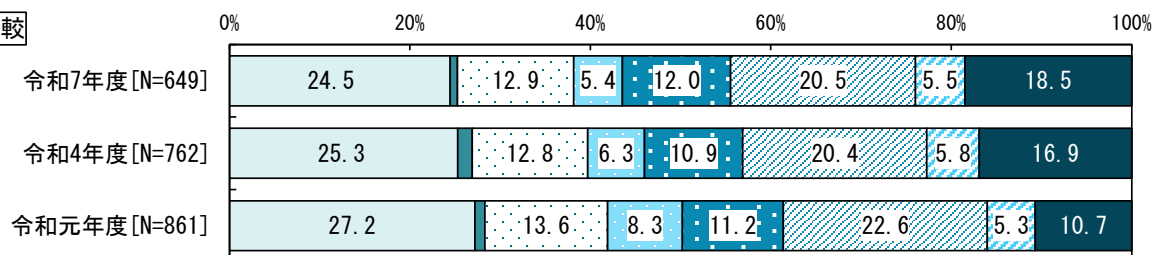
問 16 あなたが、要介護認定を受けられたのは、どのような理由からですか。(主にあてはまるもの1つに○)

- 介護認定を受けた理由について聞いたところ、「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため」が24.5%と最も多く、次いで、「医療福祉関係者から申請を勧められたため」が20.5%、「歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修を利用するため」が12.9%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「知人や家族から申請を勧められたため」が多くなっています。要介護度別では、要介護2~4で「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため」が多くなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 17 介護認定を受けた理由



経年比較



- ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため
- 特別養護老人ホームなどの施設に入所するため
- 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修を利用するため
- 将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと自分で思ったため
- 知人や家族から申請を勧められたため
- 医療福祉関係者から申請を勧められたため
- その他
- 無回答

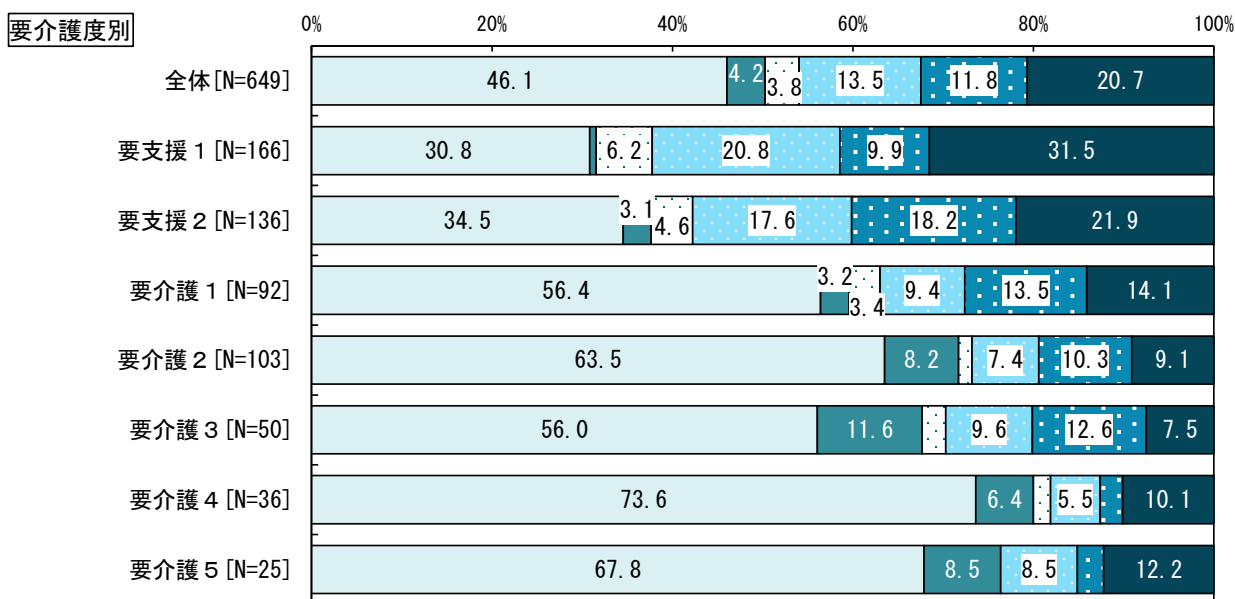
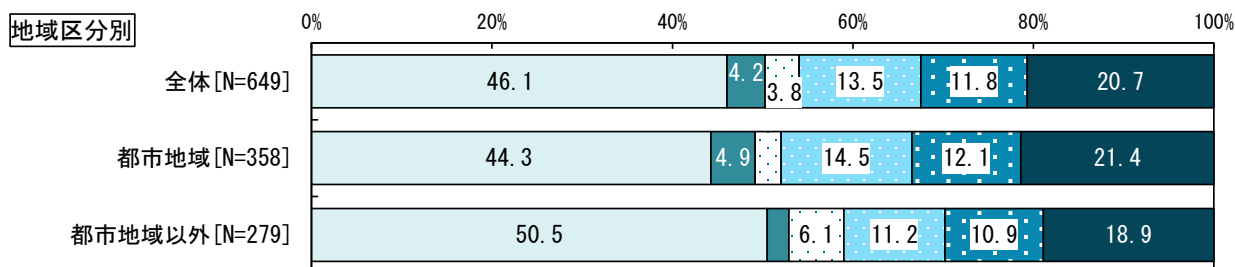
(4) - ② この1か月の間に利用した介護保険のサービス

質問文

問 17 あなたは、この1か月の間に、介護保険のサービスを利用しましたか。また、どのようなサービスを利用しましたか。(もっとも利用日数の多かったもの1つに○)

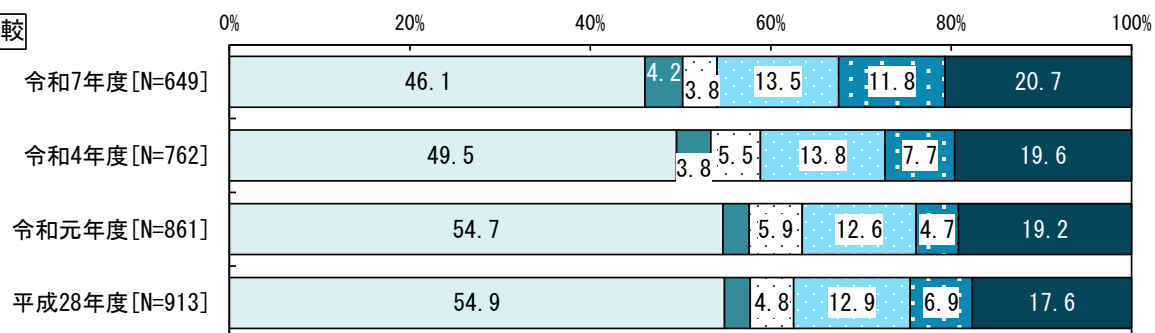
- この1か月の間に利用した介護保険のサービスとしては、「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が46.1%、一方、「要介護認定を受けてから、一度も利用していない」は13.5%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が多くなっています。要介護度別では、介護度が高くなるにつれて「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が多くなる傾向があります。
- 経年比較では、「ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」が減っています。

図表 18 この1か月の間に利用した介護保険のサービス



- ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用
- 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用
- 以前は利用していたが、この1か月は利用していない(利用を中断している)
- 要介護認定を受けてから、一度も利用していない
- その他
- 無回答

経年比較



- ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用
- 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用
- ◻ 以前は利用していたが、この1か月は利用していない（利用を中断している）
- 要介護認定を受けてから、一度も利用していない
- その他
- 無回答

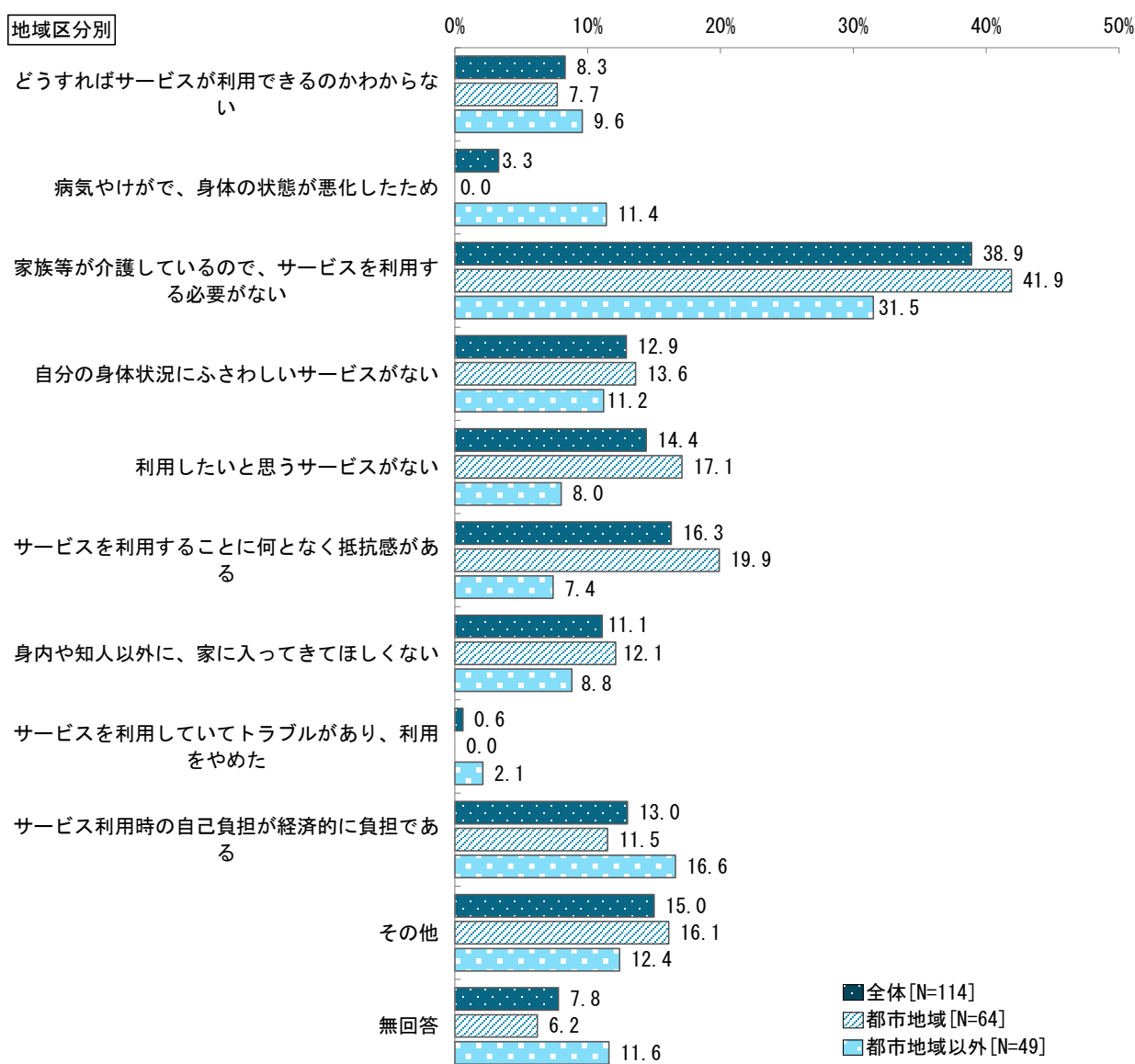
(4) - ③ 介護保険のサービスを利用していない理由

質問文

問 18 前の問で「3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない（利用を中断している）」または「4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない」と答えた方におたずねします。
あなたが介護保険のサービスを利用していないのはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 介護保険のサービスを利用していない人に、その理由について聞いたところ、「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が38.9%と最も多く、次いで、「サービスを利用することに何となく抵抗感がある」が16.3%、「利用したいと思うサービスがない」が14.4%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で都市地域に比べて「サービスを利用することに何となく抵抗感がある」「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」「利用したいと思うサービスがない」が少なくなっています。

図表 19 介護保険のサービスを利用していない理由（複数回答）



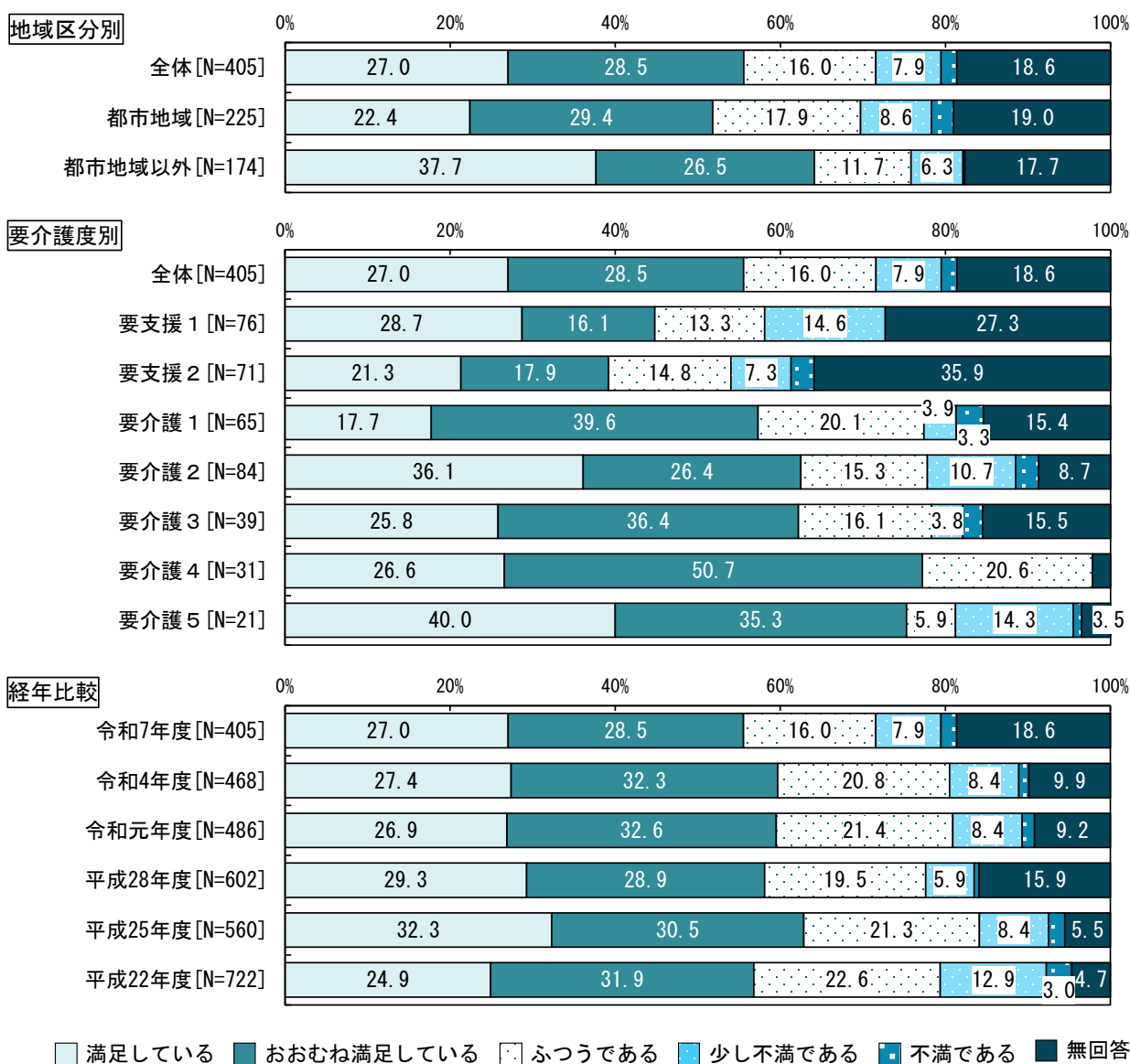
(4) - ④ 介護保険のサービスの満足度

質問文

問19 問17で「1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」または「2. 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用」と答えた方におたずねします。あなたは、介護保険のサービスに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 介護保険のサービスを利用している人に、サービスの満足度について聞いたところ、「満足している」が27.0%、「おおむね満足している」が28.5%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「満足している」が多くなっています。要介護度別では、要支援1,2で「満足している」「おおむね満足している」の合計が少なくなっています。

図表 20 介護保険のサービスの満足度



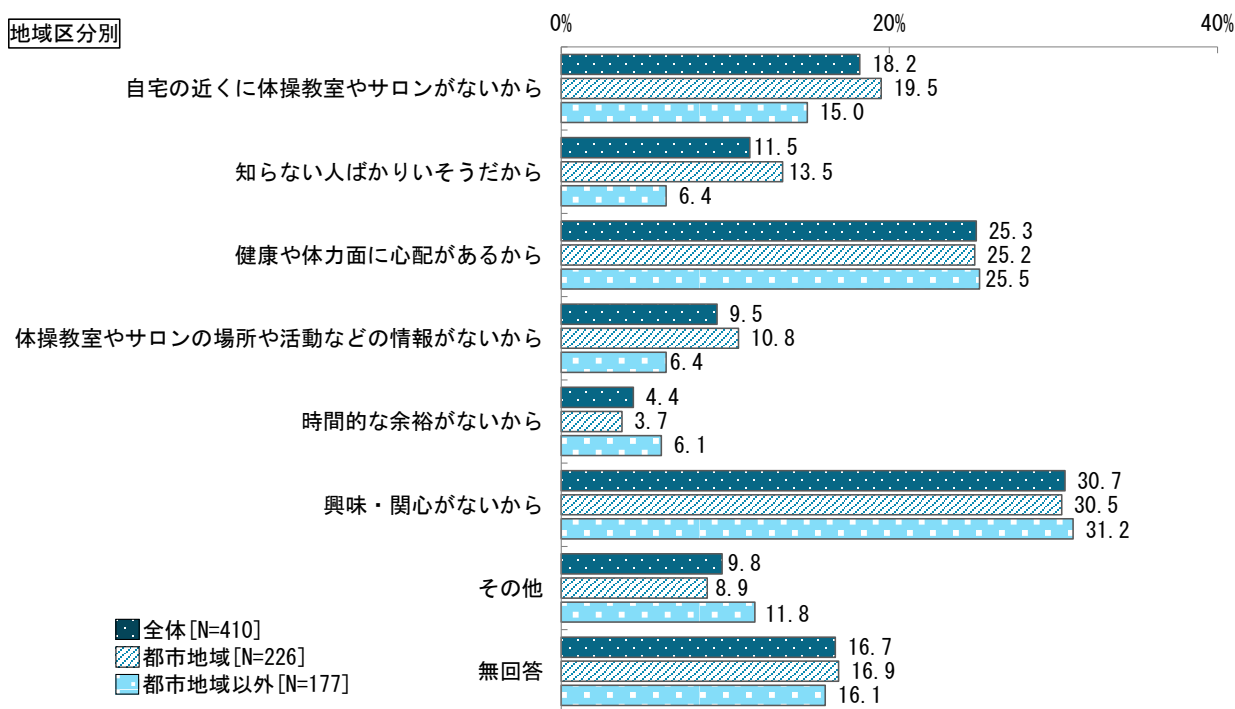
(4) - ⑤ 介護保険のサービスに満足していない理由

質問文

問 20 前の問で「4. 少し不満である」「5. 不満である」と答えた方におたずねします。介護保険サービスに満足していないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 介護保険サービスに満足していないと回答した人に、その理由について聞いたところ、「もっと利用したいが、限度額があるので利用をおさえている」が44.5%と最も多く、次いで、「在宅で家事援助や外出支援などの生活支援サービスを利用したいが、介護保険でできるサービスが限られている」が44.1%、「もっと利用したいが、自己負担が必要なので利用をおさえている」が40.5%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「もっと利用したいが、限度額があるので利用をおさえている」、「もっと利用したいが、自己負担が必要なので利用をおさえている」等が少なくなっている一方、「ホームヘルパーやデイサービス、施設などにおけるサービス内容や技術が未熟」が都市地域に比べて多くなっています。

図表 21 介護保険のサービスに満足していない理由（複数回答）



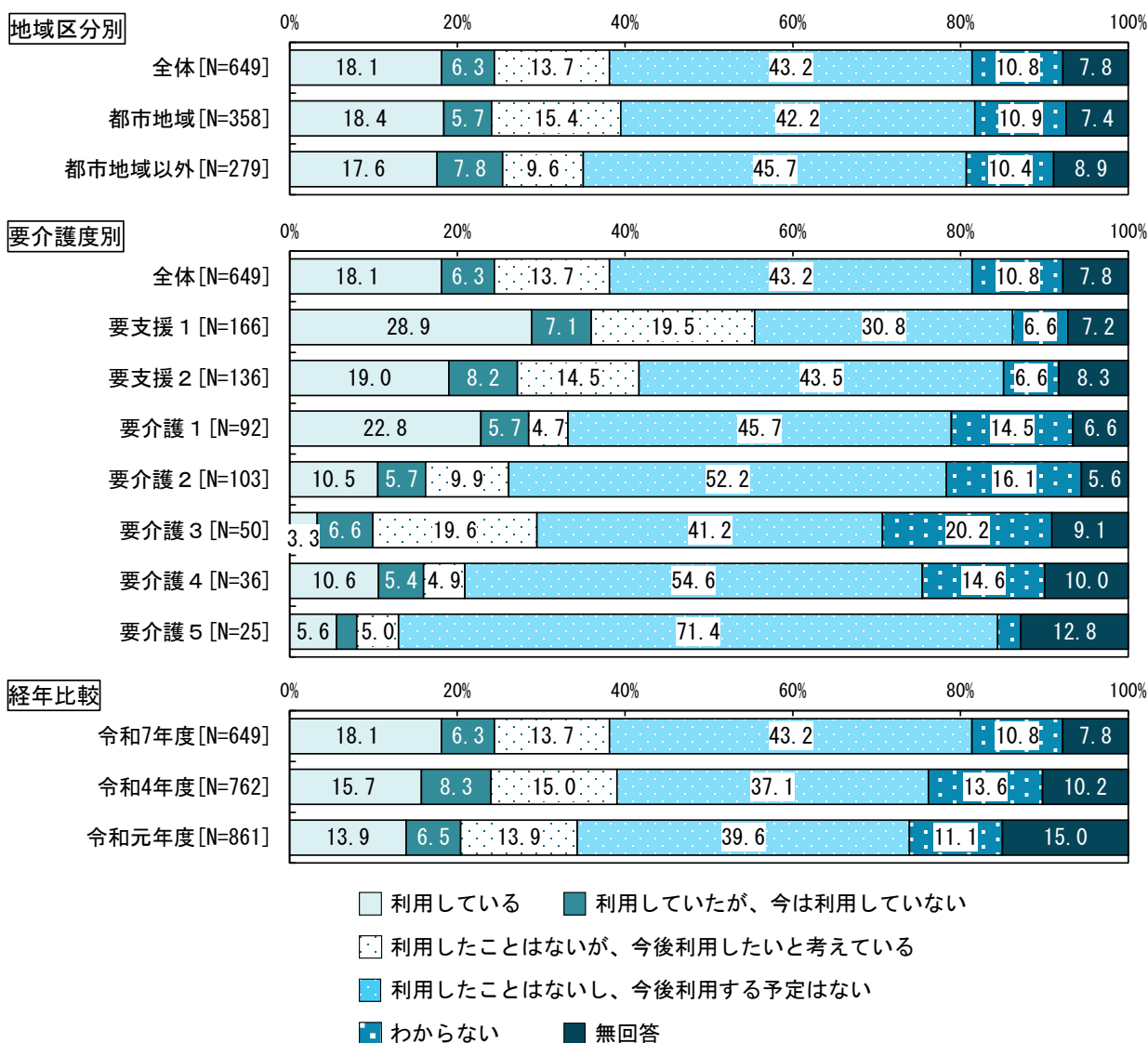
(4) - ⑥ 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無

質問文

問 21 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無は、「利用したことはないし、今後利用する予定はない」が43.2%、「利用している」18.1%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が13.7%、「利用していたが、今は利用していない」6.3%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外が「利用したことはないし、今後利用する予定はない」の割合が多くなっています。要介護度別では要支援1と要介護1で「利用している」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「利用している」が増加している一方、「利用したことはないし、今後利用する予定はない」も増加しています。

図表 22 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無



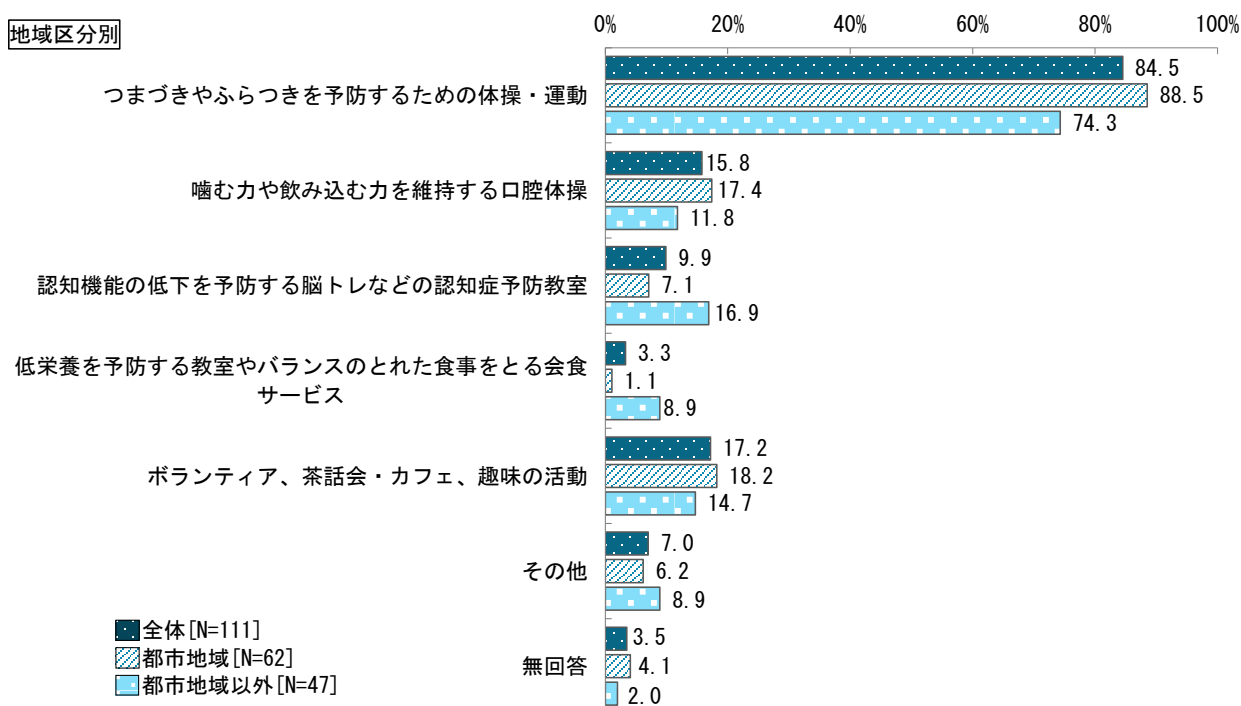
(4) - ⑦ 利用している介護予防サービス

質問文

問 22 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。
 (1) 現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 利用している介護予防サービスとしては、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が84.5%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が17.2%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」「嚙む力や飲み込む力を維持する口腔体操」の割合が少なくなっています。

図表 23 利用している介護予防サービス（複数回答）



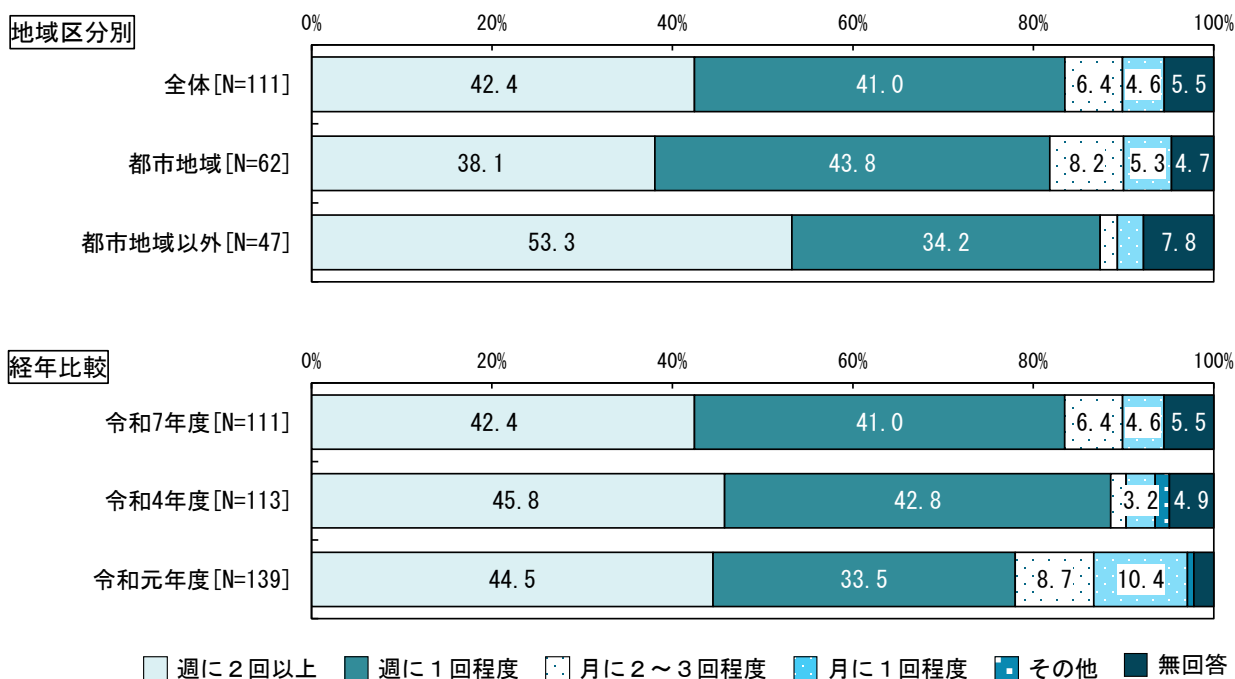
(4) - ⑧ 介護予防サービスの利用頻度

質問文

問 22 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。
 (2) 現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 介護予防サービスの利用頻度は、「週に2回以上」が42.4%、次いで、「週に1回程度」が41.0%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「週に2回以上」の割合が多く、「週に1回程度」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、令和7年度は令和4年度と比べて「週に2回以上」「週に1回以上」の割合が減少しています。

図表 24 介護予防サービスの利用頻度



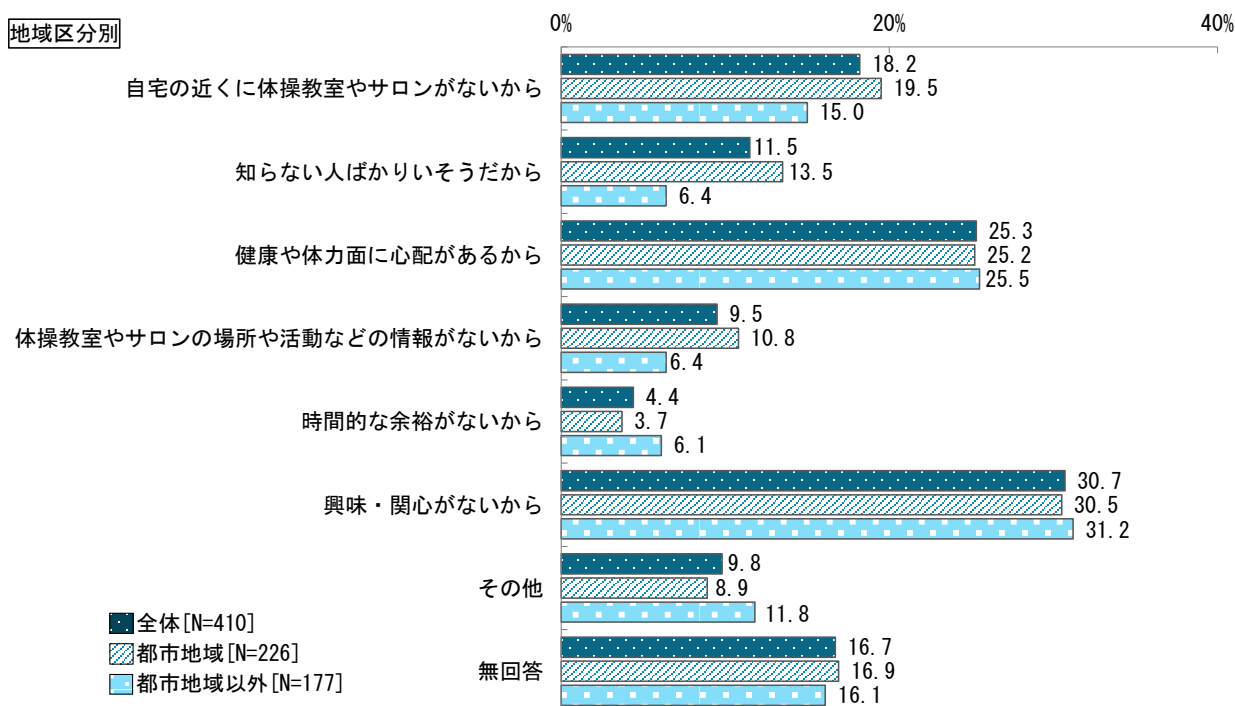
(4) - ⑨ 介護予防サービスを利用しない理由

質問文

問 23 問 21 で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。
 体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 介護予防サービスを利用しない理由について聞いたところ、「興味・関心がないから」が 30.7%、「健康や体力面に心配があるから」が 25.3%等が多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域で「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」「知らない人ばかりいそうだから」「体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから」の割合が多くなっています。
- 要介護度別では、要支援1で「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」「体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから」の割合が多くなっています。

図表 25 介護予防サービスを利用しない理由（複数回答）



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=410]	要支援		要介護				
		1 [N=97]	2 [N=88]	1 [N=52]	2 [N=70]	3 [N=33]	4 [N=24]	5 [N=18]
自宅の近くに体操教室やサロンがないから	18.2	24.5	19.3	19.1	15.1	14.3	8.5	15.5
知らない人ばかりいそうだから	11.5	8.7	14.0	11.0	15.1	13.4	0.0	0.0
健康や体力面に心配があるから	25.3	26.6	22.7	15.6	30.2	37.5	24.1	22.4
体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから	9.5	15.8	8.6	6.1	6.3	14.3	0.0	10.8
時間的な余裕がないから	4.4	3.1	4.7	1.2	6.7	11.0	3.7	0.0
興味・関心がないから	30.7	27.8	29.8	37.9	34.7	23.5	38.0	28.0
その他	9.8	4.6	5.8	11.3	16.9	13.8	15.2	22.1
無回答	16.7	14.5	22.6	15.3	9.2	19.0	19.0	21.9

(5) 買い物など日常の状況について

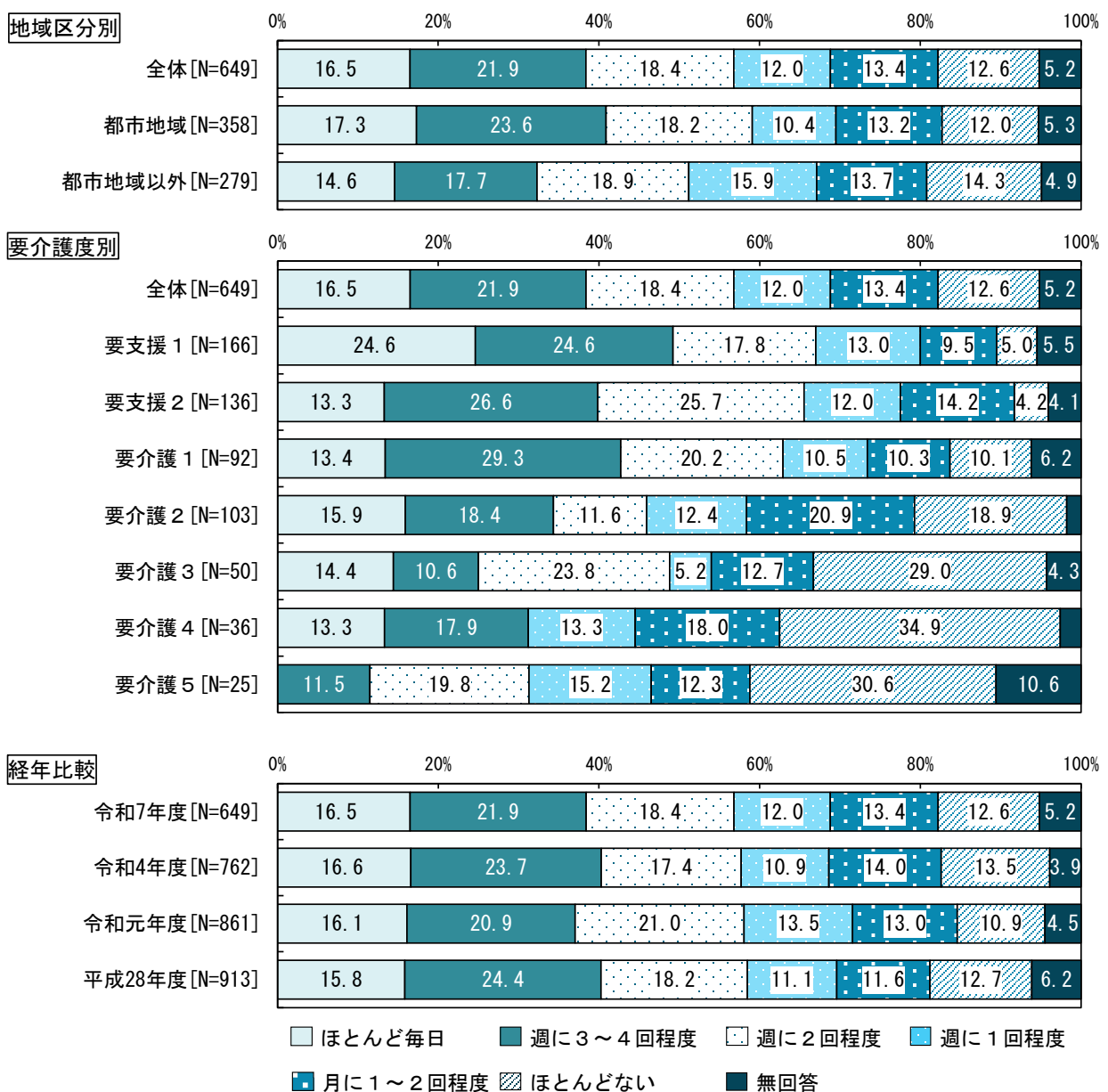
(5) - ① 日頃の外出頻度

質問文

問 24 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 日頃の外出頻度については、「週に3~4回程度」が21.9%、「週に2回程度」が18.4%、「ほとんど毎日」が16.5%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて外出頻度がやや少なくなっています。要介護度別では、要介護度が重くなるにつれて外出頻度が低くなる傾向が見られます。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 26 日頃の外出頻度



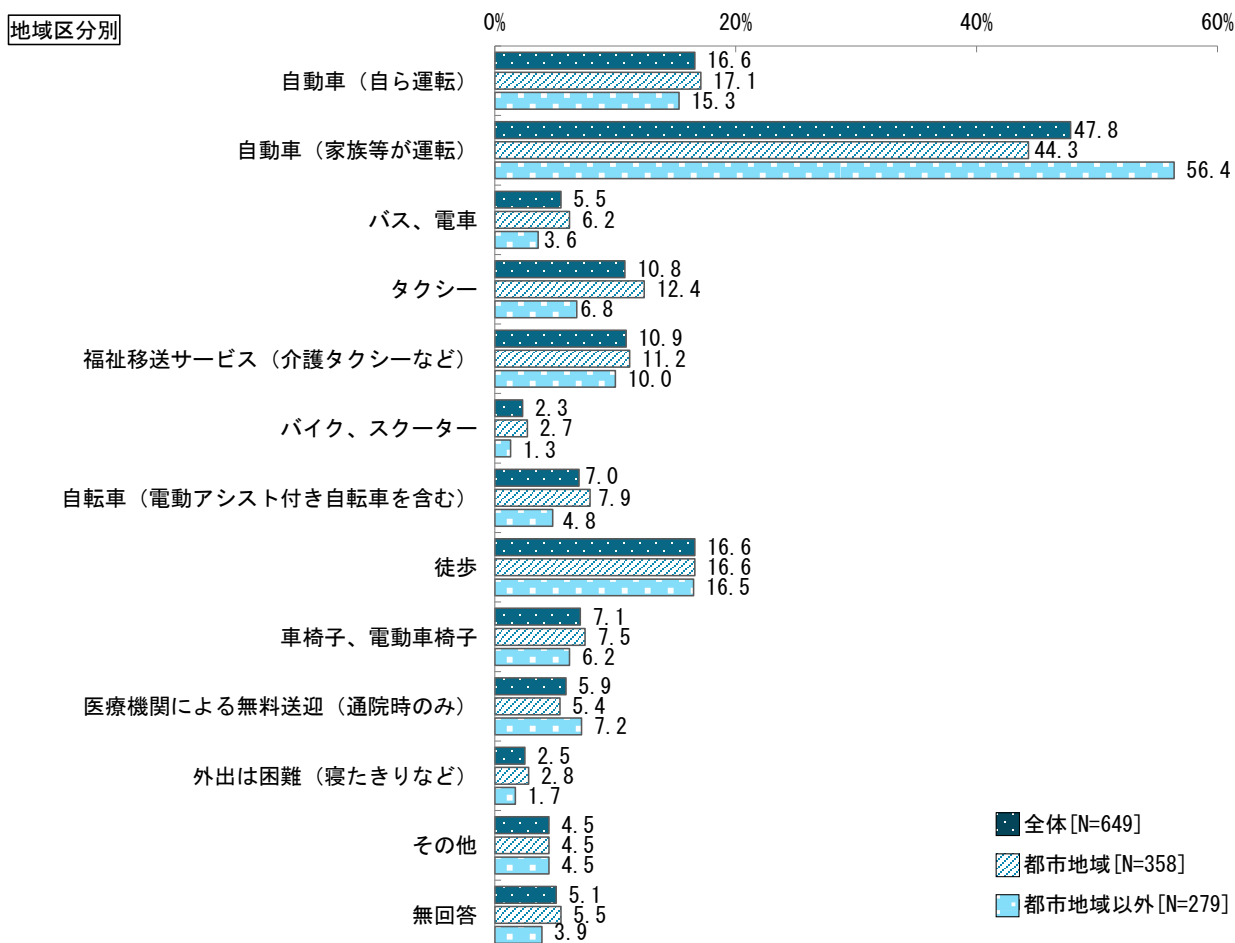
(5) - ② 日頃の外出方法

質問文

問 25 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 日頃の外出方法としては、「自動車（家族等が運転）」が47.8%と多くなっています。次いで、「自動車（自ら運転）」と「徒歩」が16.6%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「自動車（家族等が運転）」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護1,2,3,5の人で「自動車（家族等が運転）」の割合が多くなっています。

図表 27 日頃の外出方法（複数回答）



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=649]	要支援		要介護				
		1 [N=166]	2 [N=136]	1 [N=92]	2 [N=103]	3 [N=50]	4 [N=36]	5 [N=25]
自動車（自ら運転）	16.6	30.6	26.9	5.4	1.3	7.6	2.4	0.0
自動車（家族等が運転）	47.8	34.6	46.8	57.5	66.7	49.6	44.5	56.6
バス、電車	5.5	9.8	3.8	7.9	2.4	0.0	2.5	0.0
タクシー	10.8	11.0	18.8	10.3	8.2	6.9	2.5	0.0
福祉移送サービス（介護タクシーなど）	10.9	2.1	7.2	12.5	17.9	19.7	26.5	29.1
バイク、スクーター	2.3	4.9	1.2	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0
自転車（電動アシスト付き自転車を含む）	7.0	14.4	4.8	8.1	3.5	0.0	0.0	0.0
徒歩	16.6	27.1	11.8	24.4	11.7	3.5	2.5	0.0
車椅子、電動車椅子	7.1	2.2	6.9	0.0	14.5	6.5	24.0	20.0
医療機関による無料送迎（通院時のみ）	5.9	5.0	8.3	2.6	8.9	4.3	8.0	3.7
外出は困難（寝たきりなど）	2.5	0.8	0.0	1.4	2.3	10.2	8.4	5.0
その他	4.5	3.8	4.2	2.3	8.5	11.5	0.0	0.0
無回答	5.1	7.6	2.2	1.4	3.4	5.6	10.0	14.3

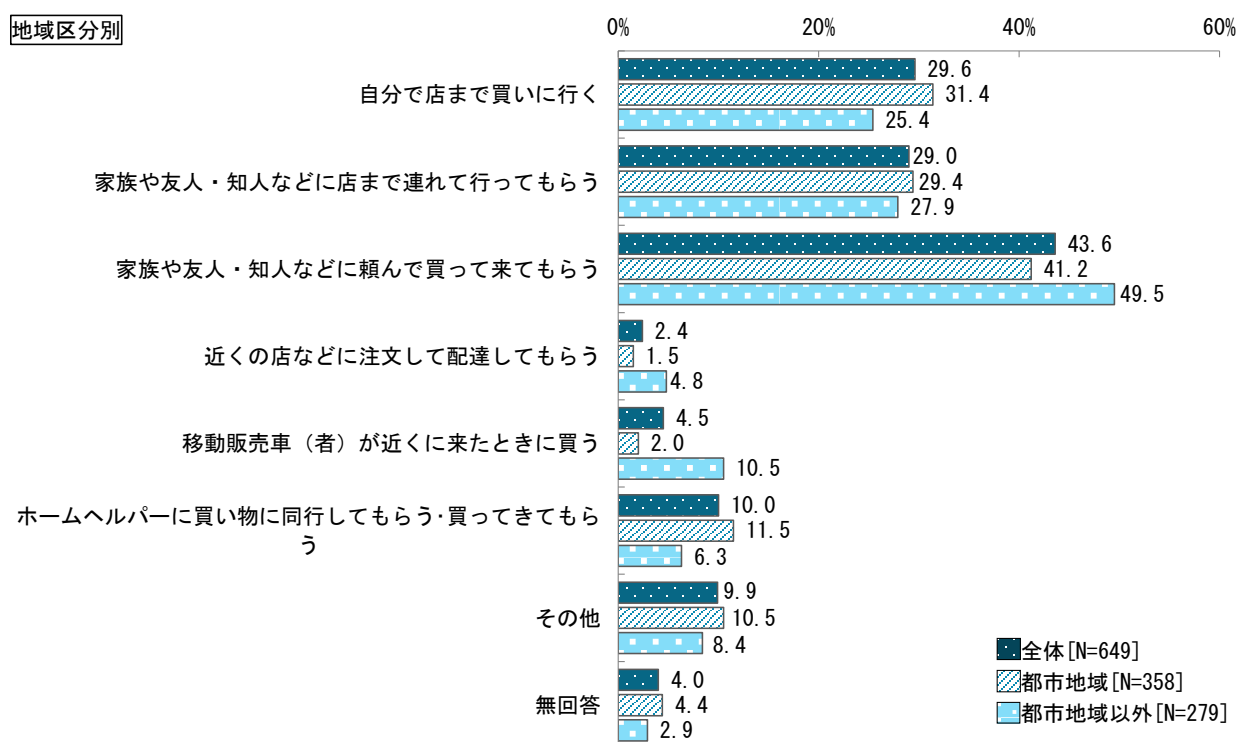
(5) - ③ 食料品や日用品など生活に必要な物の購入方法

質問文

問 26 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。(よく使う方法すべてに○)

- 食料品や日用品など生活に必要な物の購入方法について聞いたところ、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が43.6%と最も多く、次いで、「自分で店まで買いに行く」が29.6%、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が29.0%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」「移動販売車(者)が近くに来たときに買う」が多くなっています。要介護度別では、要介護1~5で「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」の割合が多くなっています。

図表 28 食料品や日用品など生活に必要な物の購入方法 (複数回答)



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=649]	要支援		要介護				
		1 [N=166]	2 [N=136]	1 [N=92]	2 [N=103]	3 [N=50]	4 [N=36]	5 [N=25]
自分で店まで買いに行く	29.6	51.8	41.4	18.3	10.1	9.0	4.9	0.0
家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう	29.0	29.8	36.7	36.0	28.3	16.8	12.4	11.5
家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう	43.6	29.0	33.5	53.9	58.4	65.2	62.0	53.3
近くの店などに注文して配達してもらう	2.4	1.9	6.7	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0
移動販売車(者)が近くに来たときに買う	4.5	5.1	5.8	8.2	2.3	4.3	0.0	0.0
ホームヘルパーに買い物に同行してもらう・買って来てもらう	10.0	6.5	4.9	14.1	11.9	17.8	17.5	13.9
その他	9.9	8.5	8.7	17.1	12.0	3.6	7.6	16.6
無回答	4.0	3.9	2.9	1.4	4.1	4.3	4.5	8.4

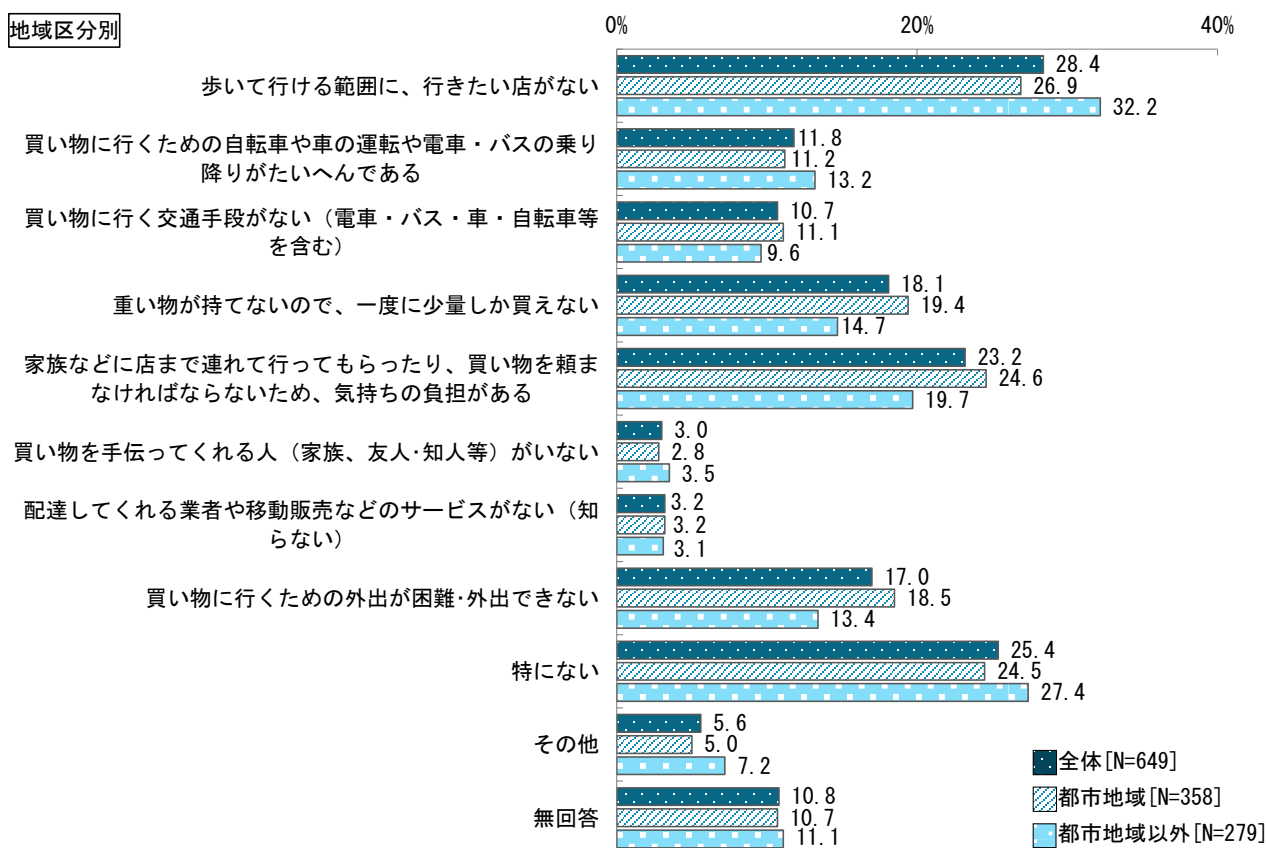
(5) - ④ ふだんの買い物で不便なことや困っていること

質問文

問 27 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- ふだんの買い物で不便なことや困っていることについては、「歩いて行ける範囲に、行きたい店がない」が28.4%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が23.2%、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が18.1%、「買い物に行くための外出が困難・外出できない」が17.0%等となっています。一方、「特にない」は25.4%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外で「歩いて行ける範囲に、行きたい店がない」が多くなっています。要介護度別では、「歩いて行ける範囲に、行きたい店がない」が要支援1,2・要介護1で、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」は要支援2・要介護1~2でやや多くなっています。

図表 29 ふだんの買い物で不便なことや困っていること（複数回答）



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=649]	要支援		要介護				
		1 [N=166]	2 [N=136]	1 [N=92]	2 [N=103]	3 [N=50]	4 [N=36]	5 [N=25]
歩いて行ける範囲に、行きたい店がない	28.4	34.0	35.8	37.6	23.1	10.0	13.4	2.9
買い物に行くための自転車や車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである	11.8	9.6	18.4	12.5	10.1	10.7	4.3	2.9
買い物に行く交通手段がない（電車・バス・車・自転車等を含む）	10.7	11.5	8.4	16.0	11.9	7.6	7.4	0.0
重い物が持てないので、一度に少量しか買えない	18.1	25.8	21.3	19.3	8.0	11.3	9.8	2.9
家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある	23.2	20.5	25.0	29.8	30.3	16.1	19.8	7.4
買い物を手伝ってくれる人（家族、友人・知人等）がない	3.0	6.8	2.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない（知らない）	3.2	4.4	0.5	5.8	0.6	0.0	7.9	0.0
買い物に行くための外出が困難・外出できない	17.0	8.7	9.6	20.4	23.4	25.7	37.3	37.0
特になし	25.4	22.4	20.8	25.8	26.1	33.6	34.1	40.1
その他	5.6	4.1	7.8	2.0	7.3	4.5	6.9	13.4
無回答	10.8	15.0	7.6	5.7	11.2	9.3	9.2	13.7

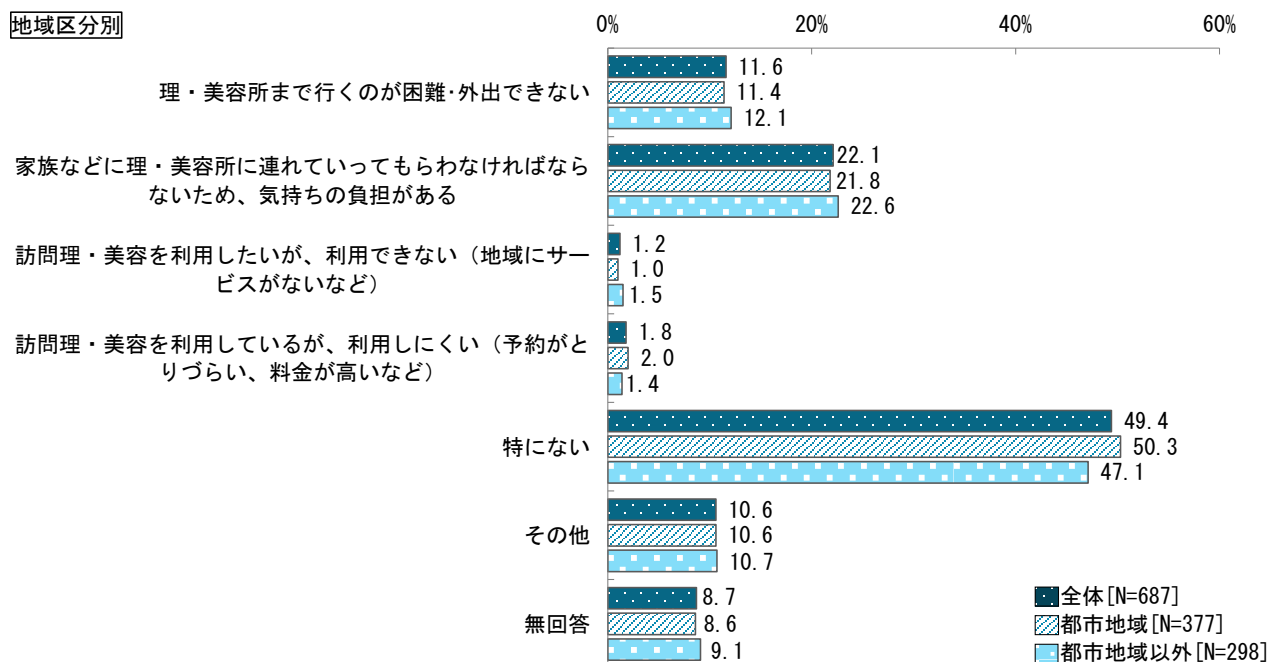
(5) - ⑤ 日頃の理・美容で困っていること

質問文

問 28 あなたは、日頃の理・美容（散髪やカット・パーマ）で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 日頃の理・美容で困っていることについて聞いたところ、「特にない」が49.4%と多くなっています。困っていることとしては、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が22.1%、「理・美容所まで行くのが困難・外出できない」が11.6%等となっています。
- 地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別では、「理・美容所まで行くのが困難・外出できない」が要介護2～4の人で、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が要支援2・要介護1～2の人で多くなっています。

図表 30 日頃の理・美容で困っていること（複数回答）



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=687]	要支援		要介護				
		1 [N=169]	2 [N=139]	1 [N=99]	2 [N=108]	3 [N=59]	4 [N=39]	5 [N=32]
理・美容所まで行くのが困難・外出できない	11.6	5.9	9.8	9.8	17.1	21.1	21.8	8.8
家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある	22.1	11.9	24.4	32.9	34.2	20.0	15.6	19.2
訪問理・美容を利用したいが、利用できない（地域にサービスがないなど）	1.2	1.0	1.4	2.5	0.6	0.0	0.0	0.0
訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい（予約がとりづらい、料金が高等）	1.8	1.6	0.3	0.0	2.1	10.0	0.0	2.8
特にない	49.4	58.7	48.2	52.9	35.7	40.5	43.2	50.1
その他	10.6	8.8	15.2	4.9	8.9	9.6	15.9	22.5
無回答	8.7	13.4	7.2	4.5	10.0	4.5	7.5	2.3

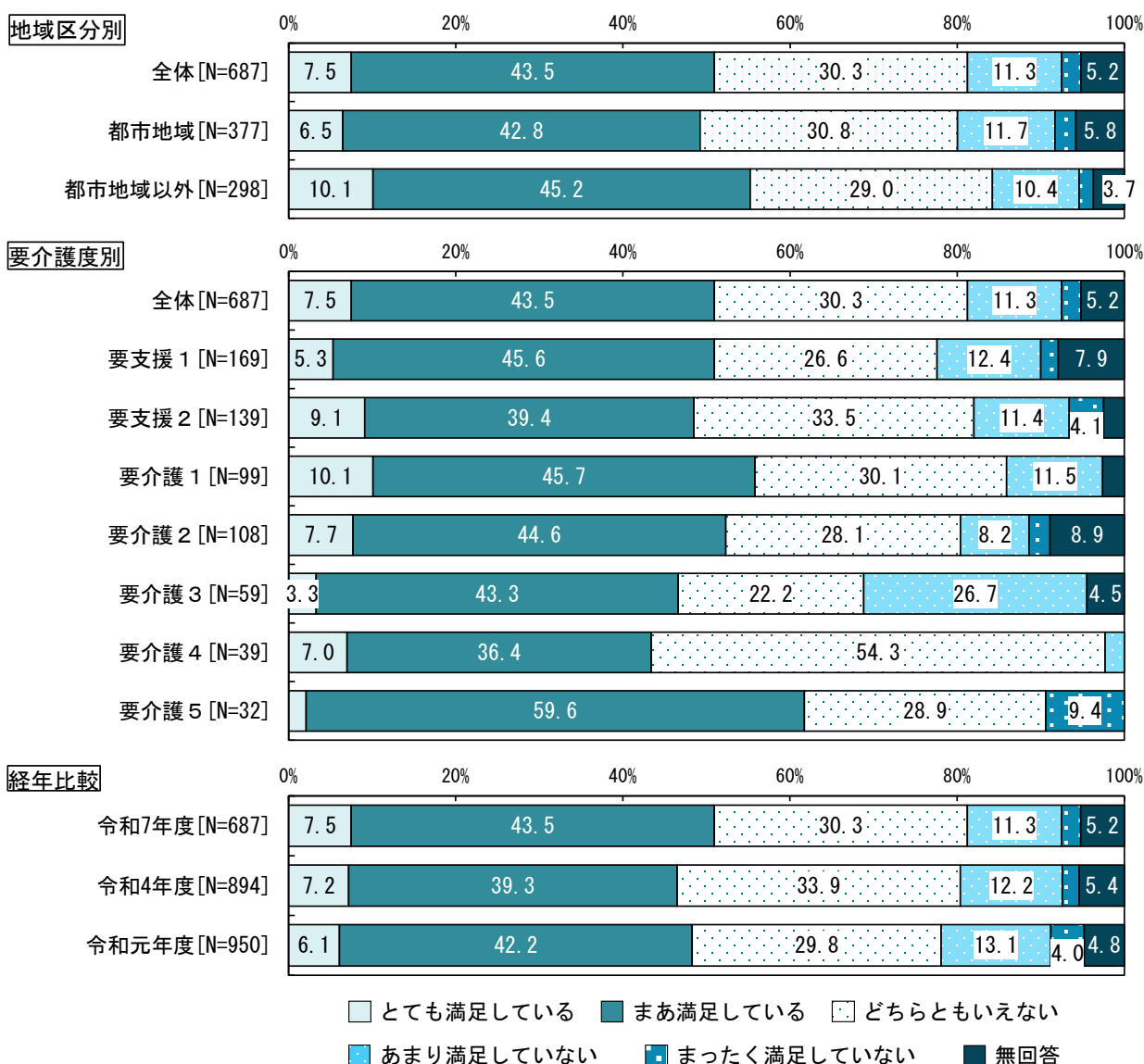
(5) - ⑥ 日頃の暮らしについての総合満足度

質問文

問 29 あなたは、現在の暮らしにどの程度満足していますか。今の生活環境や国・県の福祉サービスなどを総合的に考えてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 日頃の暮らしについての総合満足度は、「まあ満足している」が43.5%、「どちらともいえない」が30.3%等となっています。「とても満足している」は7.5%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「とても満足している」「まあ満足している」が多くなっています。要介護度別では、要介護1~4の人は介護度が高くなるにつれて「とても満足している」「まあ満足している」の合計が減少しています。
- 経年比較では、令和7年度は、過去2回に比べ、「とても満足している」「まあ満足している」の割合が増加しています。

図表 31 日頃の暮らしについての総合満足度



(6) 身体状況や医療などについて

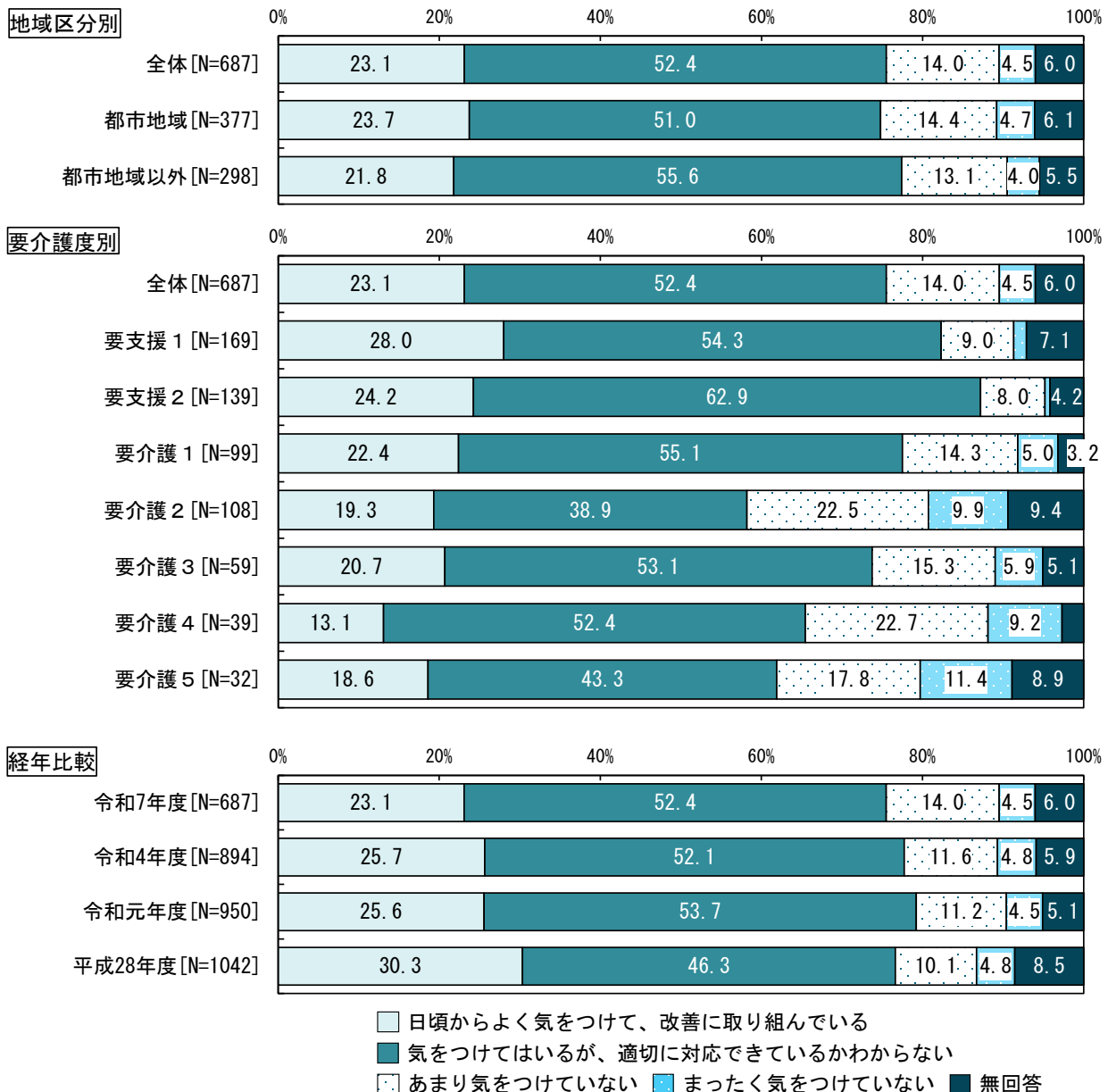
(6) - ① 自分の心身の変化への気配り、早めの改善

質問文

問 30 あなたは日頃、ご自分の心身の変化（足腰のおとろえ、気力がわかず何もしたくなくなるなど）に気を配り、早目に改善していますか。（あてはまるもの1つに○）

- 自分の心身の変化への気配りや、早目の改善への心がけの有無について聞いたところ、「気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない」が52.4%と多くなっています。「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」は23.1%となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」が多くなっています。要介護度別で見ると、要支援1・2の人は「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる」の割合が減少しています。

図表 32 自分の心身の変化への気配り、早めの改善



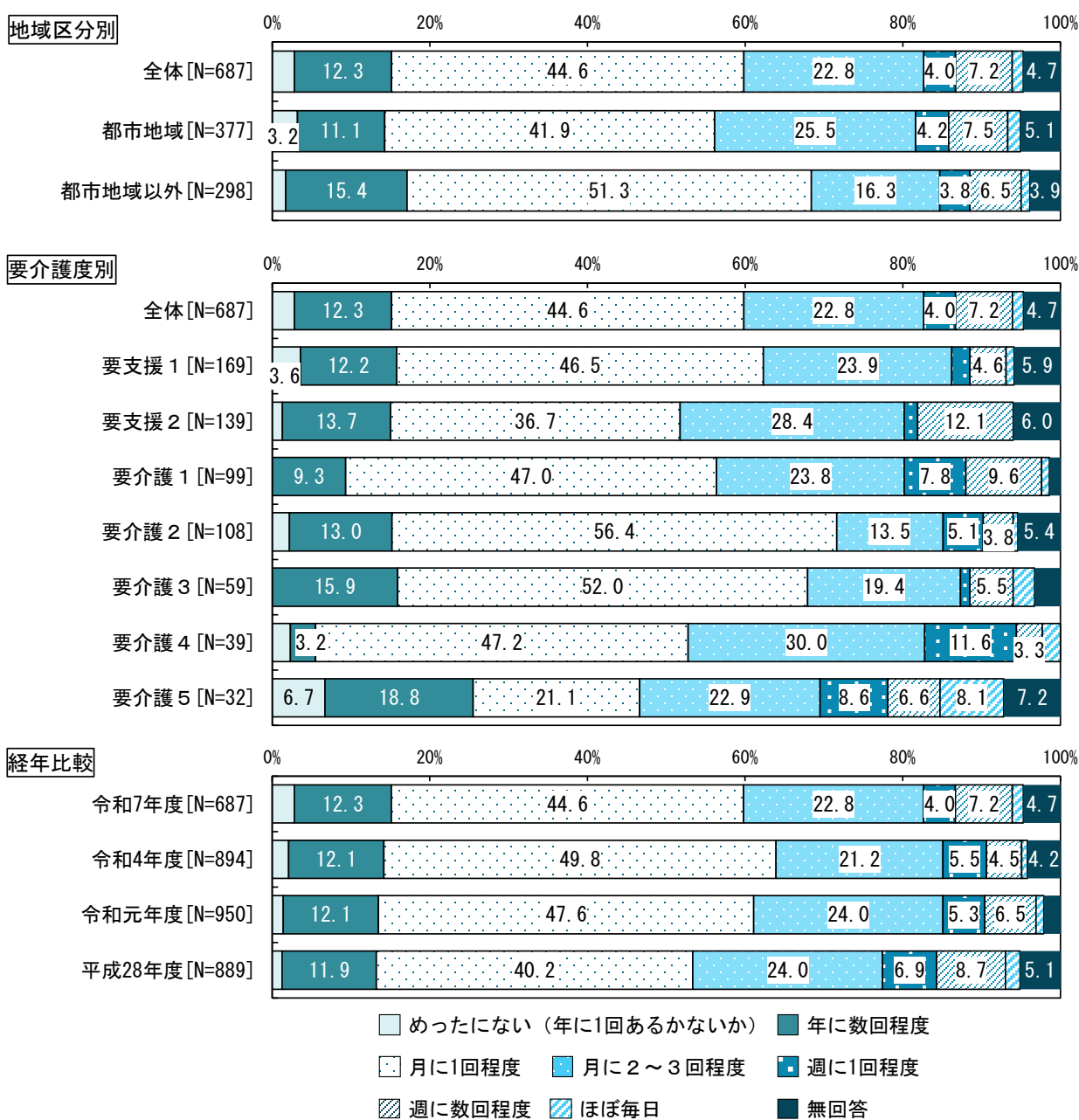
(6) - ② 日頃の通院頻度

質問文

問 31 あなたは、日頃、どの程度通院（医療機関の受診）をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

- 日頃の通院頻度について聞いたところ、「月に1回程度」が44.6%、「月に2～3回程度」が22.8%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外の方は「月に1回程度」が多くなっています。要介護度別で見ると、要介護2,3の方で「月に1回程度」が多くなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません

図表 33 日頃の通院頻度



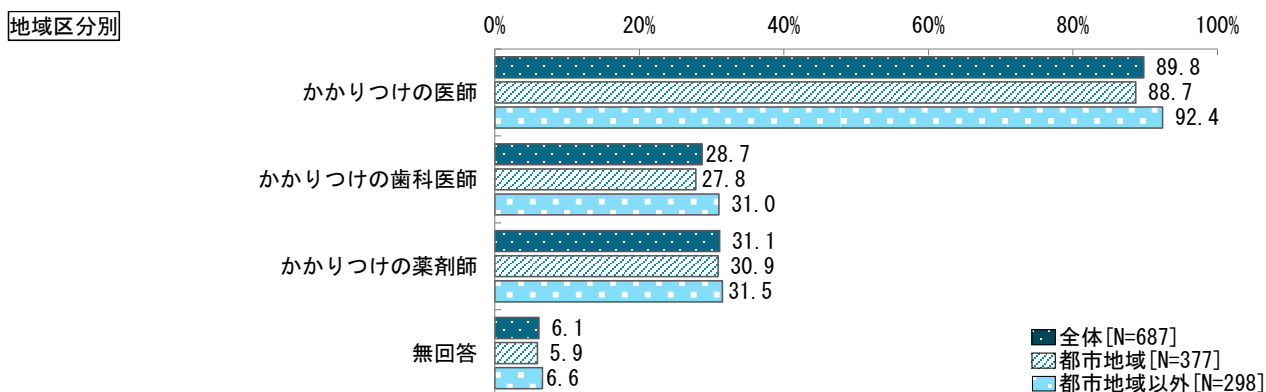
(6) - ③ かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

質問文

問 32 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

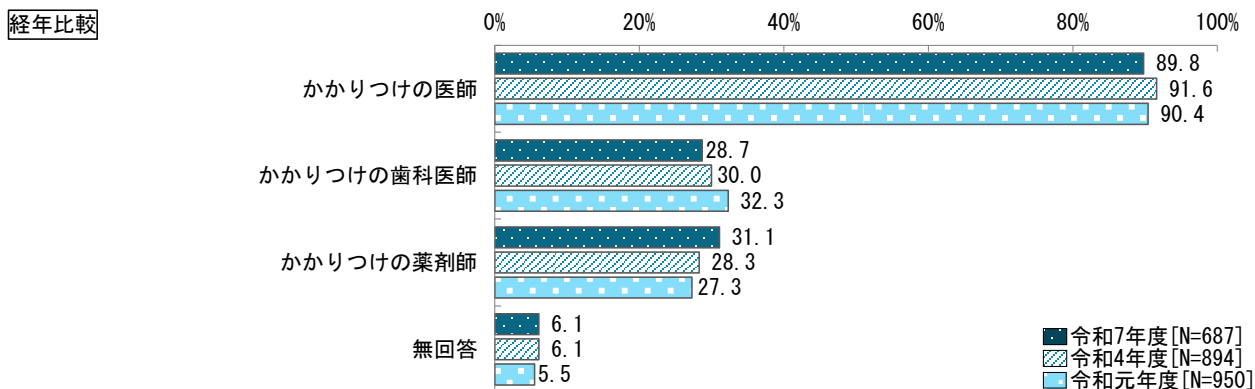
- かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無については、「かかりつけの医師」は 89.8%、「かかりつけの歯科医師」は 28.7%、「かかりつけの薬剤師」は 31.1%の人がいると回答しています。
- 地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別では、要介護 3~4 で「かかりつけの医師」の割合が多くなっている一方で、「かかりつけの歯科医師」が少なくなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 34 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



要介護度別 (単位：%)

	全体 [N=687]	要支援		要介護				
		1 [N=169]	2 [N=139]	1 [N=99]	2 [N=108]	3 [N=59]	4 [N=39]	5 [N=32]
かかりつけの医師	89.8	90.1	89.6	91.3	87.7	97.9	97.7	92.7
かかりつけの歯科医師	28.7	37.1	35.2	23.3	24.8	14.2	15.4	27.6
かかりつけの薬剤師	31.1	31.4	43.2	23.0	21.3	28.1	29.9	49.4
無回答	6.1	6.7	4.4	5.9	8.2	1.1	2.3	7.3



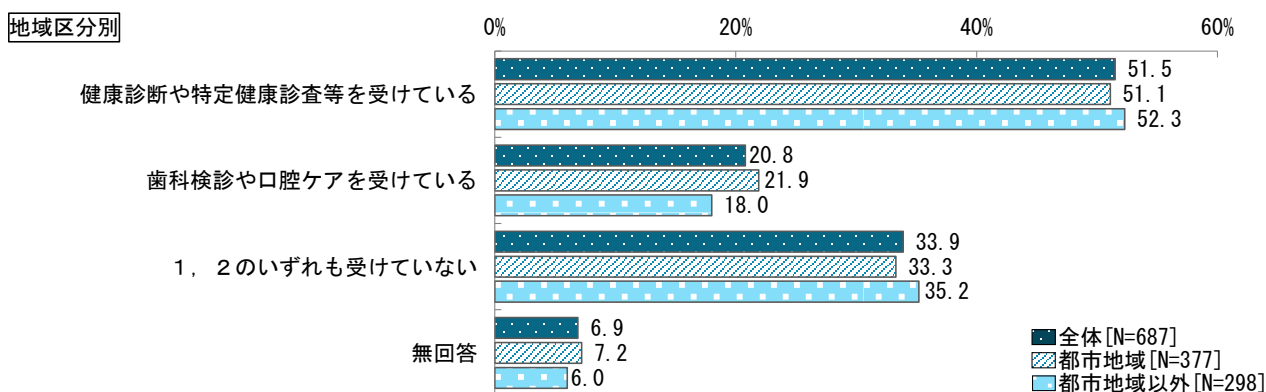
(6) - ④ 健康診断の受診状況について

質問文

問 33 あなたは、定期的（年に1回以上）に健康診断等を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

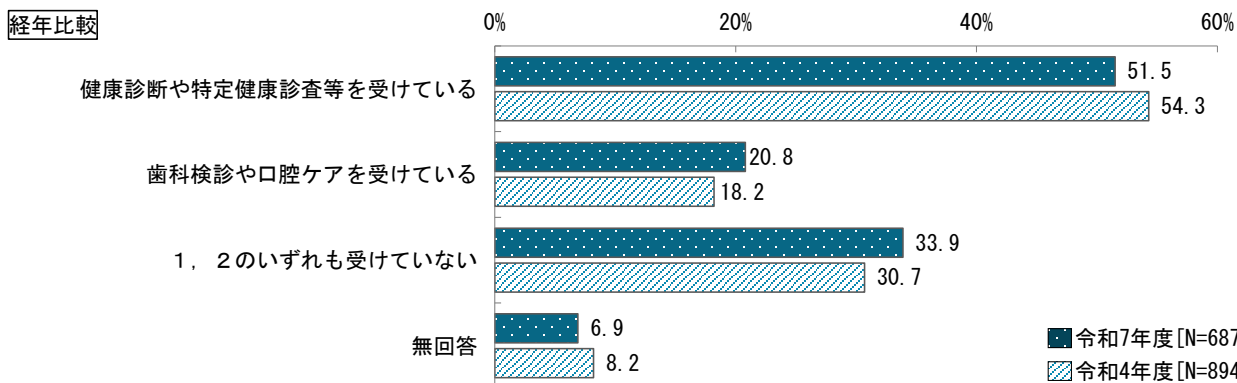
- 健康診断の受診状況について、「健康診断や特定健康診査等を受けている」は51.5%、「歯科検診や口腔ケアを受けている」は20.8%となっています。「いずれも受けていない」は33.9%となっています。
- 地域区分別では都市地域以外は都市地域に比べて「歯科検診や口腔ケアを受けている」の割合が若干少なくなっています。
- 要介護度別では、要介護4～5で「健康診断や特定健康診査等を受けている」の割合が少なくなっています。また、要介護2～4で「歯科検診や口腔ケアを受けている」が少なくなっています。
- 経年比較では、「健康診断や特定健康診査等を受けている」の割合が減少した一方、「歯科検診や口腔ケアを受けている」の割合は増加しています。

図表 35 健康診断の受診状況について（複数回答）



要介護度別 (単位：%)

	全体 [N=687]	要支援		要介護				
		1 [N=169]	2 [N=139]	1 [N=99]	2 [N=108]	3 [N=59]	4 [N=39]	5 [N=32]
健康診断や特定健康診査等を受けている	51.5	57.6	58.6	51.4	50.2	49.7	26.0	41.2
歯科検診や口腔ケアを受けている	20.8	28.4	23.4	20.0	12.9	11.5	13.7	27.8
1, 2のいずれも受けていない	33.9	24.7	25.2	36.7	33.7	47.4	59.8	40.2
無回答	6.9	9.5	6.0	5.2	10.2	1.1	4.3	5.1



(7) リハビリなどについて

(7) - ① リハビリによる機能回復などの実施状況について

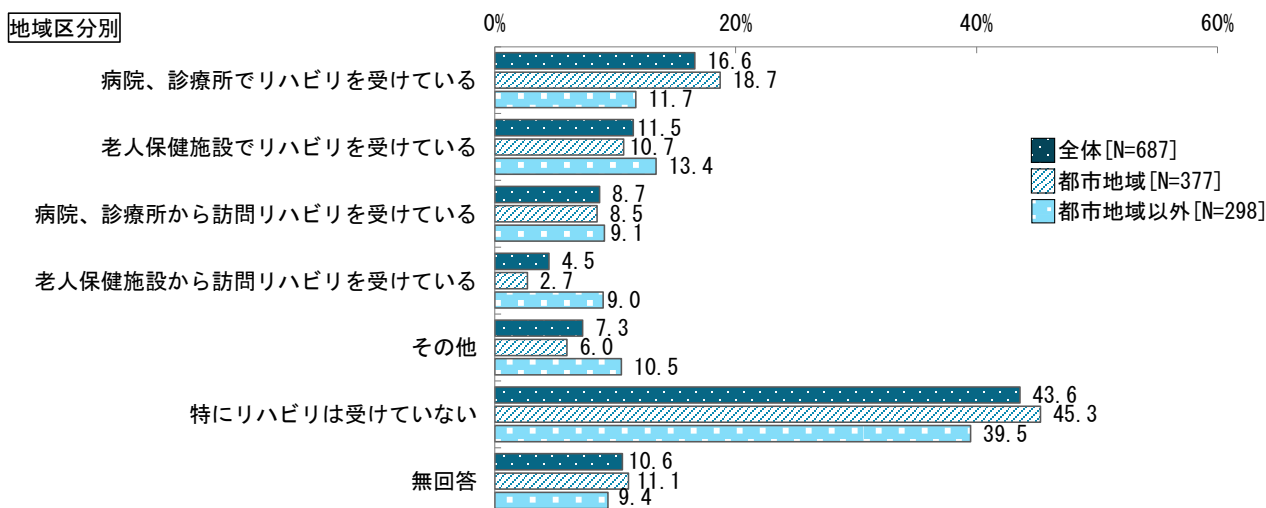
質問文

問 34 あなたは現在、リハビリによる機能回復などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

○ リハビリによる機能回復などの実施状況について聞いたところ、「特にリハビリは受けていない」が43.6%と多くなっています。「病院、診療所でリハビリを受けている」が16.6%、「老人保健施設でリハビリを受けている」が11.5%等となっています。

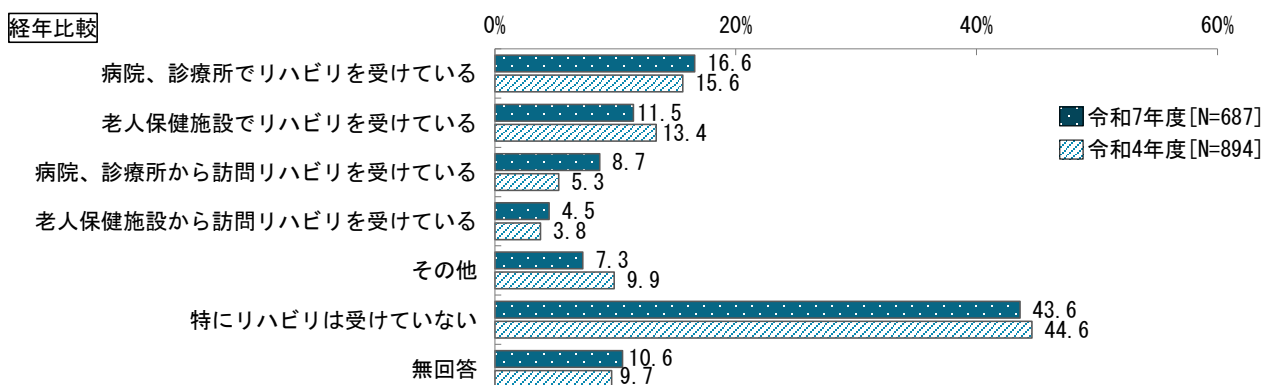
○ 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「病院、診療所でリハビリを受けている」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要支援2で「病院、診療所でリハビリを受けている」の割合が多くなっています。経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 36 リハビリによる機能回復などの実施状況について（複数回答）



(単位：%)

要介護度別	全体 [N=687]	要支援		要介護				
		1 [N=169]	2 [N=139]	1 [N=99]	2 [N=108]	3 [N=59]	4 [N=39]	5 [N=32]
病院、診療所でリハビリを受けている	16.6	17.1	26.8	11.5	11.2	14.8	13.1	14.7
老人保健施設でリハビリを受けている	11.5	10.5	7.0	15.1	17.4	7.9	25.4	6.2
病院、診療所から訪問リハビリを受けている	8.7	3.8	4.0	12.2	9.5	13.6	15.8	25.3
老人保健施設から訪問リハビリを受けている	4.5	1.7	3.1	8.3	9.0	3.3	8.3	2.9
その他	7.3	3.8	5.5	10.5	13.3	6.5	5.2	14.7
特にリハビリは受けていない	43.6	50.1	42.4	41.7	32.6	48.8	41.9	36.6
無回答	10.6	14.1	11.7	7.5	8.9	6.3	0.0	8.2



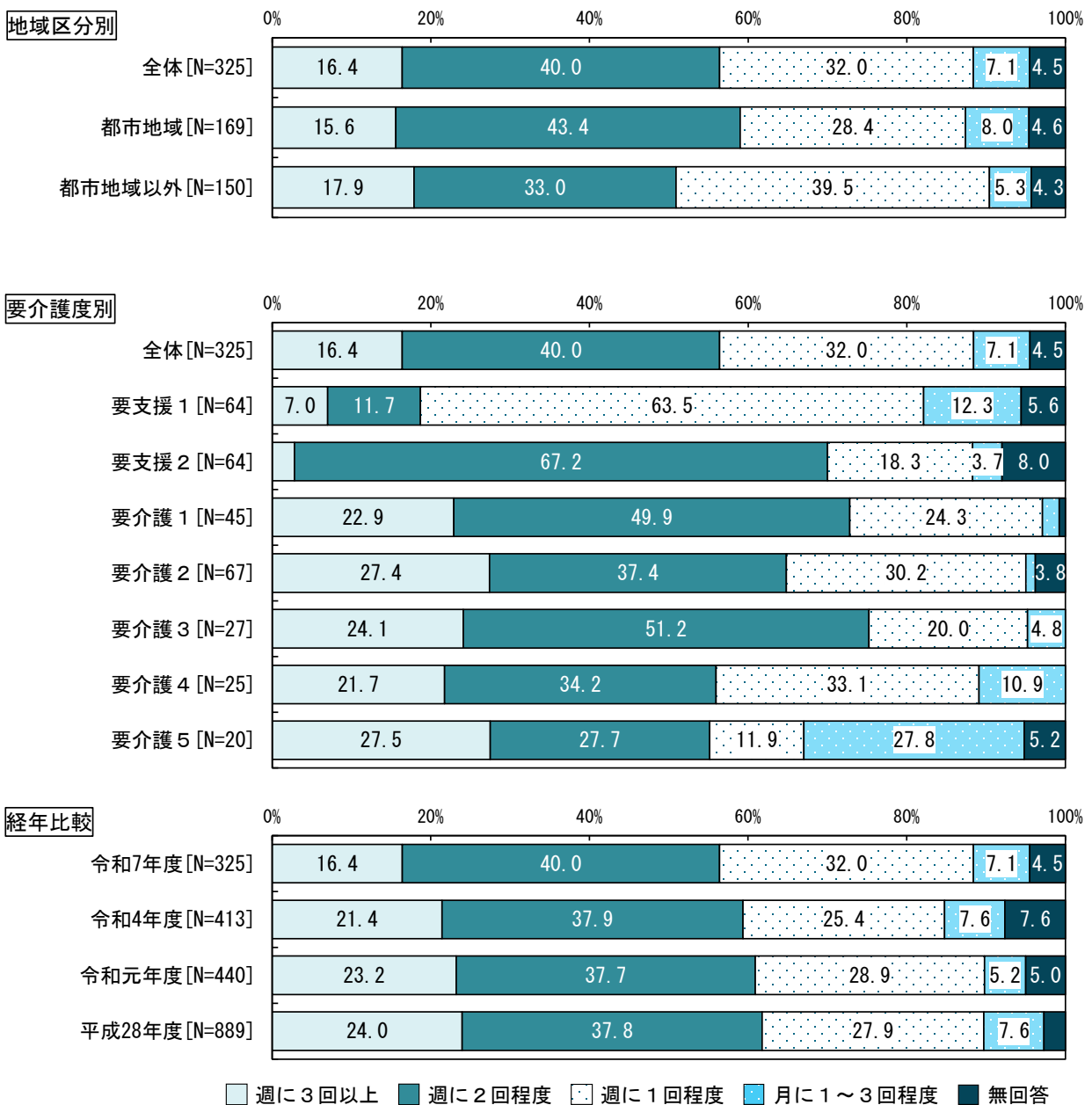
(7) - ② 現在受けているリハビリの頻度

質問文

問 35 現在受けているリハビリの回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 現在受けているリハビリの回数について聞いたところ、「週に2回程度」が40.0%、「週に1回程度」が32.0%、「週に3回以上」が16.4%、「月に1~3回程度」が7.1%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「週に1回程度」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護1~5で「週に3回以上」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「週に3回以上」の割合が減少しています。

図表 37 現在受けているリハビリの頻度



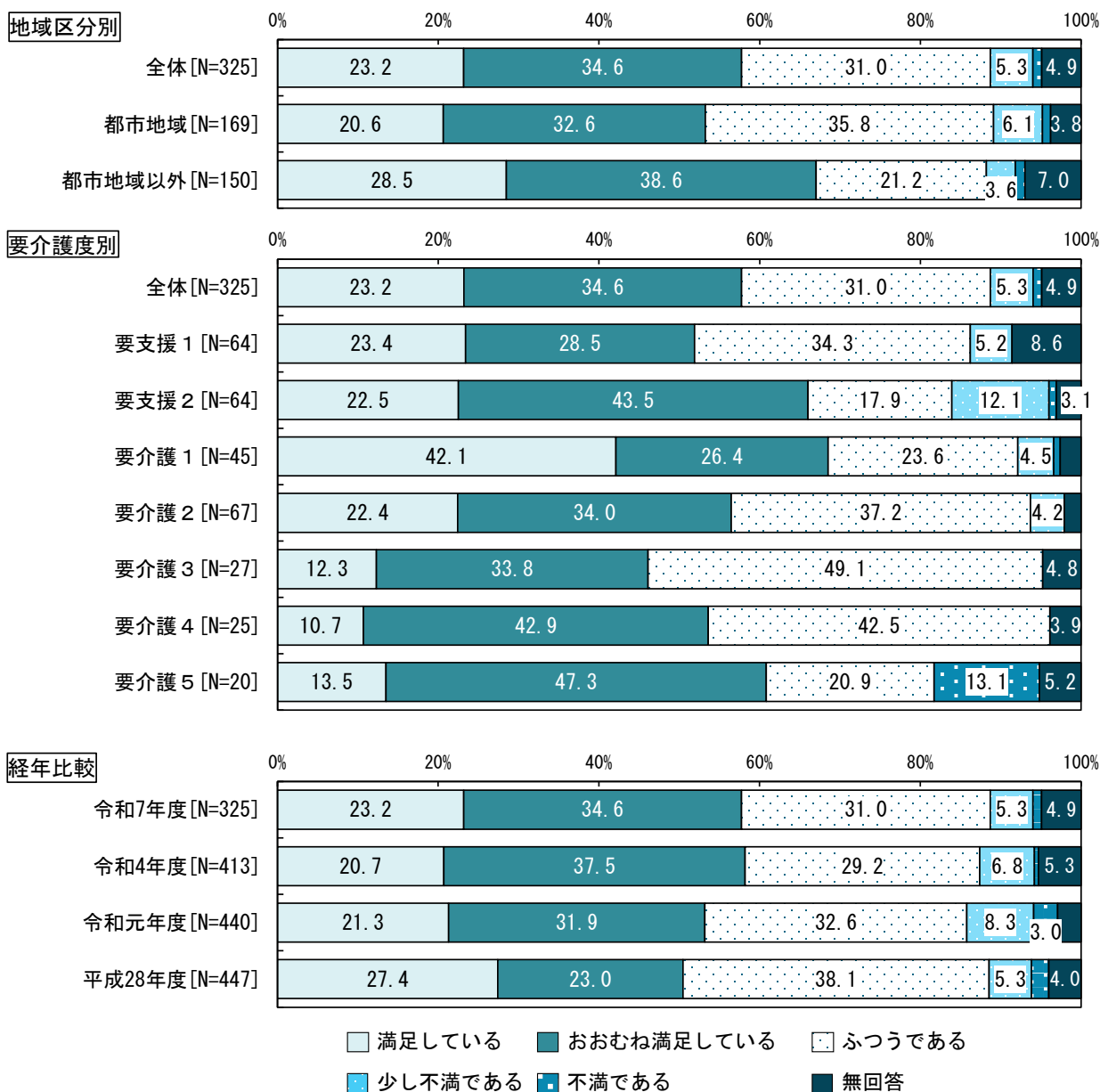
(7) - ③ 現在受けているリハビリの満足度

質問文

問 36 あなたは、現在受けているリハビリに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 現在受けているリハビリの満足度については、「おおむね満足している」が34.6%、「ふつうである」が31.0%、「満足している」が23.2%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて満足度が高い傾向が見受けられます。要介護度別では、要支援2・要介護1で満足度が高く、要介護3で満足度が低くなっています。
- 経年比較では、令和7年度は令和4年度と比べ、大きな違いは見受けられません。

図表 38 現在受けているリハビリの満足度



(8) 自宅での看取りの考え方などについて

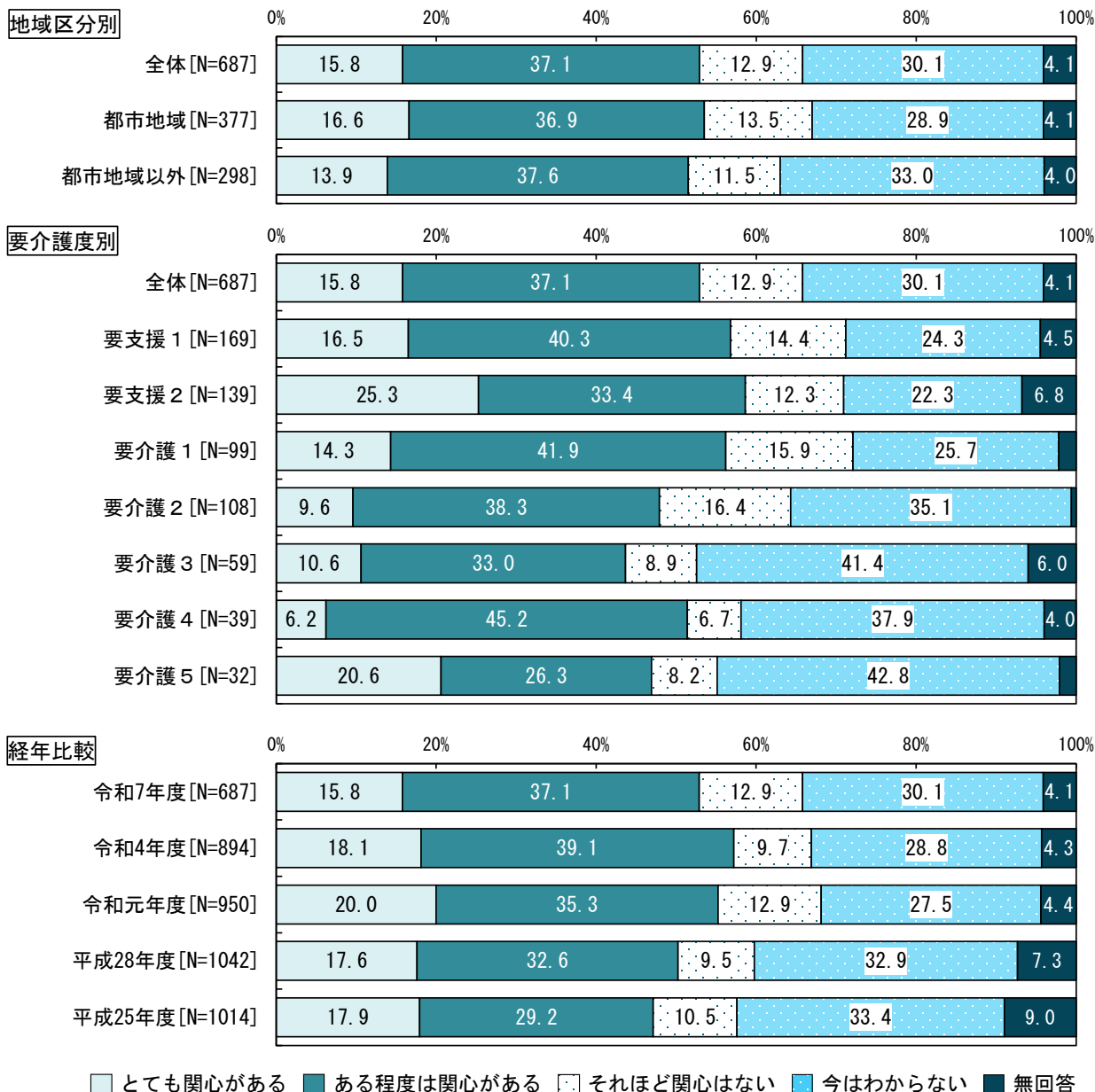
(8) - ① 自宅での看取り・最期を迎えることなどについて

質問文

問 37 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- 自宅での看取り・最期を迎えることなどについては、「ある程度は関心がある」が37.1%、「今はわからない」が30.1%、「とても関心がある」が15.8%、「それほど関心はない」が12.9%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「今はわからない」の割合が多くなっています。要介護度別では、要支援1~2、要介護1で「とても関心がある」「ある程度は関心がある」の合計が多く、要介護2~5で「今はわからない」が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度までは関心が高くなっていましたが、令和7年度は低くなっています。

図表 39 自宅での看取り・最期を迎えることなどについて



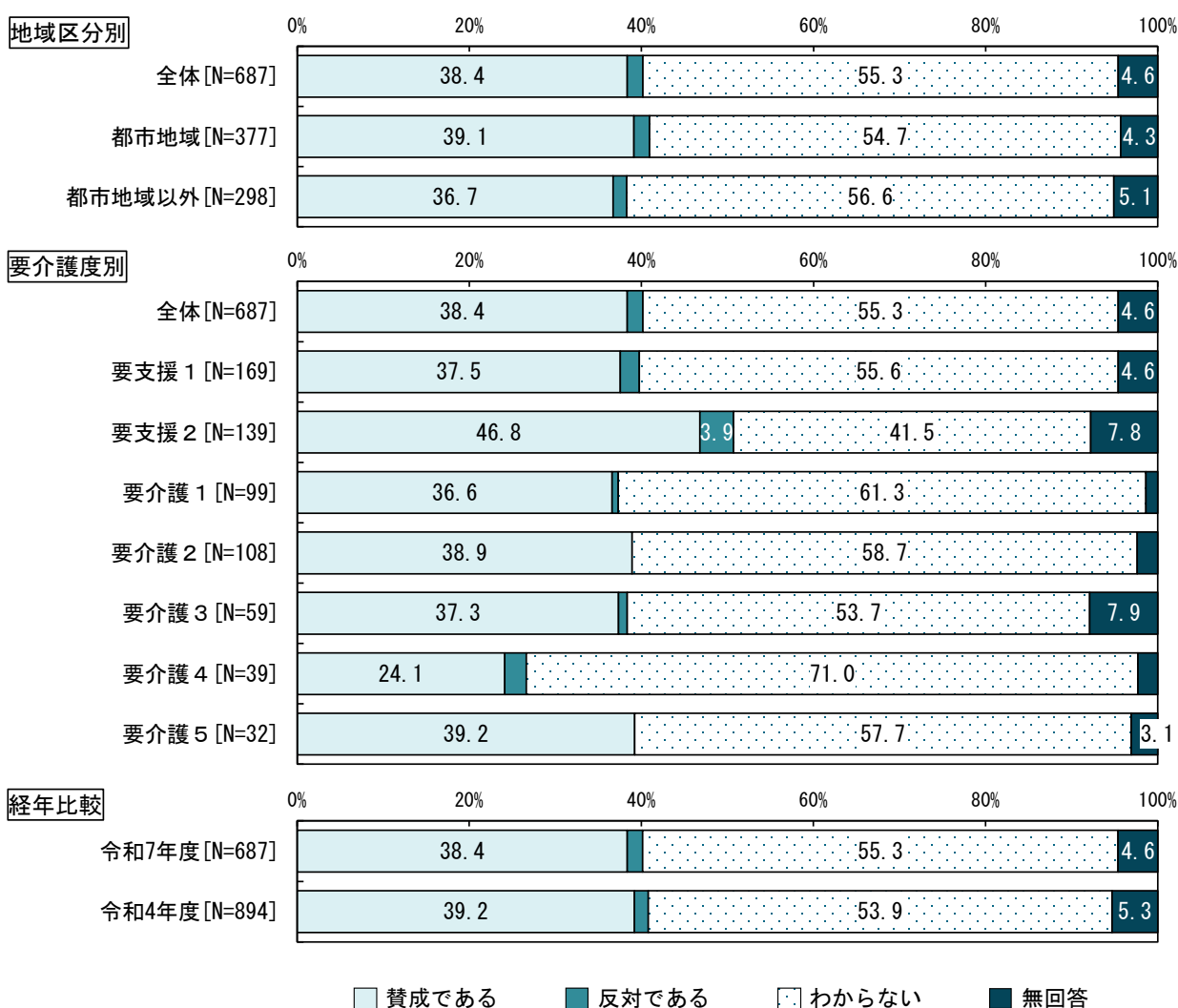
(8) - ② リビング・ウィルに対する意見

質問文

問 38 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと（リビング・ウィル）について、どう思いますか。（最も近いもの1つに○）

- リビング・ウィルについて聞いたところ、「賛成である」が38.4%、「わからない」が55.3%等となっています。
- 地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別では、要支援2で「賛成である」が多くなっています。一方、要介護4では「わからない」が多くなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 40 リビング・ウィルに対する意見



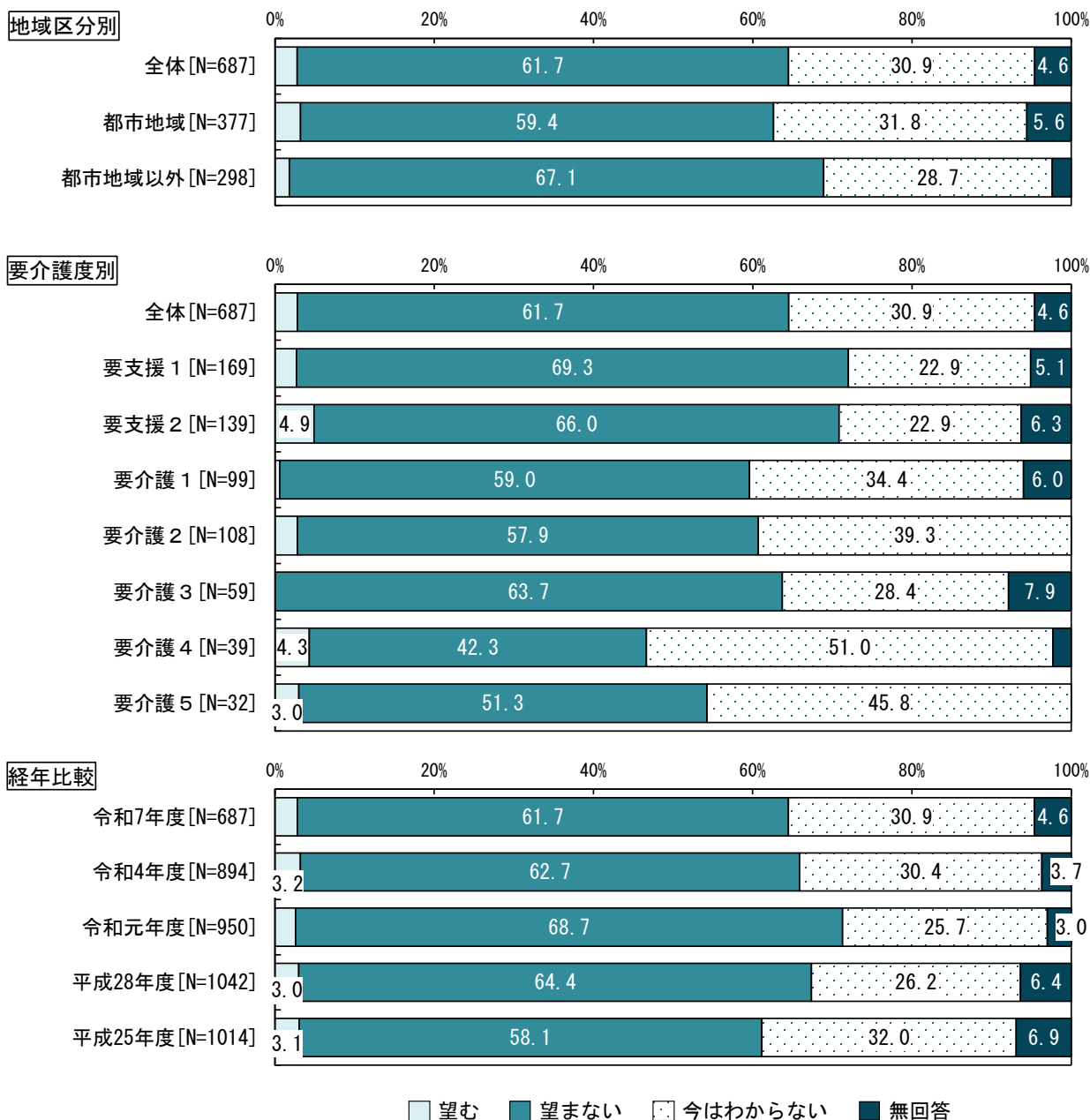
(8) - ③ 死期が迫っている状態になった場合に延命治療を望むか

質問文

問 39 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

- 死期が迫っている状態になった場合に延命治療を望むかどうかについて聞いたところ、「望まない」が61.7%、「今はわからない」が30.9%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「望まない」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護4～5で「今はわからない」の割合が多くなっており、要支援1～2では「望まない」が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度以降、「望まない」が減少し、「今はわからない」が増加しています。

図表 41 死期が迫っている状態になった場合に延命治療を望むか



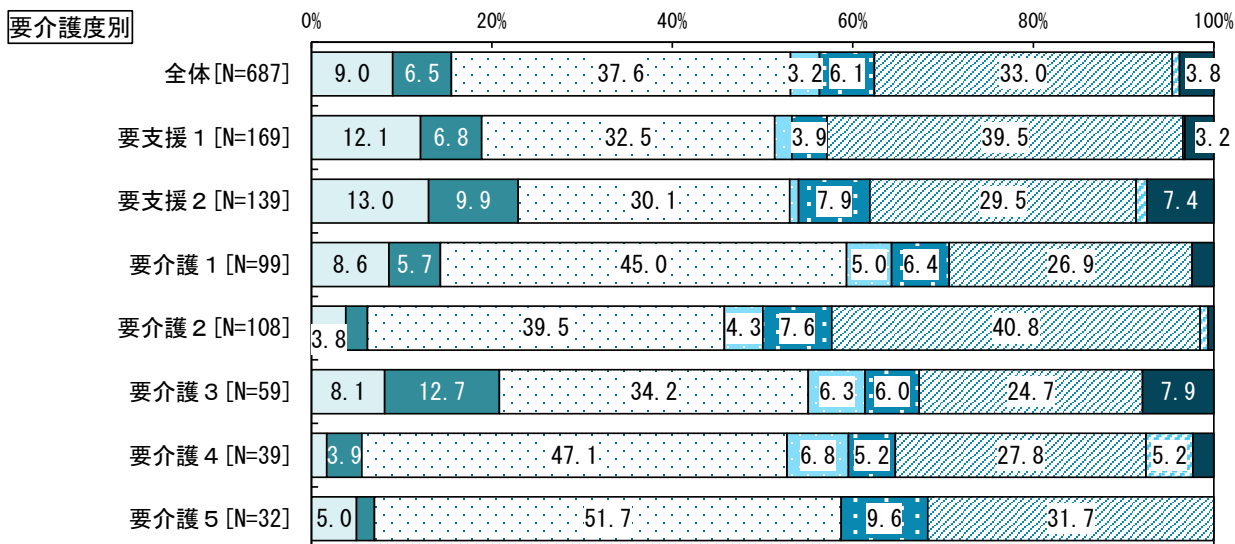
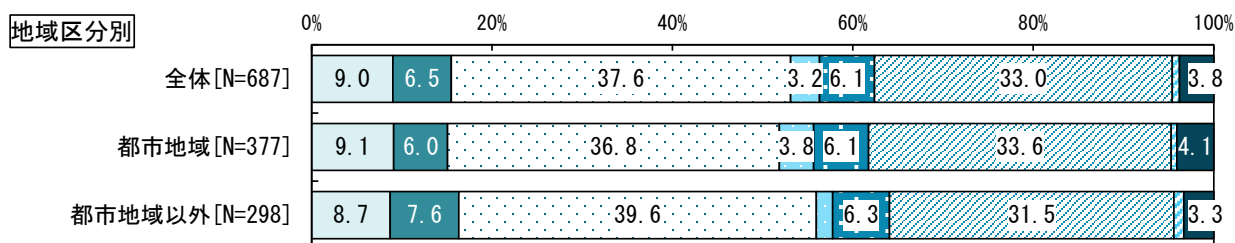
(8) - ④ 死期が迫っている状態になった場合に最期を迎えたい場所

質問文

問 40 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われますか。(最も近いもの1つに○)

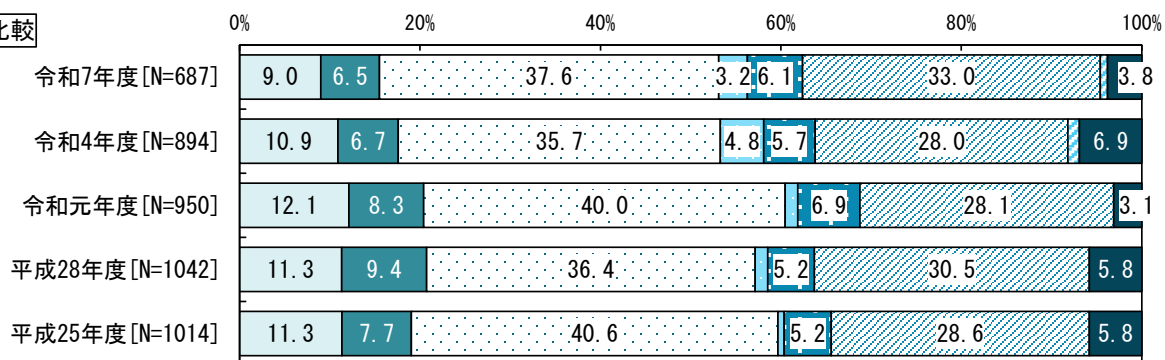
- 死期が迫っている状態になった場合に、最期をどこで迎えたいと思うかを聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が37.6%、「今はわからない」が33.0%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」がやや多くなっています。要介護度別では、要介護1,4,5で「住み慣れた自宅で過ごしたい」が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度以降「病院で最後までできるだけ治療を受けたい」「設備の整った介護保険施設などで過ごしたい」の割合が徐々に減少しています。

図表 42 死期が迫っている状態になった場合に最期を迎えたい場所



- 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
- 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
- 住み慣れた自宅で過ごしたい
- 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
- どこでもよい
- ▨ 今はわからない
- ▨ その他
- 無回答

経年比較



- 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
- 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
- 住み慣れた自宅で過ごしたい
- 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
- どこでもよい
- 今はわからない
- その他
- 無回答

(9) 介護保険制度などについて

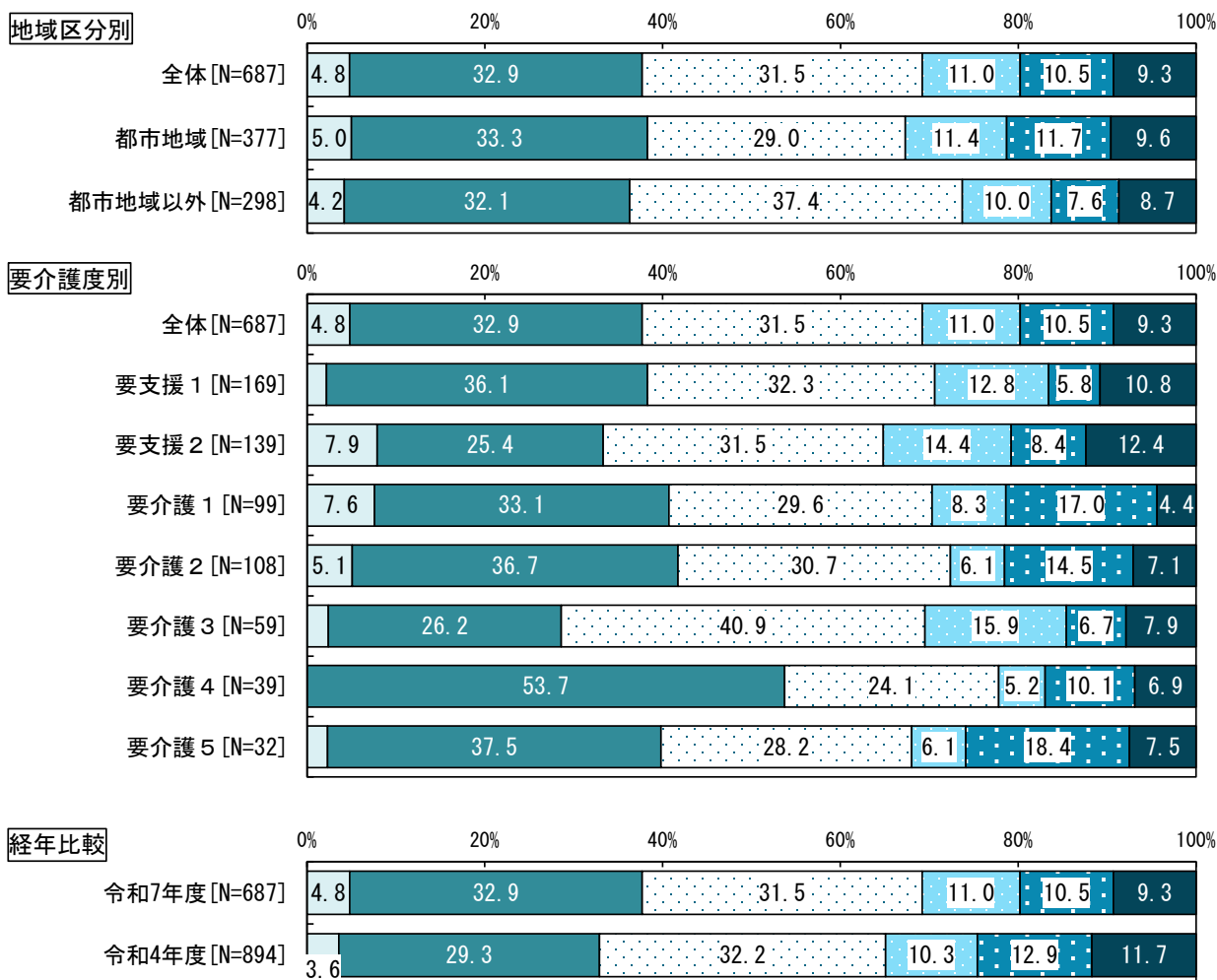
(9) - ① 介護保険のサービスと介護保険料の負担について

質問文

問 41 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

- 介護保険のサービスと介護保険料の負担について聞いたところ、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が32.9%、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が31.5%等となっています。
- 要介護度別では、要介護4で「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和4年度と比べ、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」の割合が多くなっています。

図表 43 介護保険のサービスと介護保険料の負担について



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実すべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- ▨ さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くすべき
- その他
- 無回答

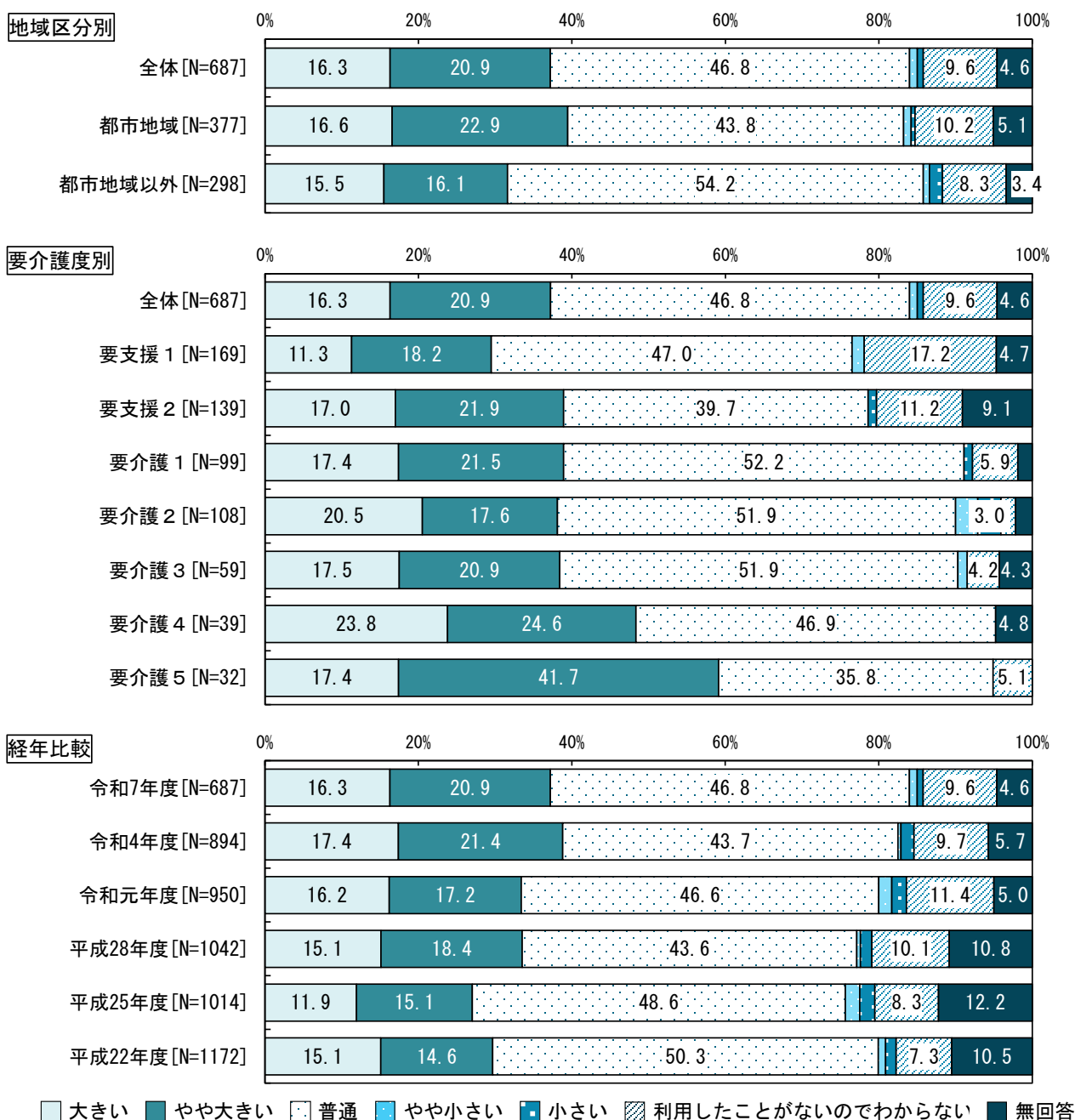
(9) - ② 介護保険のサービス利用時の利用料の負担感

質問文

問 42 介護保険のサービスを利用する時に支払う利用者の負担割合（1～3割負担）についておたずねします。あなたにとって利用料の負担感はどうか。（あてはまるもの1つに○）

- 介護保険のサービス利用時の利用料の負担感について聞いたところ、「普通」が46.8%と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「普通」が多くなっています。要介護度別では、要介護5で「やや大きい」が多くなっています。
- 経年比較では、「大きい」「やや大きい」が増えていましたが、令和7年度はやや減少しています。

図表 44 介護保険のサービス利用時の利用料の負担感



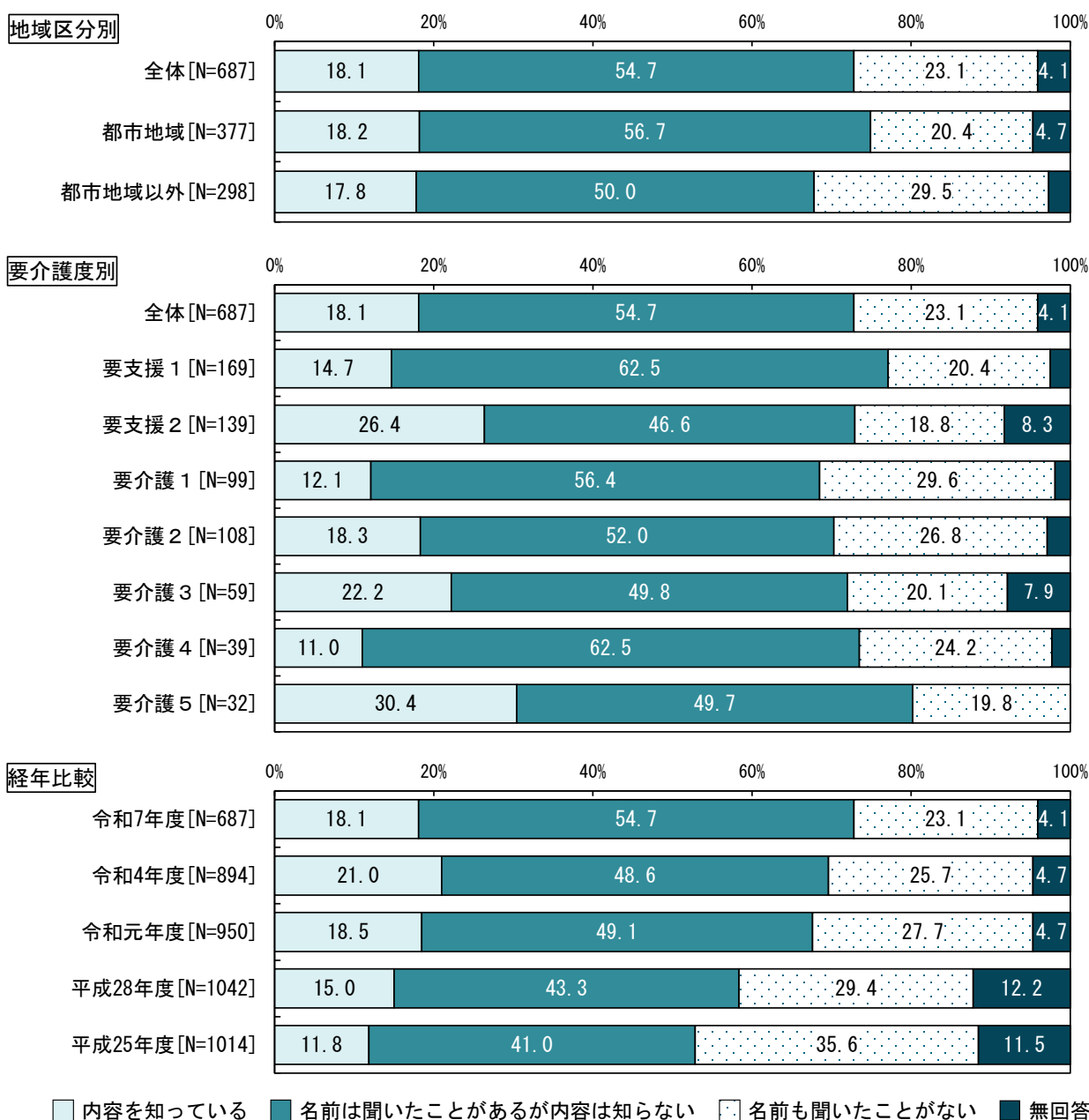
(9) - ③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況

質問文

問 43 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が54.7%、「名前も聞いたことがない」が23.1%、「内容を知っている」が18.1%となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べ「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が多くなっています。要介護度別では、要支援2、要介護3,5で「内容を知っている」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「内容を知っている」「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」の合計の割合が増えています。

図表 45 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況



(10) 介護者について

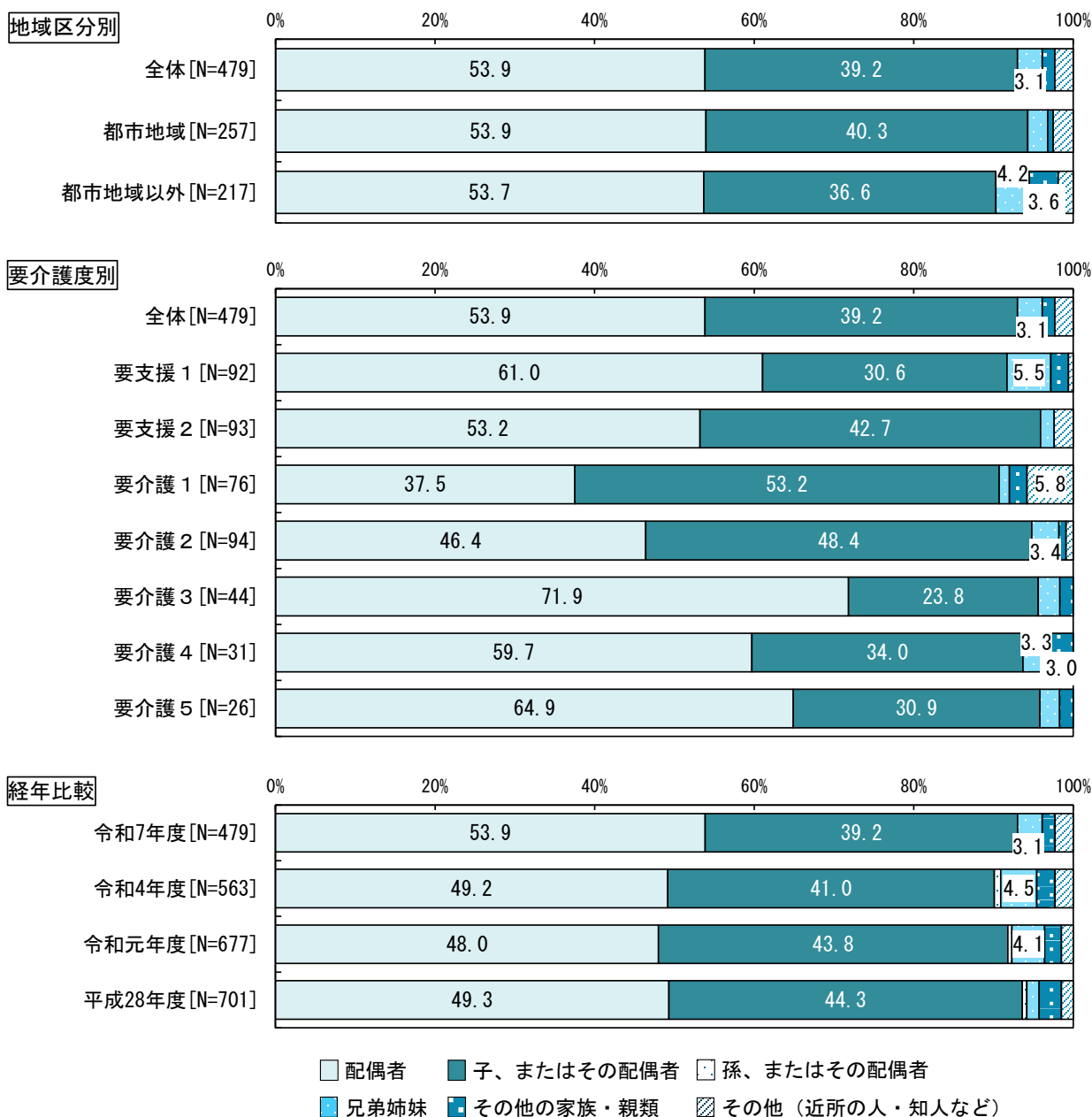
(10) - ① 本人の介護をしている人

質問文

問 44 ふだん、ご本人の介護やお世話をしているのはどなたですか。ご本人から見た続柄でご回答ください。なお、ホームヘルパーや家政婦等は除きます。(おもに介護やお世話をしている方おひとりに○)

- 本人の介護や世話をしている人については、「配偶者」が53.9%、「子、またはその配偶者」が39.2%と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べ「子、またはその配偶者」の割合が多くなっています。要介護度別では、要支援1、要介護3~5で「配偶者」が多く、要介護1,2で「子、またはその配偶者」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「配偶者」の割合が徐々に増加しています。

図表 46 本人の介護をしている人



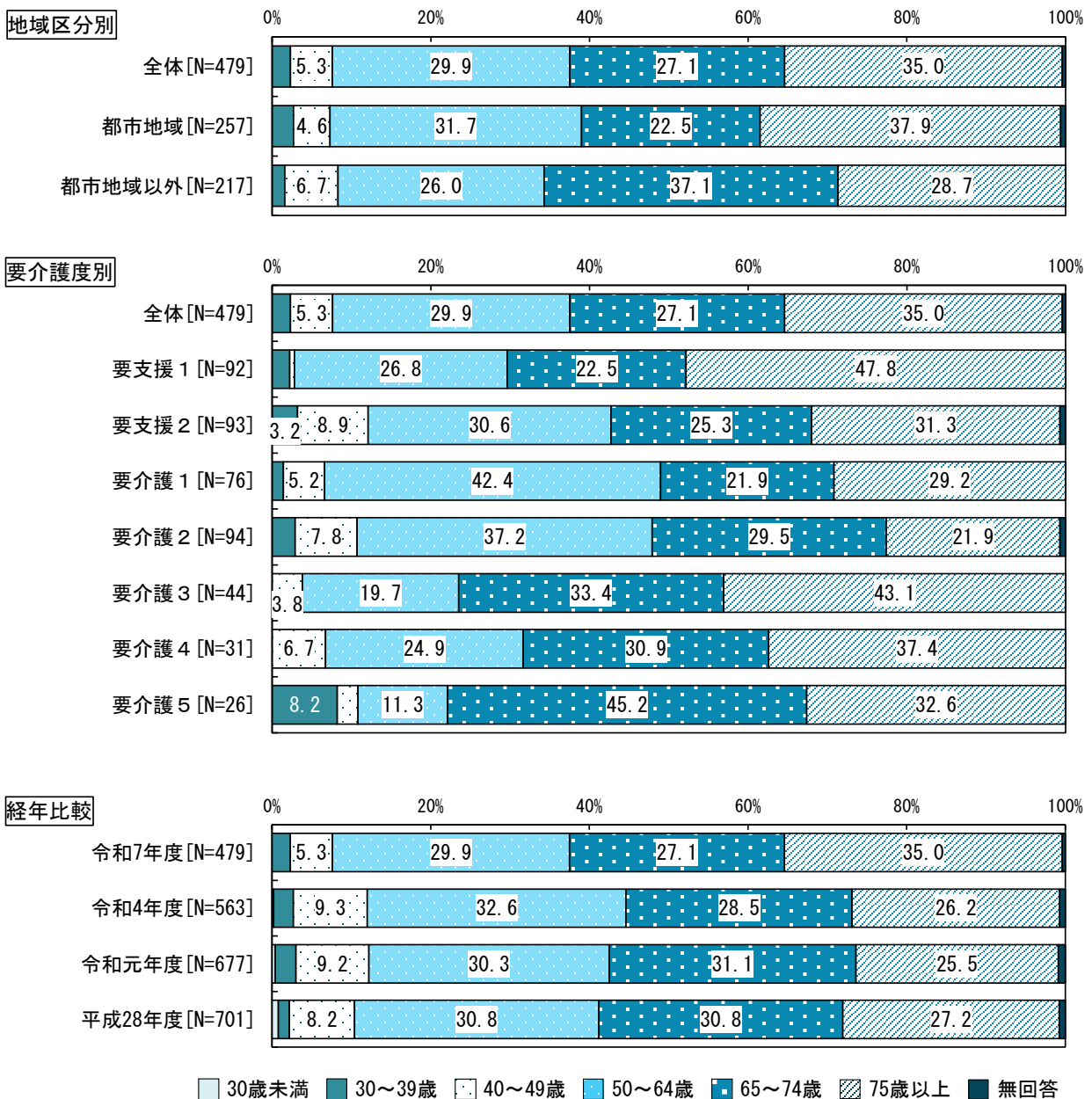
(10) - ② おもな介護者の年齢

質問文

問 45 あなた（おもな介護者）の年齢をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- おもな介護者の年齢について聞いたところ、「75歳以上」が35.0%、「50～64歳」が29.9%、「65～74歳」が27.1%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外では都市地域に比べ、「65～74歳」の割合が大きくなっています。要介護度別では、要支援2、要介護1,2で75歳未満の割合が多く、要支援1、要介護3～5で75歳以上の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和7年度は「75歳以上」の割合が多くなっています。

図表 47 おもな介護者の年齢



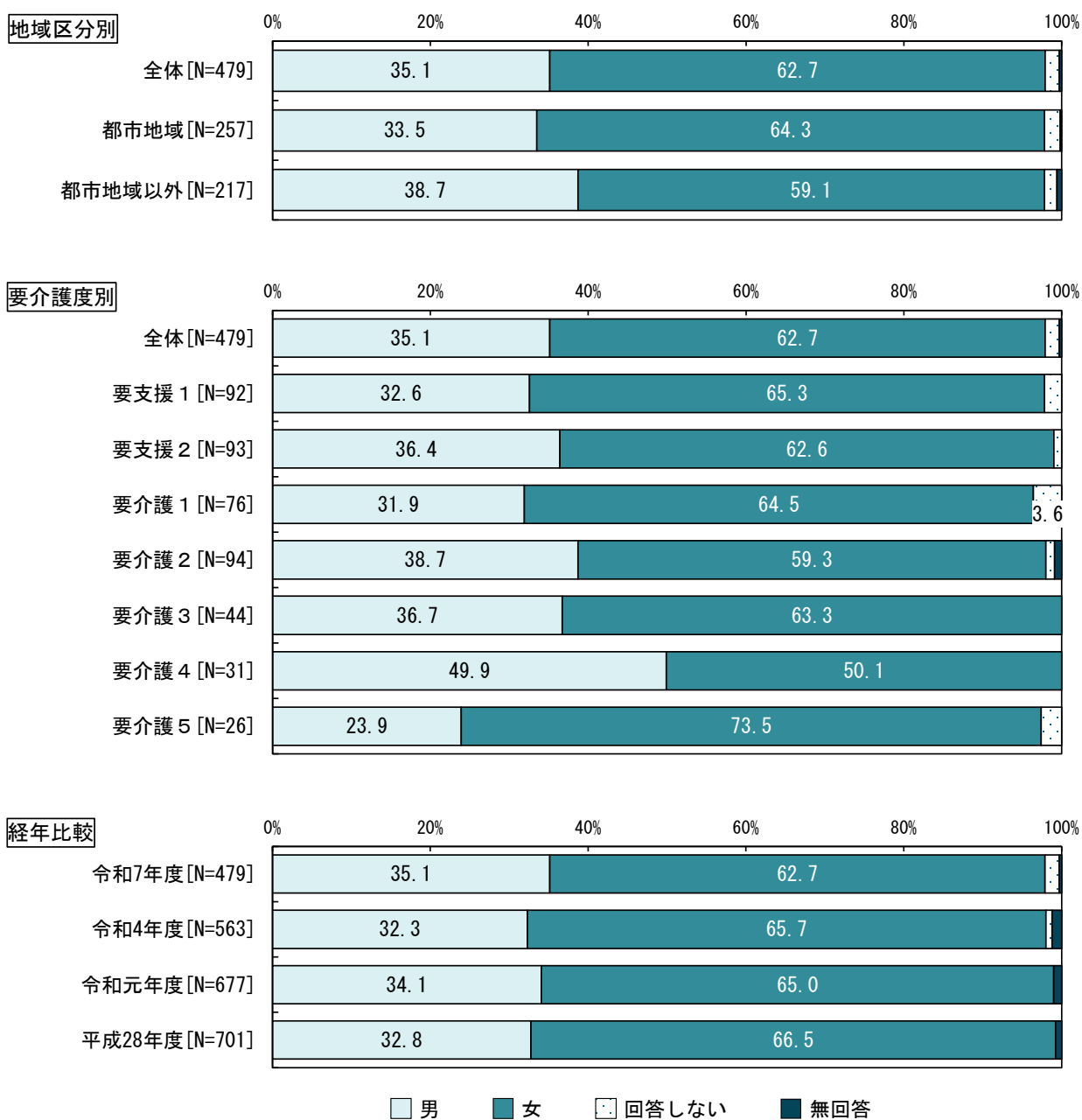
(10) - ③ おもな介護者の性別

質問文

問 46 あなた（おもな介護者）の性別をお答えください。（いずれか1つに○）

- おもな介護者の性別は、「女」が62.7%、「男」が35.1%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べ、「男性」の割合が多くなっています。要介護度別では、要支援4で「男性」、要介護5で「女性」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 48 おもな介護者の性別



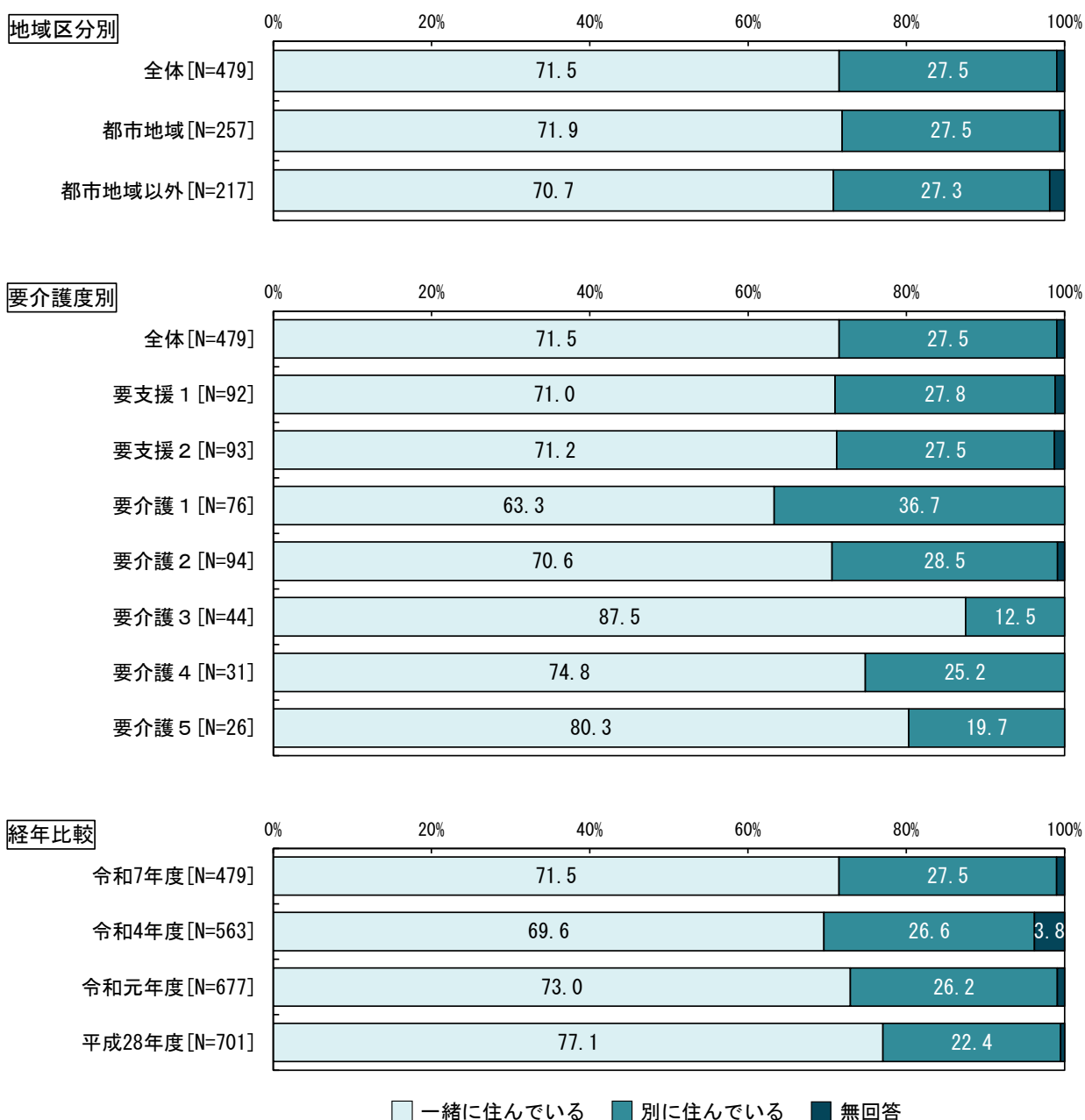
(10) - ④ 本人との同居の状況

質問文

問 47 ご本人との同居の状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

- 本人との同居の状況については、「一緒に住んでいる」が71.5%、「別に住んでいる」が27.5%となっています。
- 地域区分別では、大きな違いは見受けられません。要介護度別では、要介護3～5で「一緒に住んでいる」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 49 本人との同居の状況



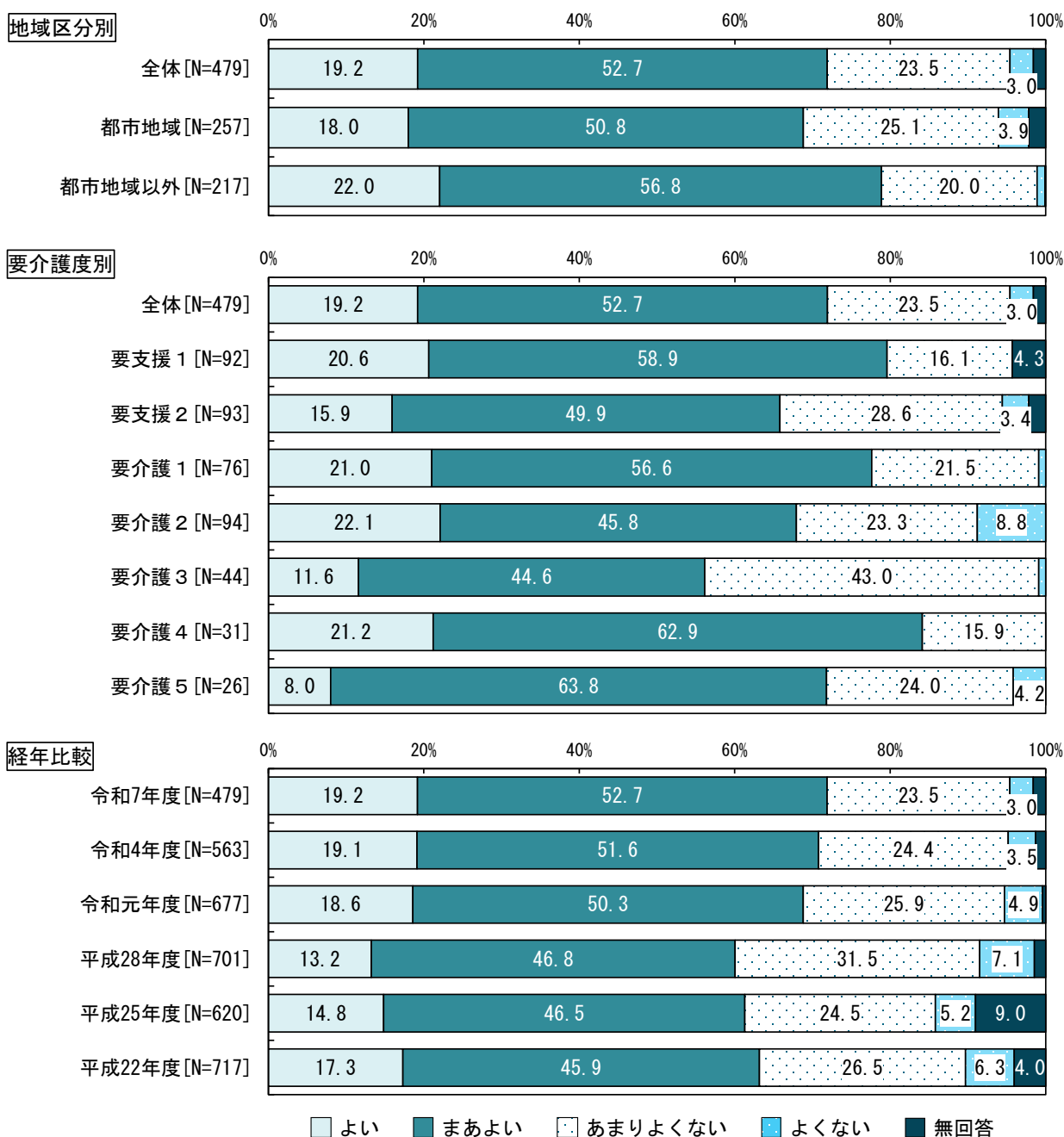
(10) - ⑤ おもな介護者の健康状態

質問文

問 48 あなた（おもな介護者）の健康状態はいかがですか。（あてはまるもの1つに○）

- おもな介護者の健康状態としては、「まあよい」が52.7%、「あまりよくない」が23.5%、「よい」が19.2%、「よくない」が3.0%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べ、「まあよい」の割合が多くなっています。要介護度別では、「あまりよくない」の割合が要支援1、要介護1,4で少なく、要支援2や要介護3で多くなっています。
- 経年比較では、「よい」「まあよい」の合計がやや増えています。

図表 50 おもな介護者の健康状態



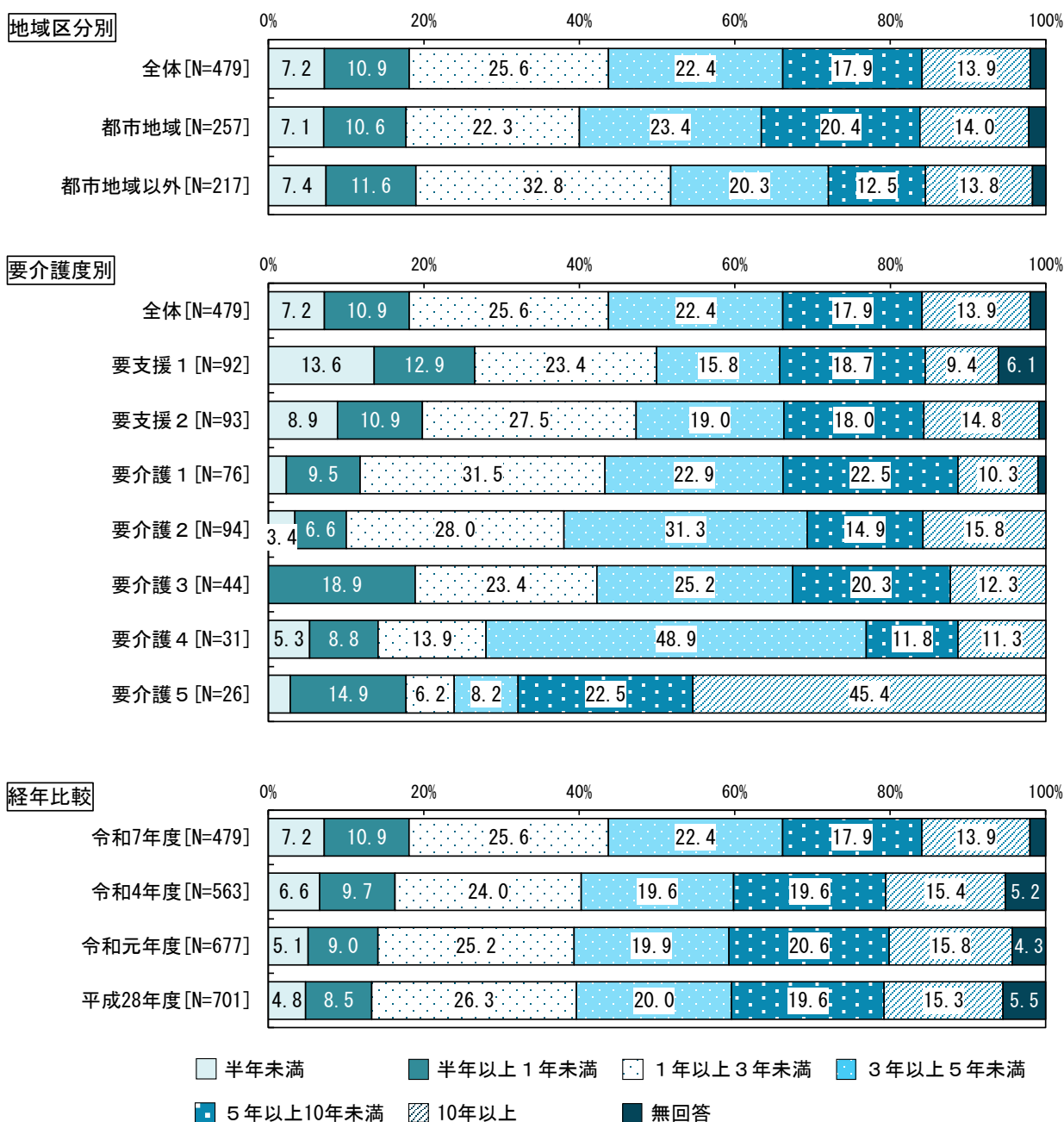
(10) - ⑥ 本人に対する介護年数

質問文

問 49 ご本人に対する介護年数についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 本人に対する介護年数について聞いたところ、「1年以上3年未満」が25.6%、「3年以上5年未満」が22.4%、「5年以上10年未満」が17.9%、「10年以上」が13.9%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「1年以上3年未満」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護度が高くなるほど介護年数が長くなる傾向にあります。
- 経年比較では、1年未満の割合が増加傾向にあります。

図表 51 本人に対する介護年数



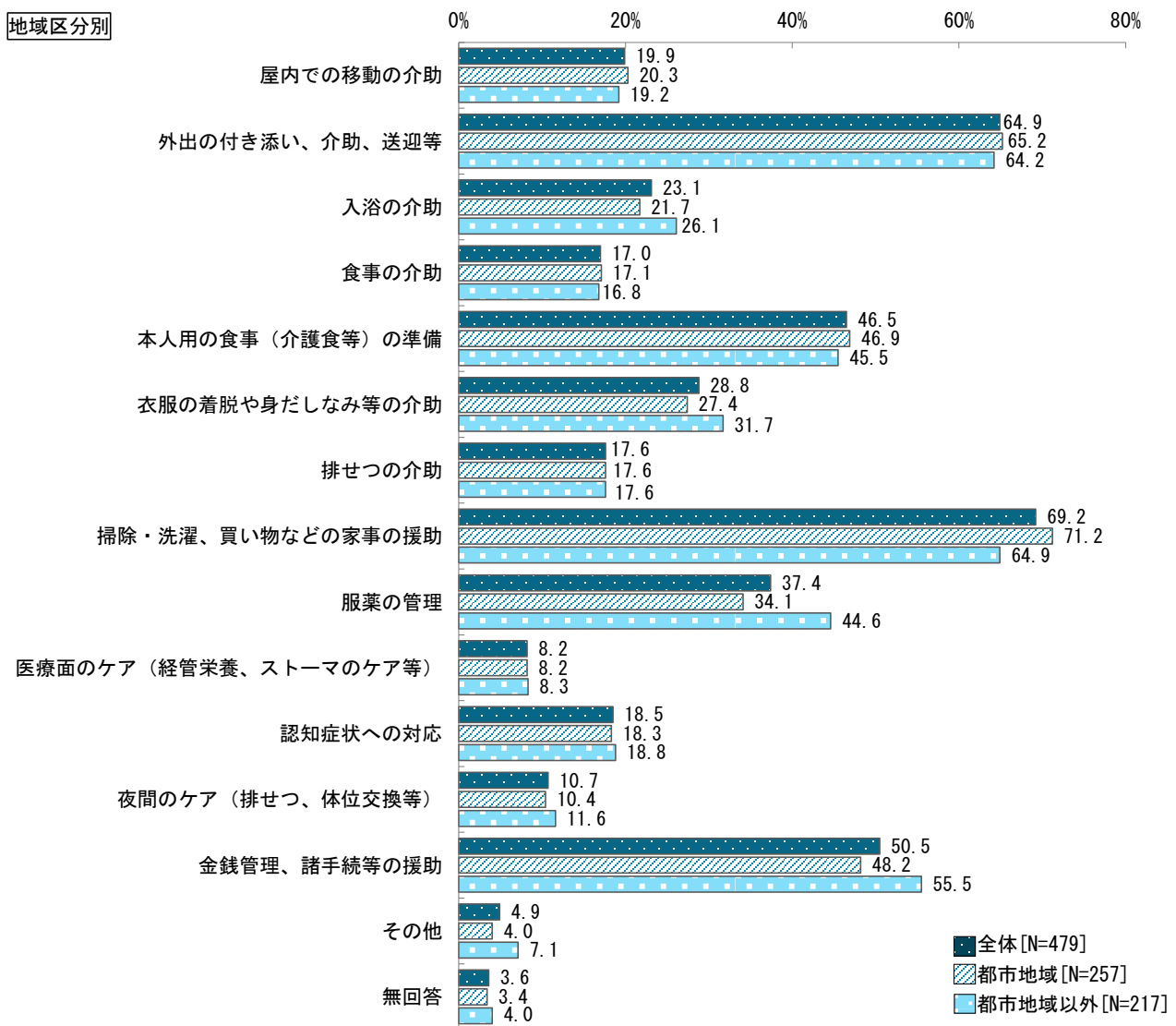
(10) - ⑦ おもな介護者が行っている介護等

質問文

問 50 あなた（おもな介護者）が行っている介護等についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- おもな介護者が行っている介護等としては、「掃除・洗濯、買い物などの家事の援助」が 69.2%、「外出の付き添い、介助、送迎等」が 64.9%、「金銭管理、諸手続等の援助」が 50.5% 等と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「服薬の管理」「金銭管理、諸手続等の援助」の割合が多くなっています。要介護度別では、ほとんどすべての項目において、要介護度が高くなるほど割合が多くなっています。
- 経年比較では、大きな変化は見受けられません。

図表 52 おもな介護者が行っている介護等（複数回答）

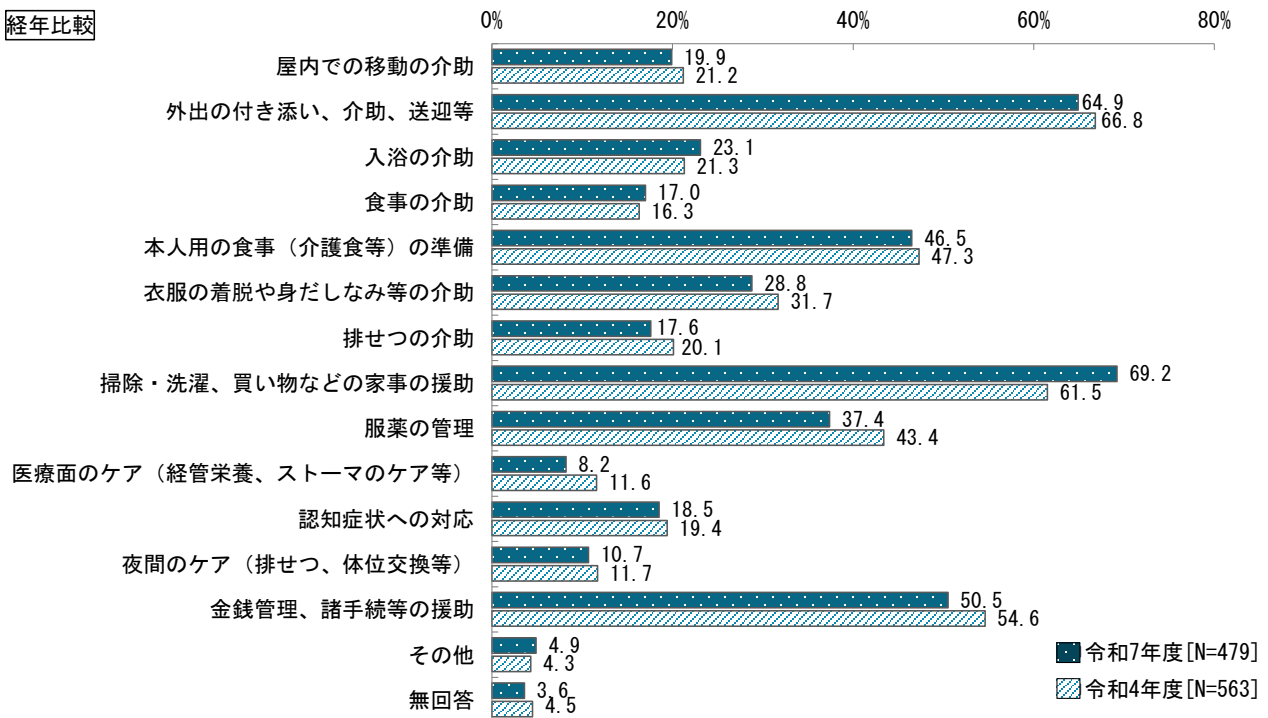


要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=479]	要支援		要介護				
		1 [N=92]	2 [N=93]	1 [N=76]	2 [N=94]	3 [N=44]	4 [N=31]	5 [N=26]
屋内での移動の介助	19.9	2.6	18.7	5.1	19.7	48.4	50.1	55.9
外出の付き添い、介助、送迎等	64.9	46.6	71.5	74.8	71.7	72.9	62.0	73.5
入浴の介助	23.1	6.3	15.7	21.4	37.0	34.5	36.9	36.4
食事の介助	17.0	3.0	10.2	9.5	19.1	32.5	33.3	66.6
本人用の食事（介護食等）の準備	46.5	40.4	27.3	54.1	51.4	68.3	52.2	74.6
衣服の着脱や身だしなみ等の介助	28.8	7.4	13.5	24.5	35.4	62.7	63.5	77.7
排せつの介助	17.6	0.7	5.5	9.7	19.1	41.6	58.0	66.7
掃除・洗濯、買い物などの家事の援助	69.2	67.1	63.5	71.4	75.9	79.3	57.6	81.2
服薬の管理	37.4	13.6	20.5	46.1	48.9	71.8	47.8	74.5
医療面のケア（経管栄養、ストーマのケア等）	8.2	2.2	3.8	3.6	9.4	18.5	12.5	39.6
認知症状への対応	18.5	7.7	6.3	33.1	26.5	25.1	18.7	39.4
夜間のケア（排せつ、体位交換等）	10.7	0.0	5.0	0.0	13.2	22.4	36.8	49.7
金銭管理、諸手続等の援助	50.5	32.8	27.3	66.0	60.9	75.0	60.1	78.3
その他	4.9	1.6	6.9	1.9	5.6	7.1	3.6	8.3
無回答	3.6	6.9	4.7	3.1	2.6	0.0	0.0	0.0

経年比較



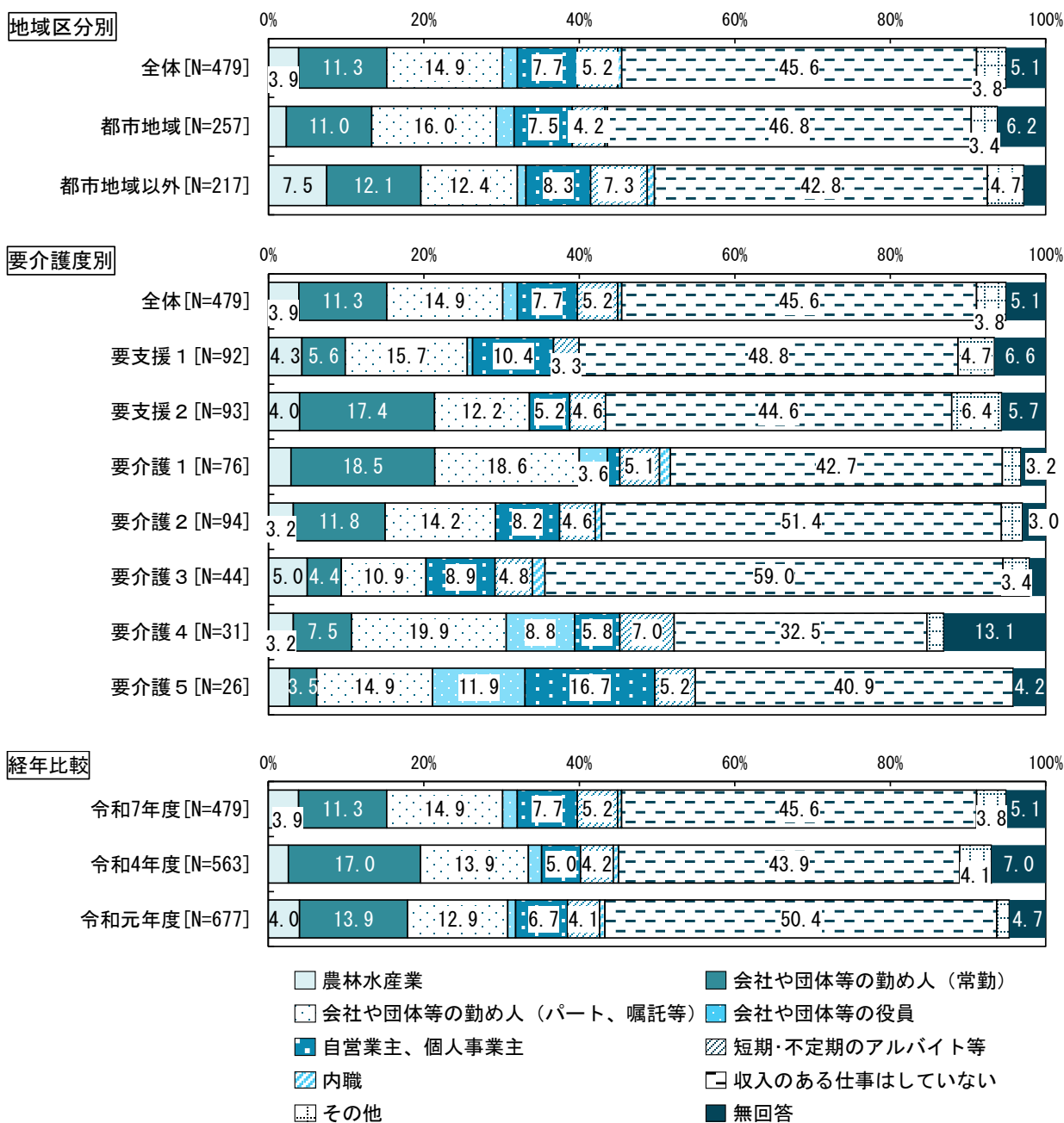
(10) - ⑧ おもな介護者の就業状況

質問文

問 51 あなた（おもな介護者）は収入のあるお仕事をされていますか。（あてはまるもの1つに○）

- おもな介護者の就業状況について聞いたところ、「収入のある仕事はしていない」が45.6%と多くなっています。就業している人では、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が14.9%、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が11.3%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「収入のある仕事はしていない」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要介護3で「収入のある仕事はしていない」が多くなっています。
- 経年比較では、令和7年度は令和4年度と比べ、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が減少しています。

図表 53 おもな介護者の就業状況



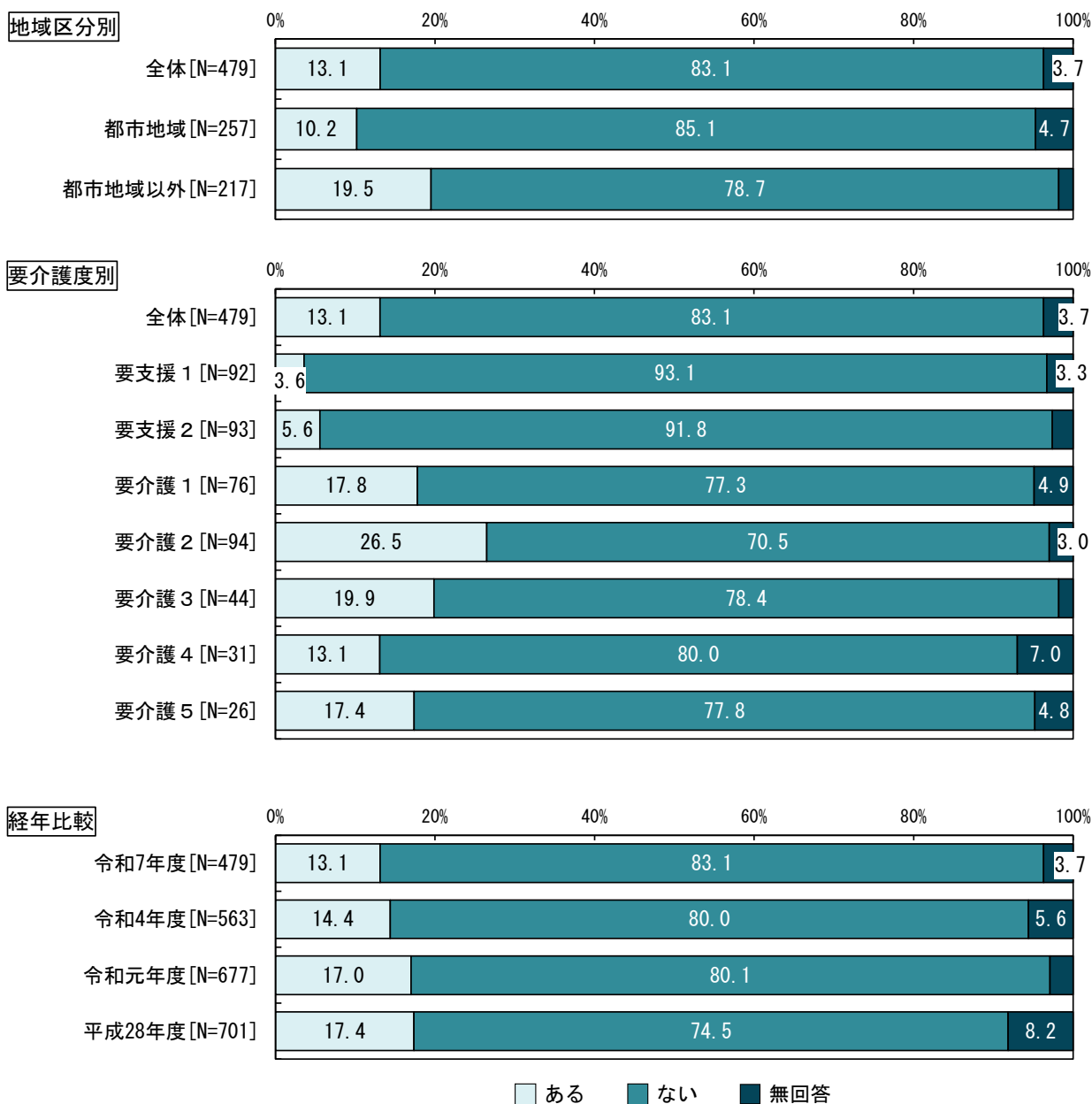
(10) - ⑨ おもな介護者が介護のために仕事を辞めたり転職をした経験の有無

質問文

問 52 あなた（おもな介護者）は、これまでに、介護のために仕事を辞めたり、転職をした経験がありますか。（あてはまるもの1つに○）

- おもな介護者が、介護のために仕事を辞めたり転職をした経験があるかどうかを聞いたところ、「ない」が83.1%、「ある」が13.1%となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ある」の割合が多くなっています。要介護度別では、要支援1,2が要介護1～5に比べて、「ある」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、「ある」が減少しています。

図表 54 おもな介護者が介護のために仕事を辞めたり転職をした経験の有無



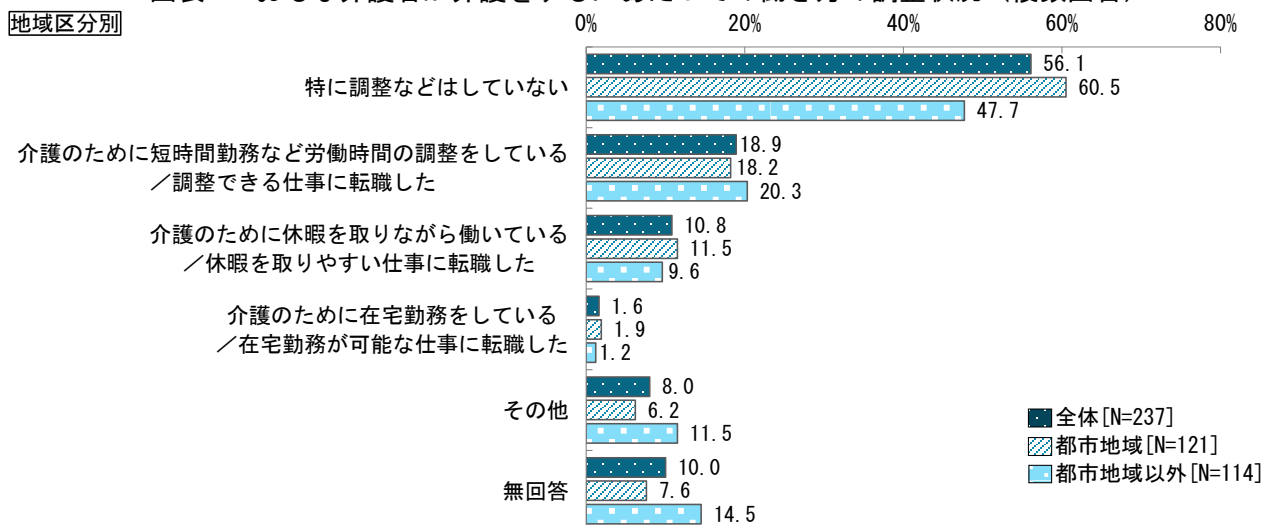
(10) - ⑩ おもな介護者が介護をするにあたっての働き方の調整状況

質問文

問 53 現在お仕事をされている方にお聞きします。
 (1) あなた（おもな介護者）は、介護をするにあたり、働き方の調整などを行っていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

- 就業をしている人に、介護をするにあたっての働き方の調整状況について聞いたところ、「特に調整などはしていない」が56.1%と多くなっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「特に調整などはしていない」の割合が少なくなっています。要介護度別では、要支援1,2、要介護5で「特に調整などはしていない」の割合が多くなっています。

図表 55 おもな介護者が介護をするにあたっての働き方の調整状況（複数回答）

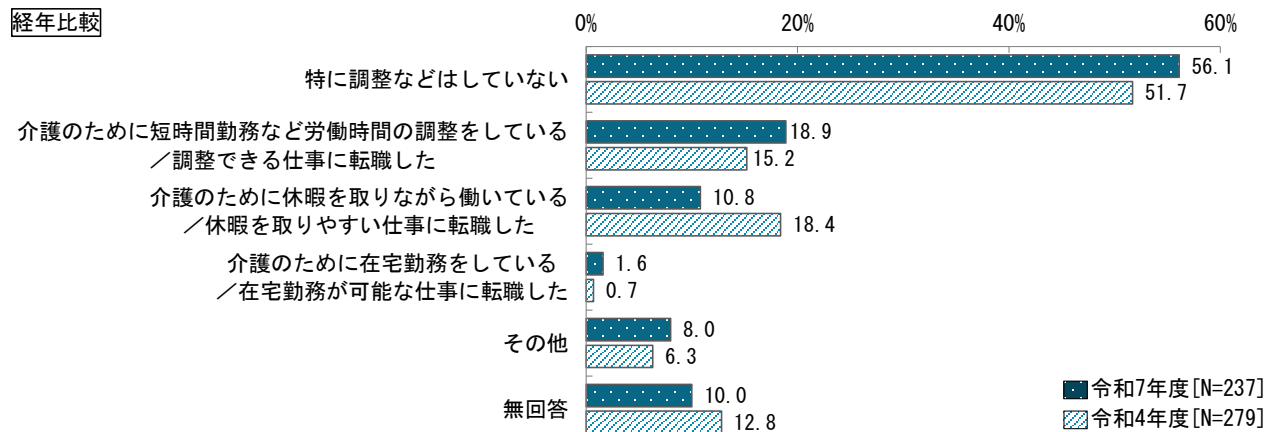


要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=237]	要支援		要介護				
		1 [N=40]	2 [N=49]	1 [N=43]	2 [N=45]	3 [N=17]	4 [N=16]	5 [N=13]
特に調整などはしていない	56.1	59.5	68.4	57.9	44.0	41.2	31.7	65.4
介護のために短時間勤務など労働時間の調整をしている	18.9	8.9	5.9	22.1	27.1	44.8	30.5	23.1
介護のために休暇を取りながら働いている ／休暇を取りやすい仕事に転職した	10.8	9.0	10.4	10.0	16.1	10.0	17.5	5.2
介護のために在宅勤務をしている ／在宅勤務が可能な仕事に転職した	1.6	0.0	0.0	2.5	2.5	5.4	0.0	6.4
その他	8.0	7.1	4.9	6.0	15.8	5.7	18.6	0.0
無回答	10.0	17.1	12.1	4.5	11.2	8.3	8.3	0.0

経年比較



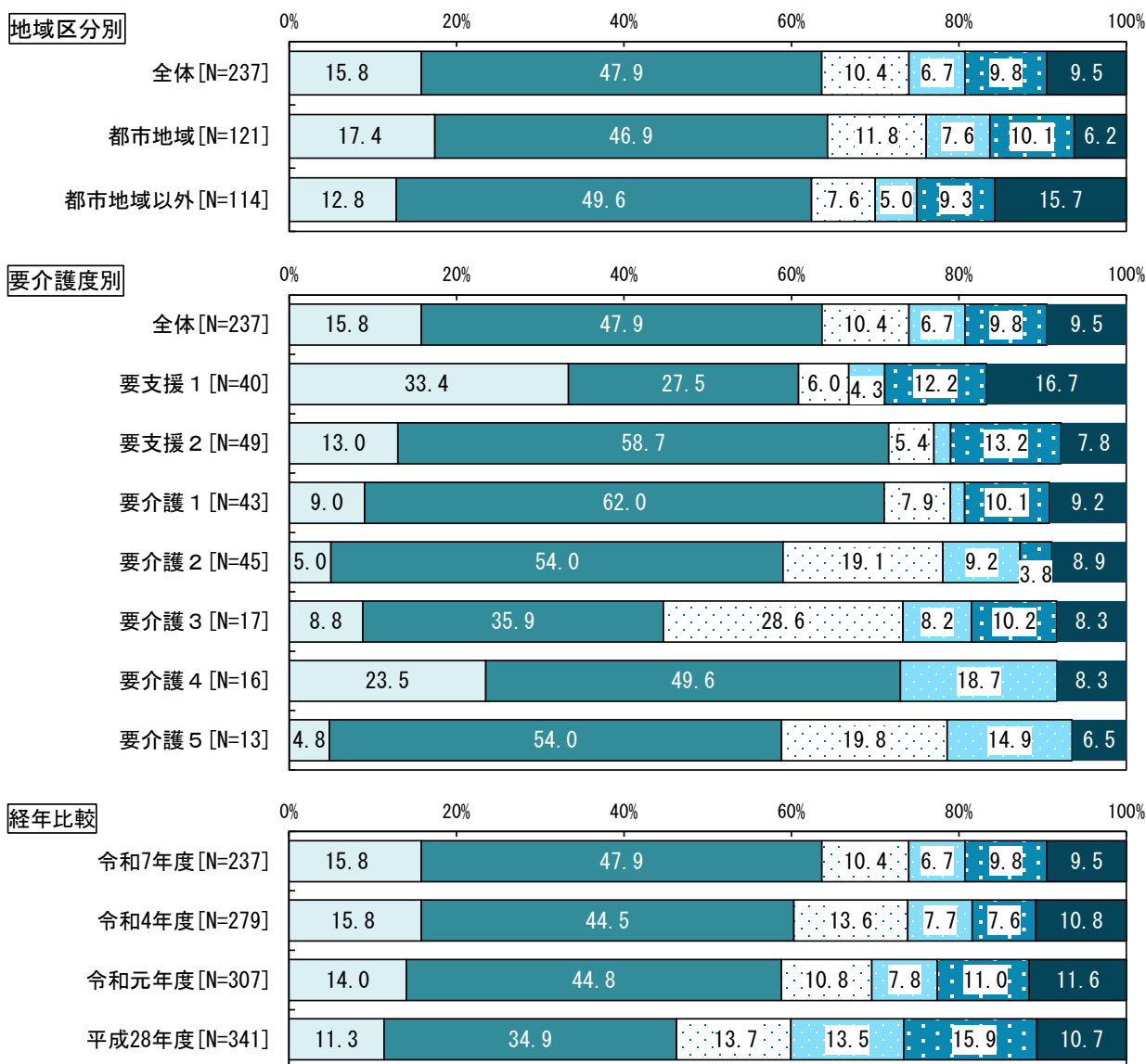
(10) - ⑪ おもな介護者が今後も仕事をしながら介護を続けていけると思うか

質問文

問 53 現在お仕事をされている方にお聞きします。
 (2) あなた（おもな介護者）は、今後も仕事をしながら介護を続けていけると思いますか。
 （あてはまるもの1つに○）

- 今後も仕事をしながら介護を続けていけると思うかどうかを聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていけると思う」が47.9%、「問題なく続けていけると思う」が15.8%、「続けていくのはやや難しいと思う」が10.4%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「問題なく続けていけると思う」が少なくなっています。
- 経年比較では、「問題なく続けていけると思う」「問題はあるが、何とか続けていけると思う」の合計が徐々に増加しています。

図表 56 おもな介護者が今後も仕事をしながら介護を続けていけると思うか



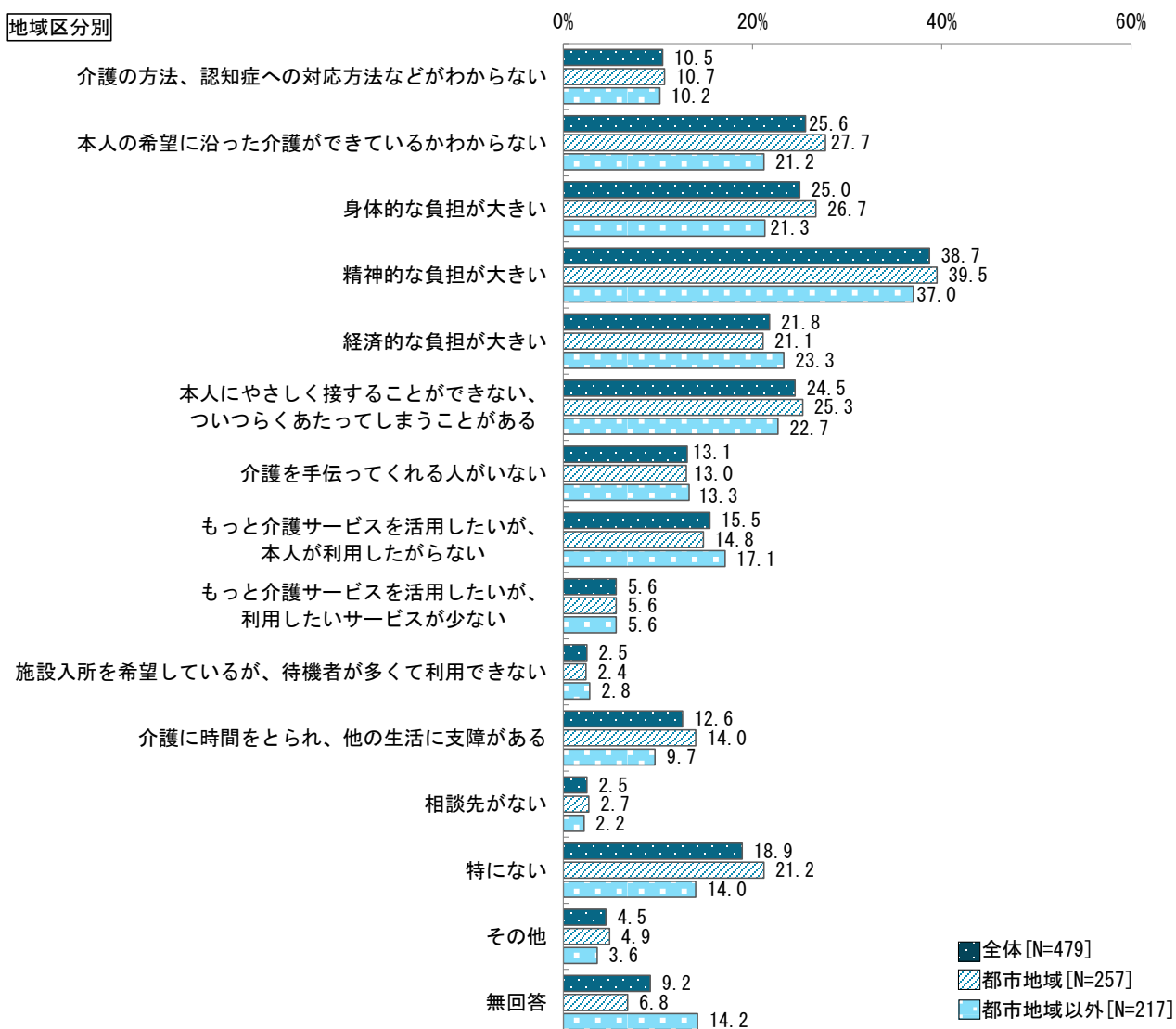
(10) - ⑫ 介護で困っていること、感じること

質問文

問 54 介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 介護で困っていること、感じることについて聞いたところ、「精神的な負担が大きい」が 38.7%と最も多く、次いで、「本人の希望に沿った介護ができていないかわからない」が 25.6%、「身体的な負担が大きい」が 25.0%、「本人にやさしく接することができない、つつらくあたってしまうことがある」が 24.5%、「経済的な負担が大きい」 21.8%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「本人の希望に沿った介護ができていないかわからない」「身体的な負担が大きい」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護 3～5 で「身体的な負担が大きい」が、要介護 1～4 で「精神的な負担が大きい」が、要介護 2～5 で「経済的な負担が大きい」が多くなっています。

図表 57 介護で困っていること、感じること（複数回答）

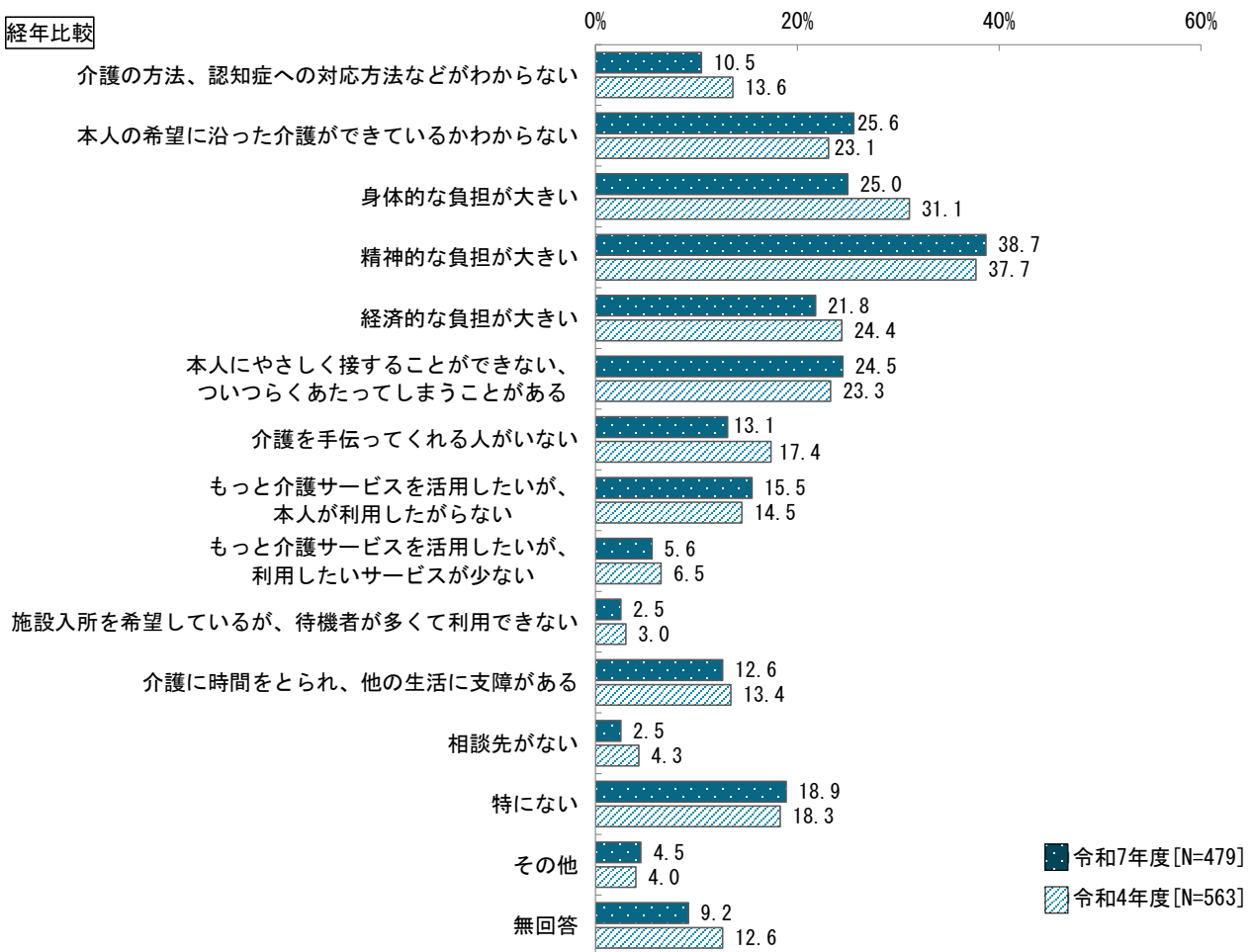


要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=479]	要支援		要介護				
		1 [N=92]	2 [N=93]	1 [N=76]	2 [N=94]	3 [N=44]	4 [N=31]	5 [N=26]
介護の方法、認知症への対応方法などがわからない	10.5	11.2	5.0	14.5	11.5	12.3	10.6	5.7
本人の希望に沿った介護ができているかわからない	25.6	19.4	27.9	24.5	22.0	42.9	33.1	29.3
身体的な負担が大きい	25.0	10.3	18.5	25.5	29.6	39.2	40.1	55.0
精神的な負担が大きい	38.7	20.6	25.4	54.8	54.8	55.4	45.9	33.6
経済的な負担が大きい	21.8	13.2	18.2	16.2	26.4	36.7	36.0	29.7
本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある	24.5	13.9	22.6	29.4	31.2	38.8	24.6	27.4
介護を手伝ってくれる人がいない	13.1	6.7	14.6	16.1	11.4	16.7	24.5	14.2
もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない	15.5	6.5	12.3	23.1	25.8	21.4	10.1	7.0
もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない	5.6	0.7	8.2	9.6	5.6	2.1	3.3	11.7
施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない	2.5	4.7	0.8	0.6	1.7	8.1	0.0	0.0
介護に時間をとられ、他の生活に支障がある	12.6	1.3	8.7	19.9	16.9	24.9	12.5	25.0
相談先がない	2.5	2.9	0.9	5.9	0.9	6.0	0.0	0.0
特になし	18.9	34.9	22.0	10.6	10.0	9.0	16.7	16.4
その他	4.5	4.7	0.0	5.8	6.2	4.0	3.6	10.9
無回答	9.2	15.4	8.0	6.9	11.8	0.0	5.1	6.9

経年比較



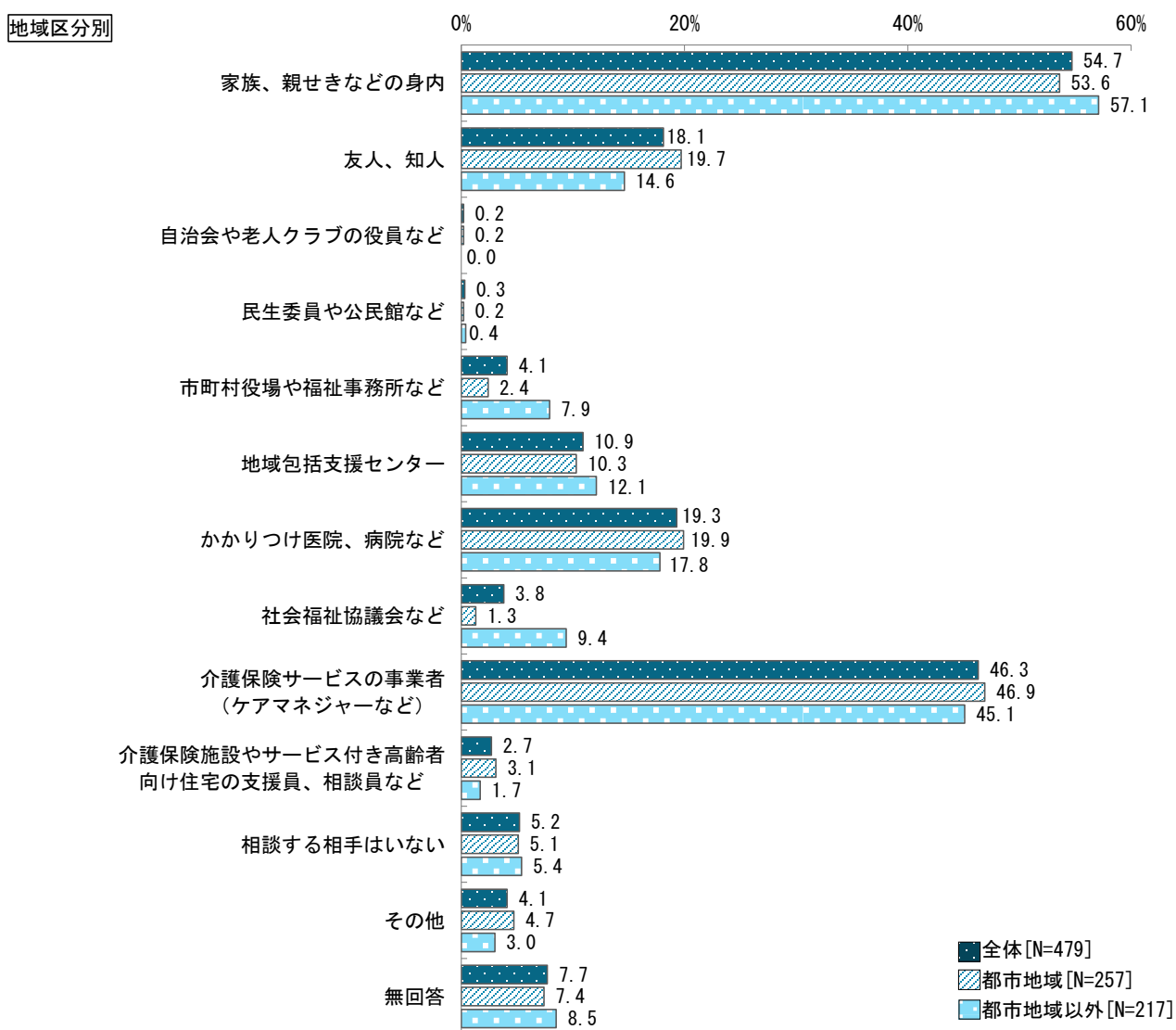
(10) - ⑬ おもな介護者が介護のことで困ったときの相談相手

質問文

問 55 あなた（おもな介護者）は、介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

- おもな介護者が介護のことで困ったときの相談相手としては、「家族、親せきなどの身内」が 54.7%と最も多く、次いで、「介護保険サービスの事業者（ケアマネジャーなど）」が 46.3%、「かかりつけ医院、病院など」が 19.3%、「友人・知人」が 18.1%、「地域包括支援センター」が 10.9%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「市町村役場や福祉事務所など」「社会福祉協議会など」の割合が多くなっています。要介護度別では、要介護1～5で「介護保険サービスの事業者（ケアマネジャーなど）」の割合が多くなっています。

図表 58 おもな介護者が介護のことで困ったときの相談相手（複数回答）

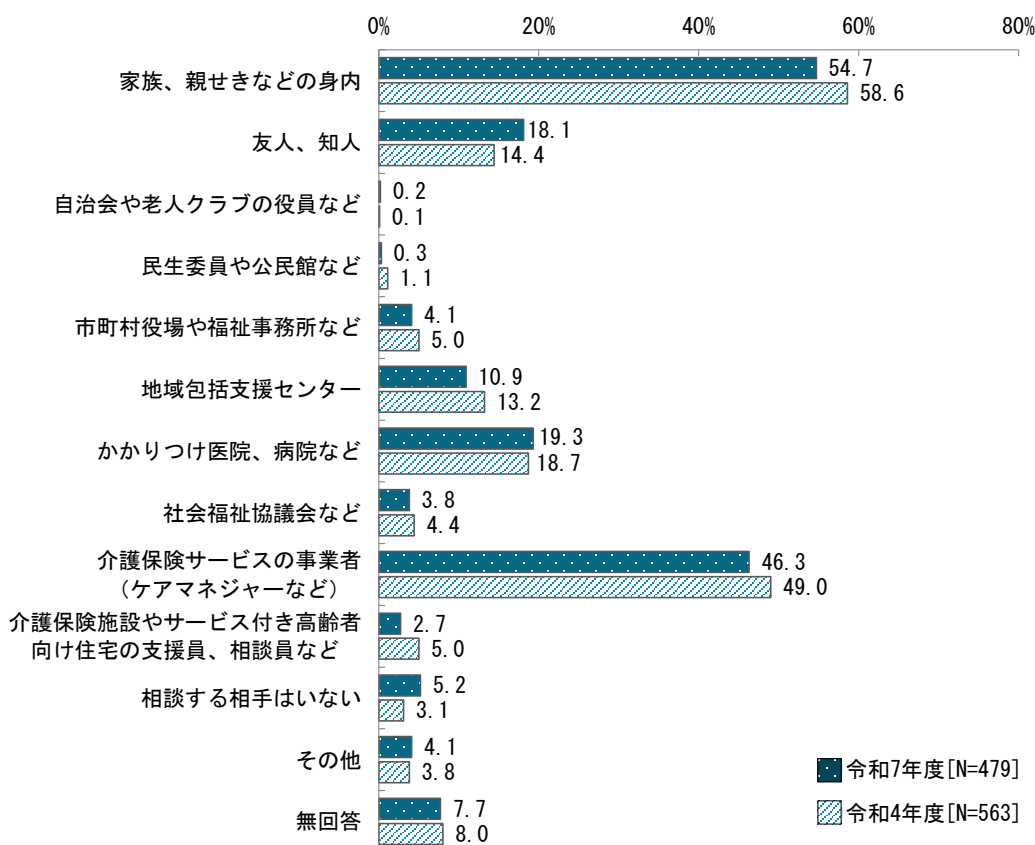


要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=479]	要支援		要介護				
		1 [N=92]	2 [N=93]	1 [N=76]	2 [N=94]	3 [N=44]	4 [N=31]	5 [N=26]
家族、親せきなどの身内	54.7	52.7	56.5	56.6	55.1	60.6	45.4	45.8
友人、知人	18.1	12.3	18.7	25.4	21.7	11.6	17.2	19.9
自治会や老人クラブの役員など	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員や公民館など	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市町村役場や福祉事務所など	4.1	3.8	4.0	5.7	5.1	3.0	3.3	2.5
地域包括支援センター	10.9	16.9	9.2	14.9	9.2	6.3	2.4	7.1
かかりつけ医院、病院など	19.3	12.2	18.3	26.2	13.7	30.0	26.6	33.6
社会福祉協議会など	3.8	2.3	3.3	4.5	6.3	1.8	5.1	4.8
介護保険サービスの事業者 (ケアマネジャーなど)	46.3	25.8	35.5	55.8	54.5	67.9	66.3	66.5
介護保険施設やサービス付き高齢者 向け住宅の支援員、相談員など	2.7	0.6	1.7	5.2	6.9	0.0	0.0	2.7
相談する相手はいない	5.2	5.0	8.2	4.0	8.4	0.0	0.0	2.8
その他	4.1	4.4	5.1	5.6	1.1	0.0	0.0	4.8
無回答	7.7	13.5	5.5	4.8	11.0	5.1	3.0	2.7

経年比較



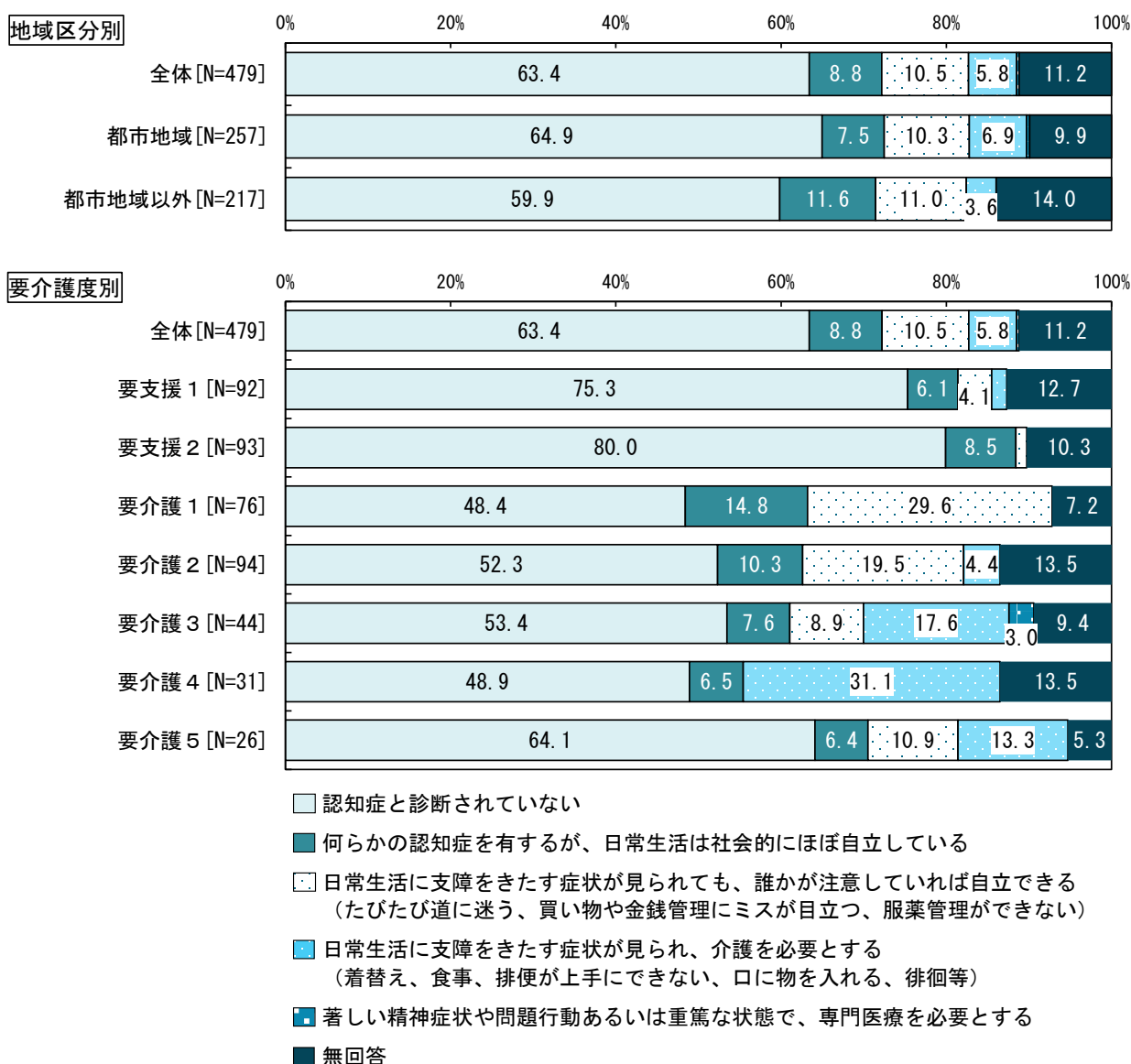
(10) - ⑭ 医師からの認知症診断・日常生活自立度

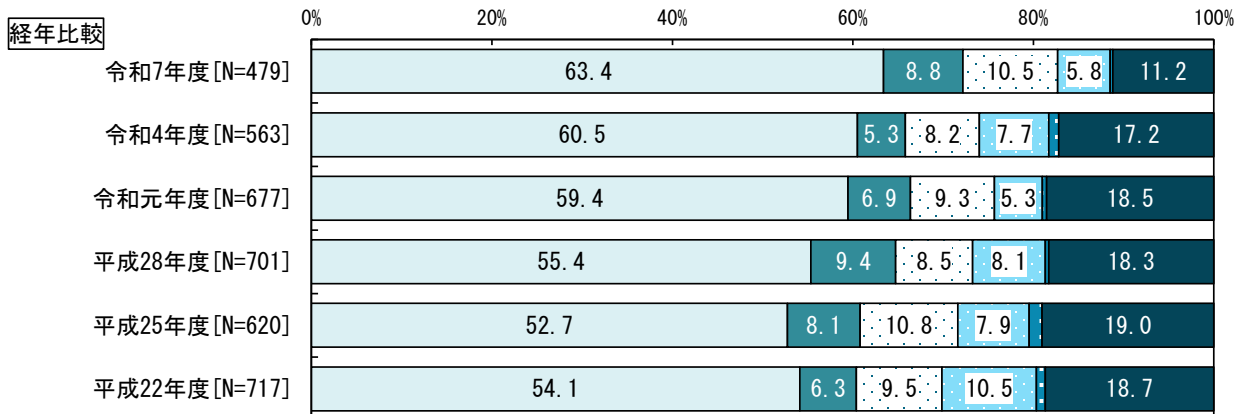
質問文

問 56 認知症についておたずねします。ご本人は、医師から認知症と診断されていますか。また、診断されている場合は、その日常生活自立度はどの程度ですか。(あてはまるもの1つに○)

- おもな介護者が介護をしている高齢者について、医師からの認知症診断・日常生活自立度の状況を聞いたところ、「認知症と診断されていない」が63.4%と最も多くなっています。認知症の診断を受けている人では、「日常生活に支障をきたす症状が見られても、誰かが注意していれば自立できる」が10.5%、「何らかの認知症を有するが、日常生活は社会的にほぼ自立している」が8.8%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べ、「認知症と診断されていない」が少なくなっています。要介護度別では、要支援1,2は「認知症と診断されていない」の割合が多い一方、要介護1~4は「認知症と診断されていない」の割合が少なくなっています。
- 経年比較では、「認知症と診断されていない」の割合が多くなっています。

図表 59 医師からの認知症診断・日常生活自立度（複数回答）





- 認知症と診断されていない
- 何らかの認知症を有するが、日常生活は社会的にほぼ自立している
- 日常生活に支障をきたす症状が見られても、誰かが注意していれば自立できる
(たびたび道に迷う、買い物や金銭管理にミスが目立つ、服薬管理ができない)
- 日常生活に支障をきたす症状が見られ、介護を必要とする
(着替え、食事、排便が上手にできない、口に物を入れる、徘徊等)
- 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な状態で、専門医療を必要とする
- 無回答

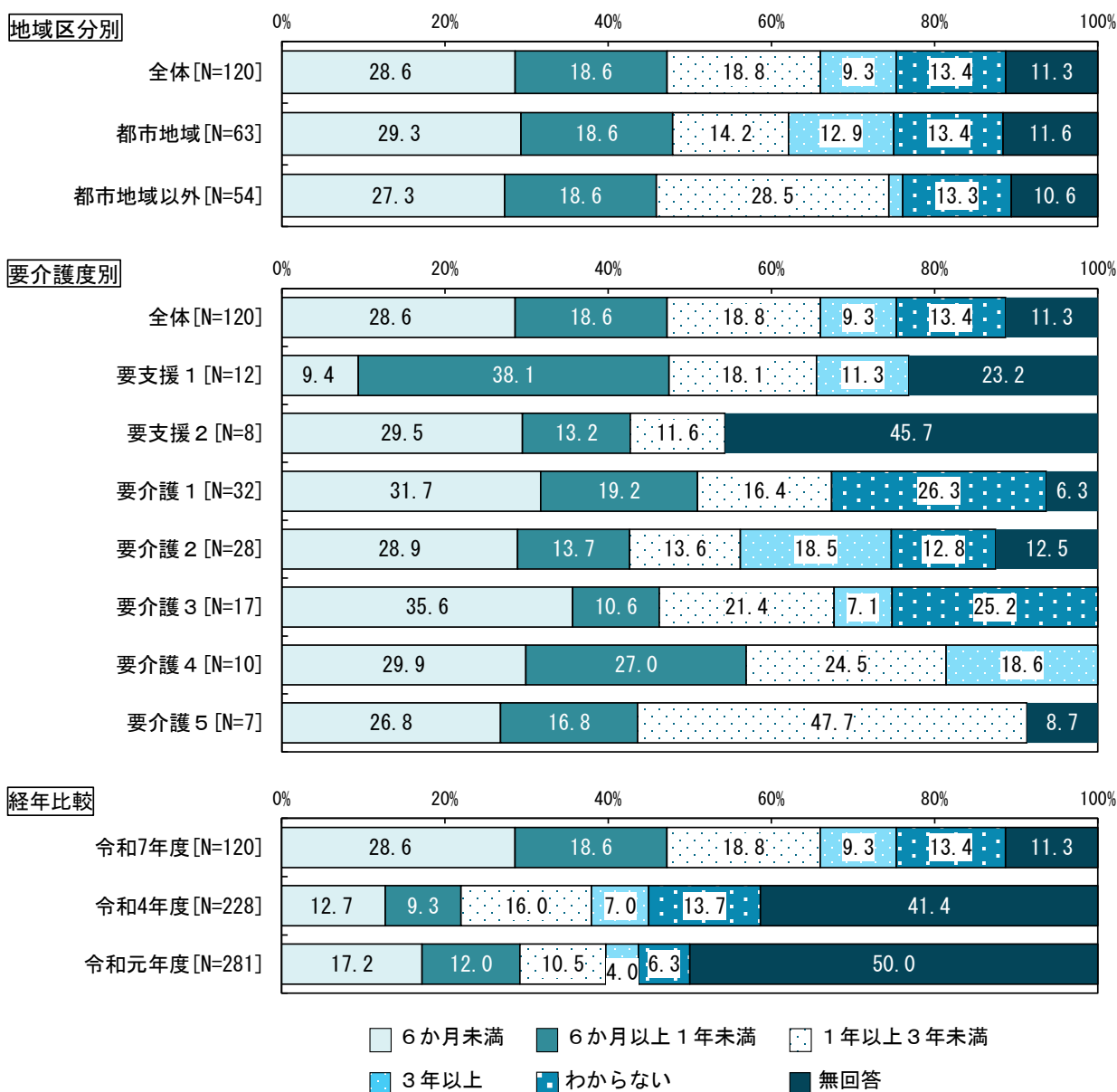
(10) - ⑮ 認知症により自身の変化に気づいてから受診に至るまでの期間

質問文

問 57 前の問で認知症と診断されていると答えた方におたずねします。ご本人の変化に気づいてから、最初の受診までの期間はどれくらいかかりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 認知症により自身の変化に気づいてから受診に至るまでの期間については、「6か月未満」が28.6%、「1年以上3年未満」が18.8%、「6か月以上1年未満」が18.6%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「1年以上3年未満」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、令和7年度は無回答の割合が大きく減っているため、単純比較はできませんが、令和4年度と比較して1年未満の割合が多くなっています。

図表 60 認知症により自身の変化に気づいてから受診に至るまでの期間



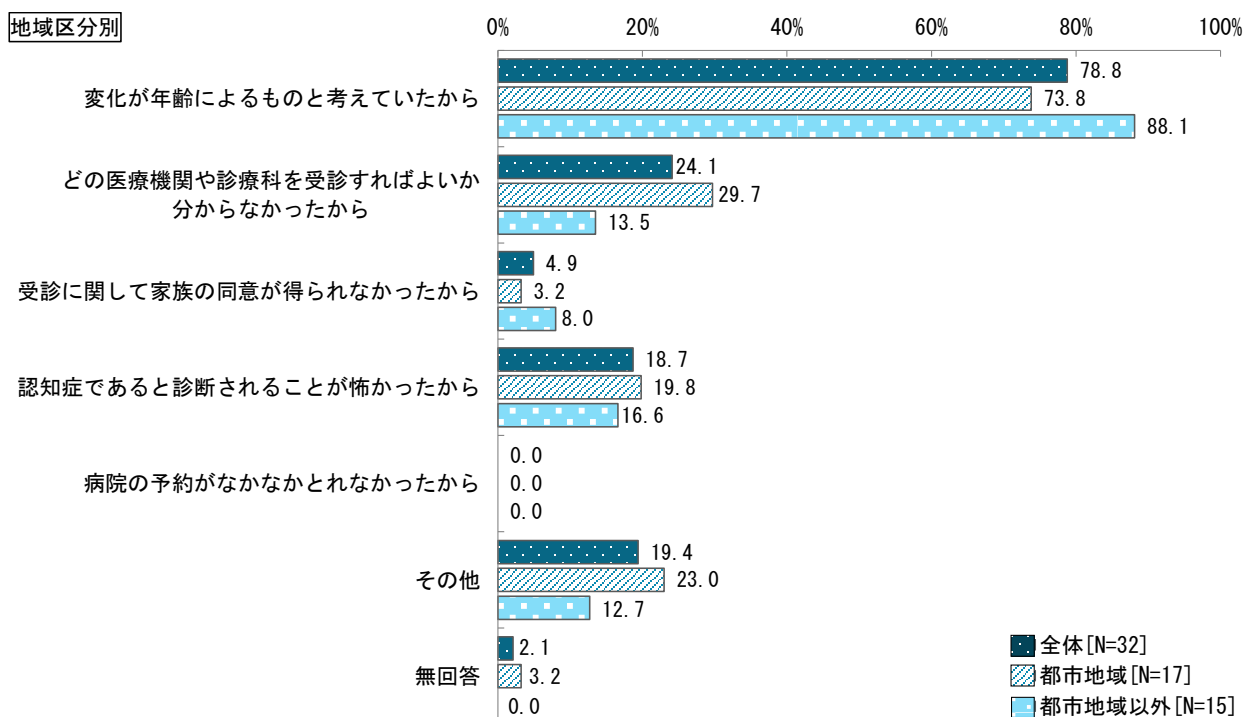
(10) - ⑯ 受診までに期間を要した理由

質問文

問 58 前の問で「3. 1年以上3年未満」「4. 3年以上」と答えた方におたずねします。受診までに期間を要したのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 受診までに期間を要した理由としては、「変化が年齢によるものと考えていたから」が最も多く78.8%、次いで、「どの医療機関や診療科を受診すればよいか分からなかったから」が24.1%、「認知症であると診断されることが怖かったから」が18.7%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「変化が年齢によるものと考えていたから」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「変化が年齢によるものと考えていたから」「どの医療機関や診療科を受診すればよいか分からなかったから」が増加しています。

図表 61 受診までに期間を要した理由

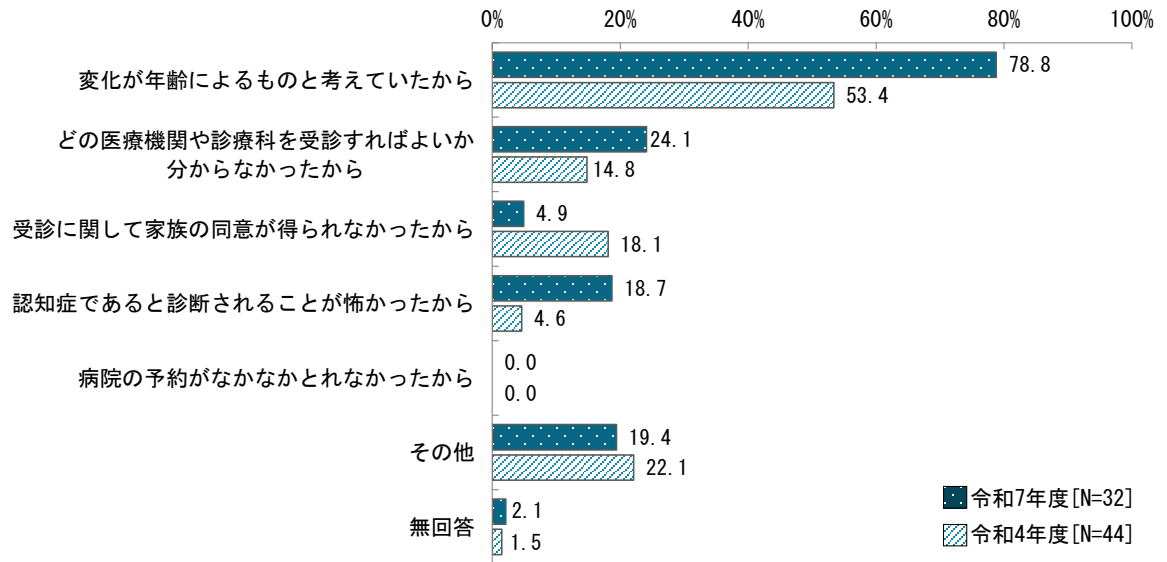


要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=32]	要支援		要介護				
		1 [N=5]	2 [N=1]	1 [N=7]	2 [N=6]	3 [N=5]	4 [N=4]	5 [N=3]
変化が年齢によるものと考えていたから	78.8	100.0	100.0	91.3	100.0	40.6	85.9	43.8
どの医療機関や診療科を受診すればよいか分からなかったから	24.1	18.3	0.0	0.0	70.7	20.8	0.0	0.0
受診に関して家族の同意が得られなかったから	4.9	0.0	0.0	13.6	0.0	20.7	0.0	0.0
認知症であると診断されることが怖かったから	18.7	5.9	0.0	19.9	54.7	0.0	0.0	0.0
病院の予約がなかなかとれなかったから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	19.4	0.0	0.0	28.6	0.0	38.7	0.0	56.2
無回答	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.1	0.0

経年比較



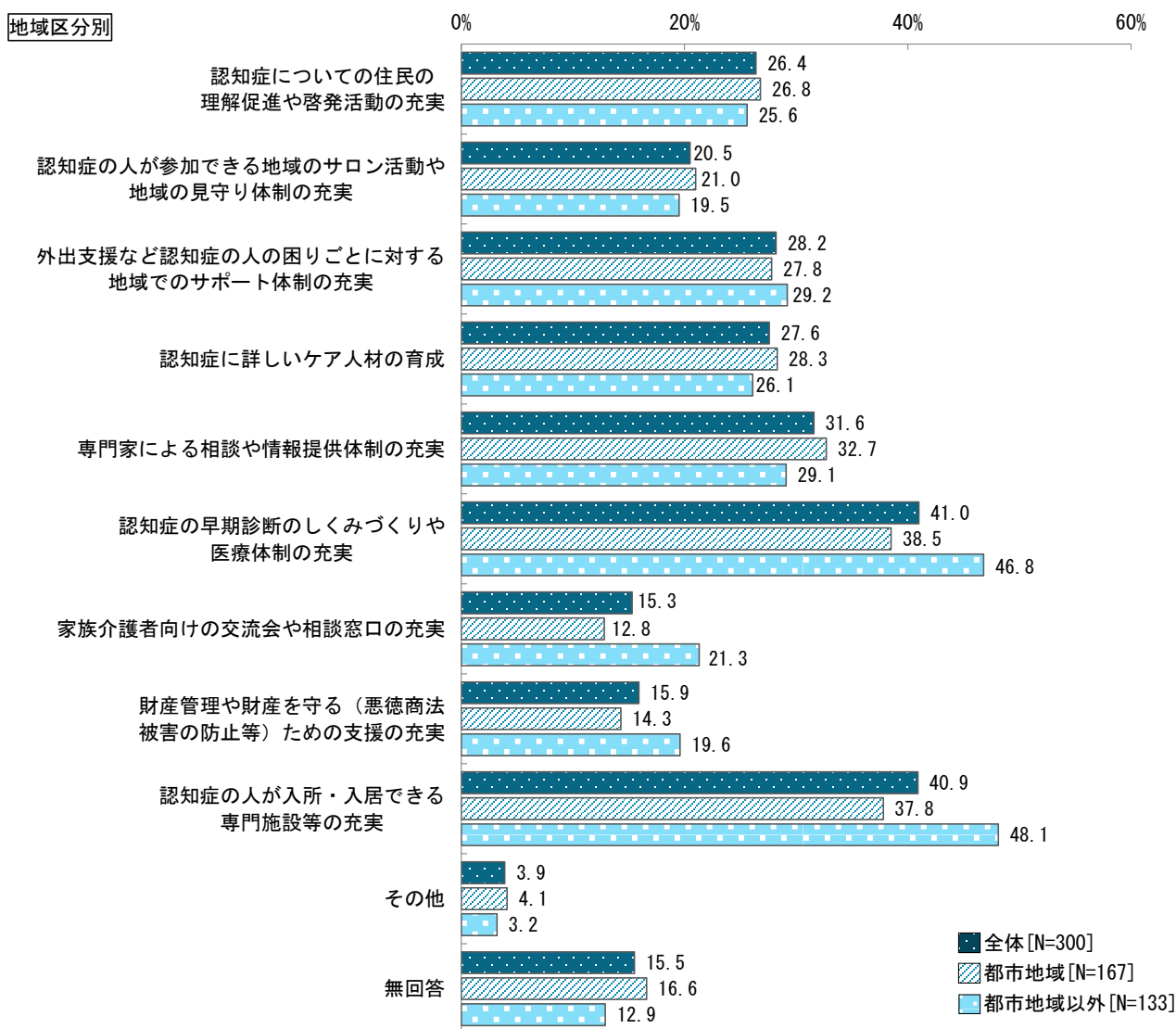
(10) - ⑰ 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

質問文

問 59 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が41.0%と最も多く、次いで、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が40.9%、「専門家による相談や情報提供体制の充実」が31.6%等となっています。
- 地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」の割合が多くなっています。
- 経年比較では、「専門家による相談や情報提供体制の充実」「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」の割合が増加しています。

図表 62 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）

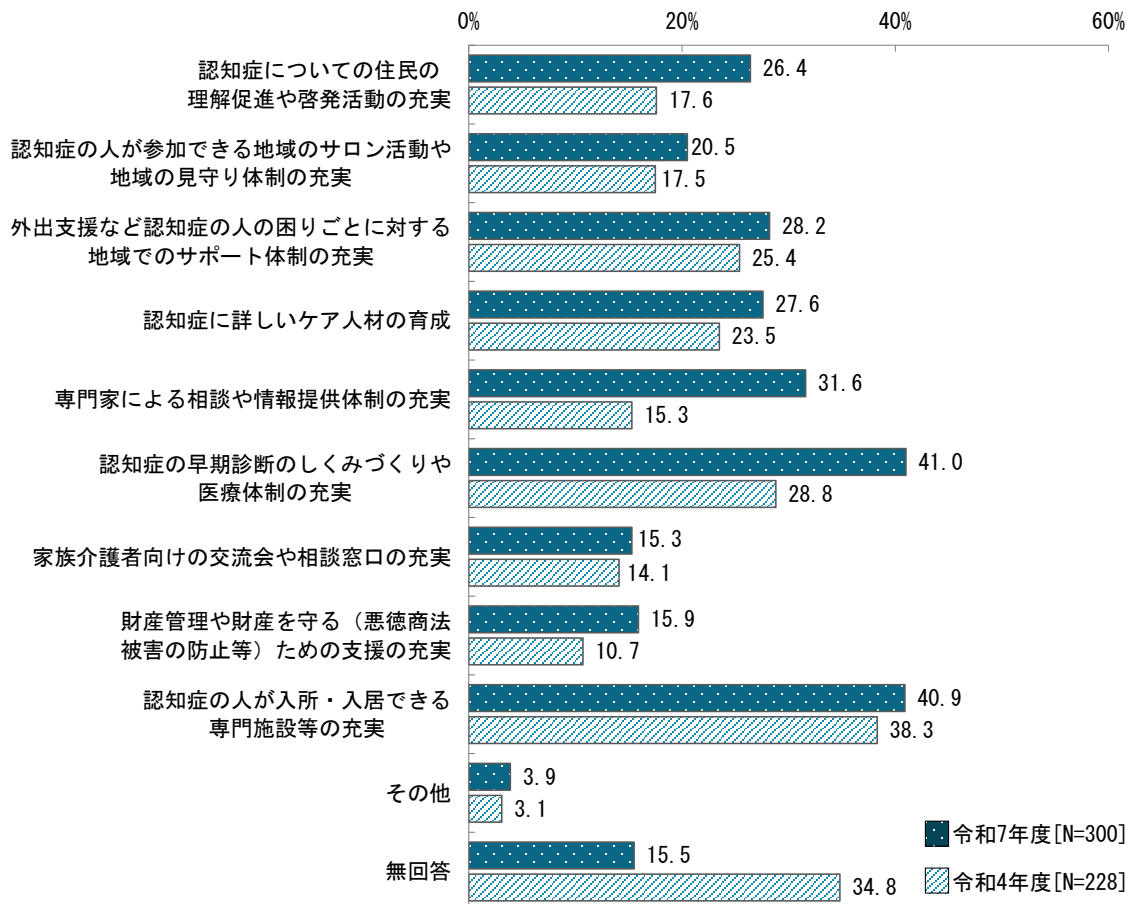


要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=300]	要支援		要介護				
		1 [N=67]	2 [N=75]	1 [N=36]	2 [N=52]	3 [N=24]	4 [N=18]	5 [N=17]
認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実	26.4	22.6	28.2	20.9	31.9	28.0	17.5	35.6
認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実	20.5	15.0	30.4	18.4	15.4	22.7	20.6	11.6
外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実	28.2	21.6	38.1	39.6	16.5	46.2	16.2	13.0
認知症に詳しいケア人材の育成	27.6	22.4	39.6	25.2	21.5	32.7	21.6	29.5
専門家による相談や情報提供体制の充実	31.6	28.6	31.5	36.3	30.5	31.0	43.1	30.6
認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実	41.0	32.2	46.8	46.9	48.7	34.5	39.7	45.4
家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実	15.3	7.7	22.4	25.2	10.5	23.3	8.9	8.1
財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実	15.9	8.4	19.4	21.0	15.8	13.1	33.8	15.4
認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実	40.9	35.9	43.2	45.2	45.6	33.9	35.0	48.2
その他	3.9	5.9	2.5	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0
無回答	15.5	15.5	19.6	9.2	7.7	27.7	4.7	14.9

経年比較



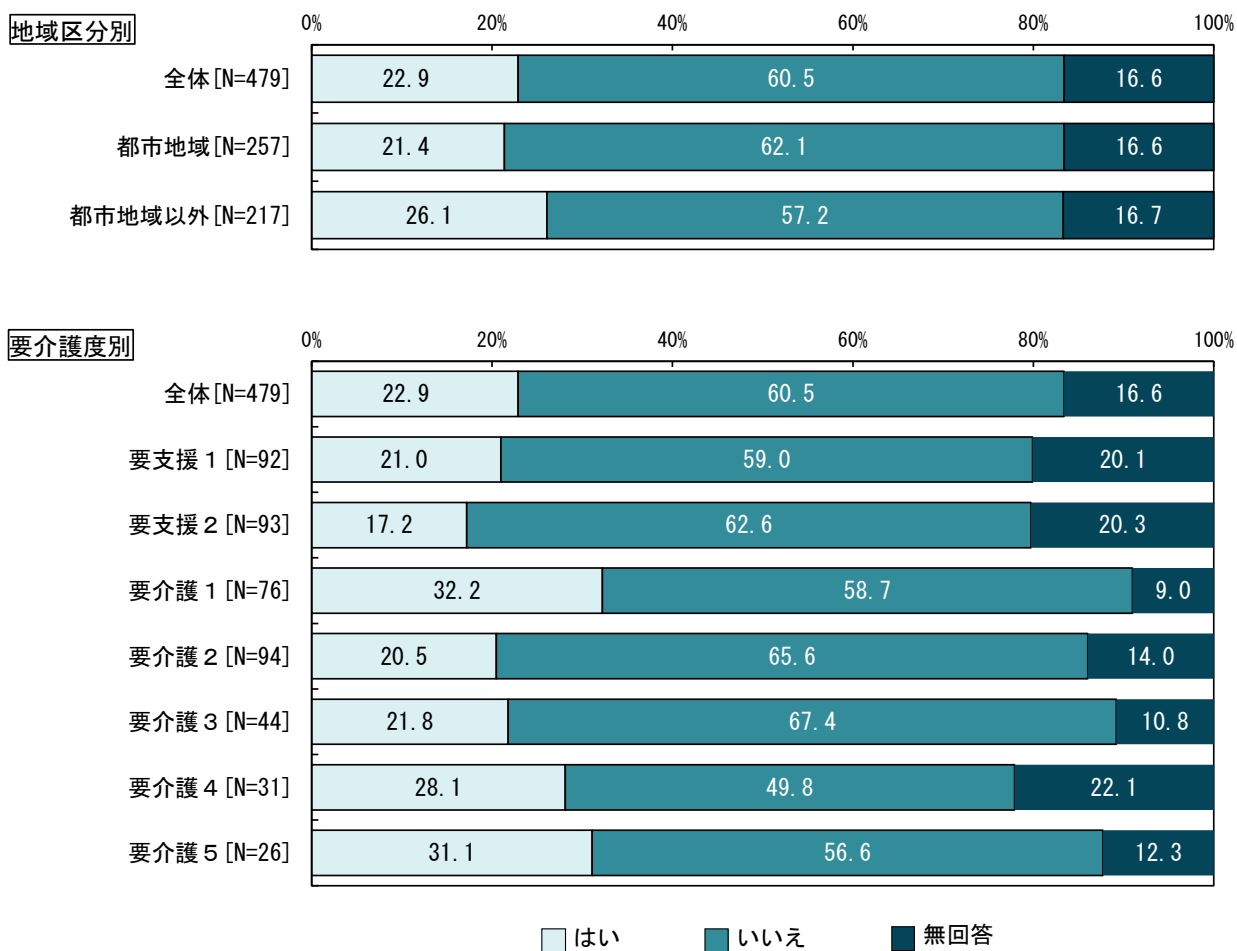
(10) - ⑱ 認知症相談窓口の認知度

質問文

問 60 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

- 認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい（知っている）」が22.9%、「いいえ（知らない）」が60.5%となっています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「はい（知っている）」の割合が低くなっています。
- 要介護度別では、目立った相関関係は見受けられません。

図表 63 認知症相談窓口の認知度



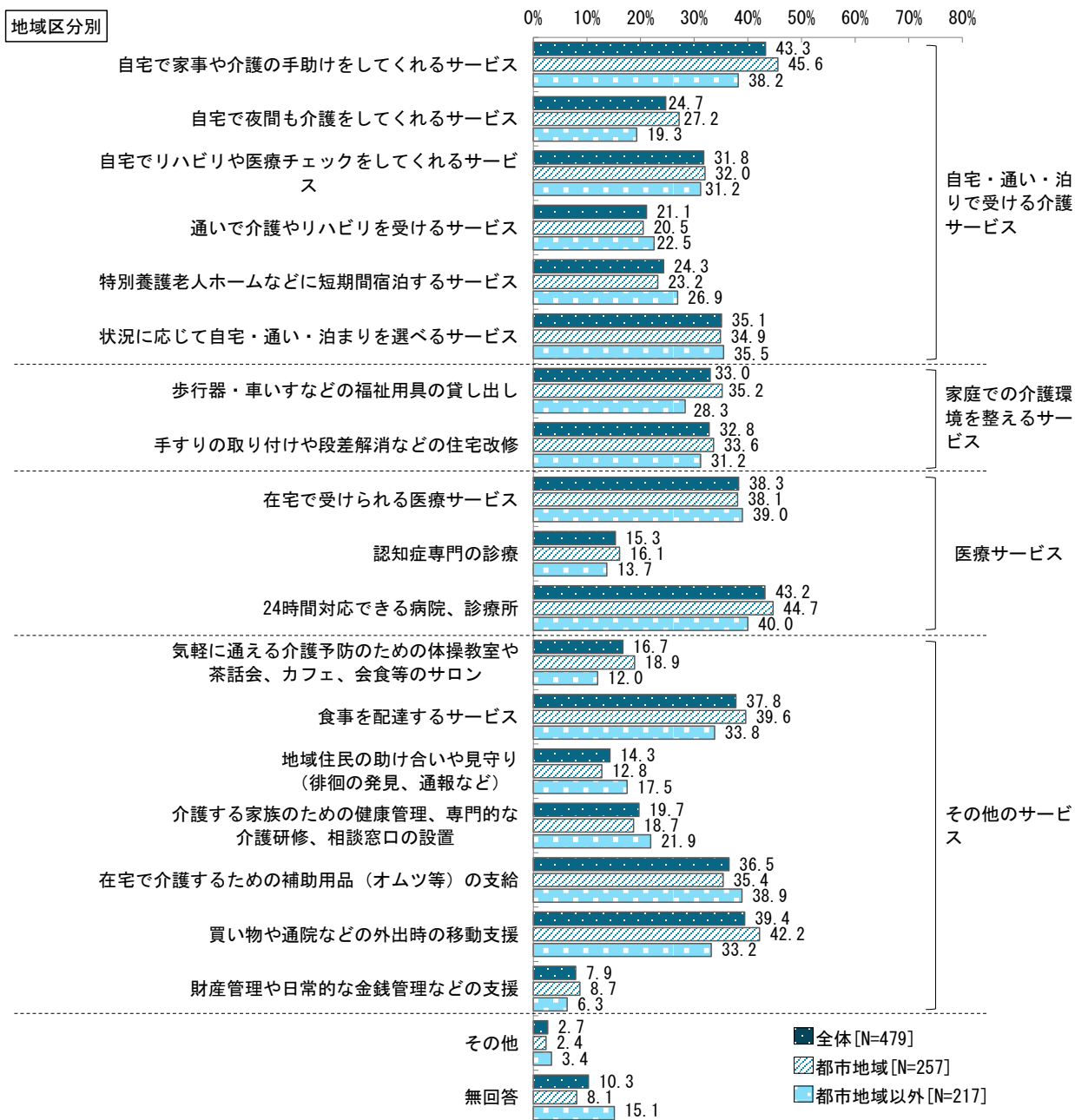
(10) - ⑱ 今後、充実してほしいと思うサービス

質問文

問 61 ご本人を在宅で介護していくために、今後、充実してほしいと思うサービスがありますか。(充実してほしいものすべてに○)

- 今後、充実してほしいと思うサービスについて聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が43.3%と最も高く、次いで、「24時間対応できる病院、診療所」が43.2%、「買い物や通院などの外出時の移動支援」が39.4%等と続いています。
- 地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて「気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン」「自宅で夜間も介護をしてくれるサービス」の割合が多くなっています。要介護度別は、要介護3~5で「在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給」の割合が多くなっています。

図表 64 今後、充実してほしいと思うサービス



要介護度別

(単位：%)

	全体 [N=479]	要支援		要介護					
		1 [N=92]	2 [N=93]	1 [N=76]	2 [N=94]	3 [N=44]	4 [N=31]	5 [N=26]	
自宅・通い・泊りで受ける介護サービス	自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス	43.3	40.4	51.7	46.7	33.0	54.1	48.0	37.0
	自宅で夜間も介護をしてくれるサービス	24.7	14.0	25.0	21.8	28.7	30.0	34.3	44.6
	自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス	31.8	25.6	29.8	34.9	24.7	51.7	48.6	34.6
	通いで介護やリハビリを受けるサービス	21.1	17.2	22.9	18.7	20.6	24.3	34.6	26.4
	特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス	24.3	18.0	19.7	18.7	30.3	41.7	28.0	36.4
	状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス	35.1	27.2	30.0	44.6	37.0	40.8	31.4	48.0
家庭での介護環境を整えるサービス	歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し	33.0	29.6	32.9	30.2	32.3	46.2	39.2	33.6
	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	32.8	26.0	30.3	28.3	29.7	52.9	46.7	45.5
医療サービス	在宅で受けられる医療サービス	38.3	34.8	37.0	36.4	28.7	54.4	43.6	64.2
	認知症専門の診療	15.3	9.4	19.7	11.9	22.7	11.8	15.7	17.4
	24時間対応できる病院、診療所	43.2	33.6	42.5	48.3	42.7	56.8	41.8	52.5
その他のサービス	気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン	16.7	16.2	20.6	29.3	11.3	7.4	17.8	8.1
	食事を配達するサービス	37.8	38.0	37.1	38.8	41.9	37.9	37.8	32.2
	地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	14.3	7.2	19.0	17.4	12.0	24.4	11.5	14.4
	介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置	19.7	13.4	19.2	24.2	22.3	26.6	19.9	18.9
	在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	36.5	23.4	30.2	39.3	38.5	59.3	61.5	49.5
	買い物や通院などの外出時の移動支援	39.4	28.8	42.8	46.8	37.4	45.8	45.0	35.3
	財産管理や日常的な金銭管理などの支援	7.9	5.5	10.3	5.3	13.0	8.5	7.7	2.8
その他	2.7	0.9	0.0	5.4	3.3	0.0	3.6	11.8	
無回答	10.3	12.9	14.0	5.2	10.9	1.7	6.6	8.0	

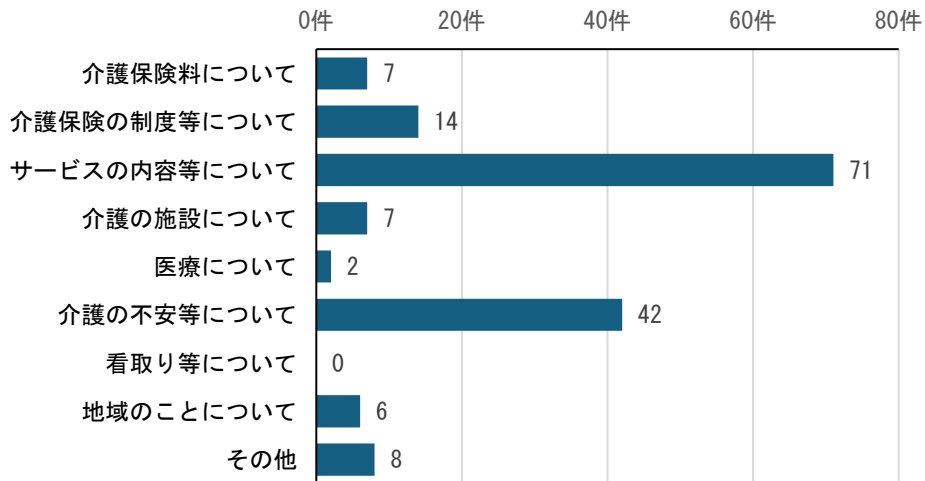
(11) 自由意見

質問文

問 62 高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスの内容など）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

○ 自由意見は、157 件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。サービスの内容や介護の不安等についての意見が多くなっています。

図表 65 自由意見の意見内容の内訳



【主な意見】

（介護保険料について）

- ・ 介護保険料はこれ以上高くしないでほしい
- ・ 介護保険料をもっと安くお願いします
- ・ 年金生活での介護保険料の負担が大きい。社会保険料を下げる改革に期待。
- ・ 年金生活では家計が切迫
- ・ 本人が働けないのに、介護保険料が高すぎる。

（介護保険の制度等について）

- ・ 要介護認定での基準がわかりづらいです。
- ・ 20 年以上 障害支援を受けて来たのに 何故 65 歳になったからと言って 介護保険を優先するのか分からない！！
- ・ 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らし続けられることが第一だと考えます。本人のできることを奪わない支援を意識し、生活の中での自立を尊重することも大事。介護保険制度はサービス利用の手続きが複雑だったり、制度と現場の間にギャップを感じることもあります。介護度の認定等利用者目線の制度運用が望ましいと思います。「地域共生社会」の考え方がより広がることを期待しております。

（サービスの内容等について）

- ・ 支援の時間が短い。支援のサービス内容の制限が厳しい。
- ・ 家族とだけでなく、家族不在中でも買い物に連れて行ってくれるような外出支援等の生活環境

が欲しいと思います（介護保険制度でも）。

- ・現在、週1回の1時間の家事支援を受けていますが、3時間程度に増やしてほしい。家の周りの掃除とか植木の水やりなど対象にして欲しい。

（介護の施設について）

- ・本人の年金受給内で医療サービスのある施設があればいいのですが
- ・今年に入り、主人の認知症が急激に進み、現在入院中です。症状が進むと特養では入所できず、介護する側もとても疲弊し、医療保護入院という形で入院できました。ただ療養型病院は少なく、遠くの病院を選択せざるを得ません。その方向の充実を望みます。仮に特養に入所となると、中途半端に資産があるということで、入所費用がとても高額になり、家計を圧迫します。もう少し条件を緩くしていただけたらと思います。

（医療について）

- ・家の中で良く転んでいます。頭を打たないように注意してるのですが、パーキンソン病なので、薬も飲んでいますが、あまり効果がなく、文字も書けなくなり、下手になり、しゃべるのも、歩行も大変で、週2日、サテライトにリハビリに行き、言葉の訓練や、リハビリに励んでいるが、あまり効果が期待できず困っています。

（介護の不安等について）

- ・自分の洗濯物を回したり干したりもできていて、ヘルパーさんの助けもあり、この先認知症とかになった時、寝た切りとかになった場合、お金の面で施設にも入れず、周りに迷惑をかけてしまうと心配しています。
- ・一人暮らしで介護度が軽いと大変です。ヘルパーさんも高齢化しているし、動けても外出できないとまあ大変です。動けてもなかなか厳しいサービスです。年金生活となればなかなか自由にお金を使えないし、厳しいです。親類が少なく援助を受けるにも限界があります。一人暮らし2人暮らしが周りにたくさんいてるし、なかなかお互い助け合っってということが少ないのは厳しいです。これからどんどん介護度が上がっていったらお願いするサービスは少ないかもしれないです。
- ・知的障害が知的障害を介護している状態。共倒れする前にたすけてほしい。
- ・現在、高齢夫婦の世帯のため、老々介護状態である。世話をしている者も病人であるので、体力的にも精神的にも限界状態。施設入所がふさわしいのかどうか思案中である。

（地域のことについて）

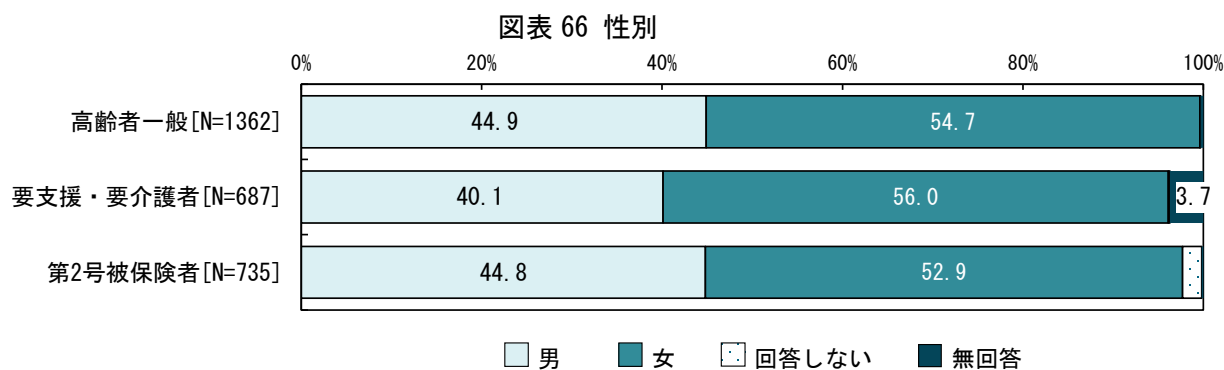
- ・自宅の前を国道が走っているが、バスが通っていない！！これからの事を思うとバスを通して欲しい！！タクシー補助券を望む！！
- ・足が悪く外出が困難です。紀の川市の「のりのりバス」がありがたいのですが、岩出市くらいまで利用できたらいいのにとおもいます。
- ・山間部のため買い物や病院へ行く手段がなく、送迎サービスを強く希望いたします。

3 調査間の比較

(1) 回答者の属性

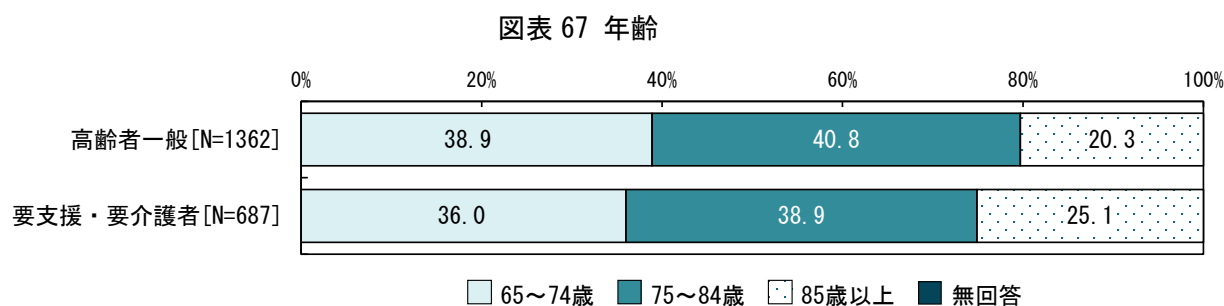
(1) - ① 性別

○ 性別は、高齢者一般で「女」が54.7%、「男」が44.9%、要支援・要介護者で「女」が56.0%、「男」が40.1%、第2号被保険者で「女」が52.9%、「男」が44.8%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。



(1) - ② 年齢

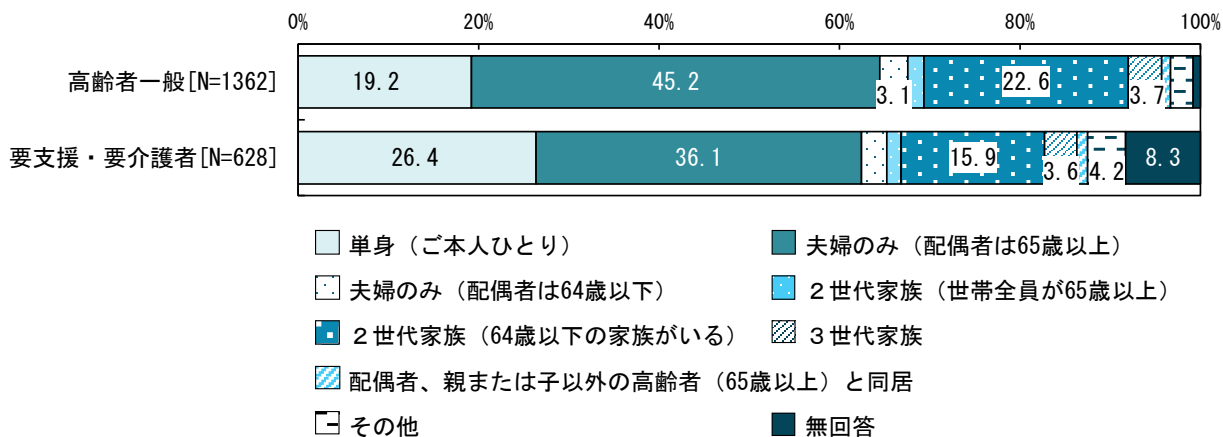
○ 年齢は、高齢者一般では「65～74歳」が38.9%、「75～84歳」が40.8%、「85歳以上」が20.3%となっています。要支援・要介護者では「65～74歳」が36.0%、「75～84歳」が38.9%、「85歳以上」が25.1%となっています。



(1) - ③ 世帯

- 世帯については、高齢者一般で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が45.2%、「単身（ご本人ひとり）」が19.2%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が22.6%等となっています。
- また、要支援・要介護者の世帯で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が36.1%、「単身（ご本人ひとり）」が26.4%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が15.9%等となっています。高齢者一般に比べて要支援・要介護者は「単身（ご本人ひとり）」の比率が高く、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の比率が低くなっています。

図表 68 世帯

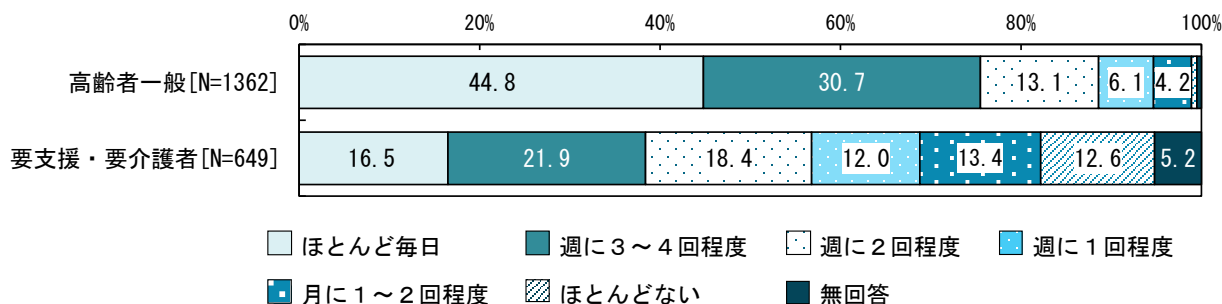


(2) 日常生活について

(2) - ① 外出の頻度

- 高齢者に対し、外出の程度を聞いたところ、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が44.8%、「週に3~4回程度」が30.7%等となっています。
- 一方、要支援・要介護者では、「ほとんど毎日」が16.5%、「週に3~4回程度」が21.9%等となっており、高齢者一般に比べて外出が少ない様子がうかがえます。

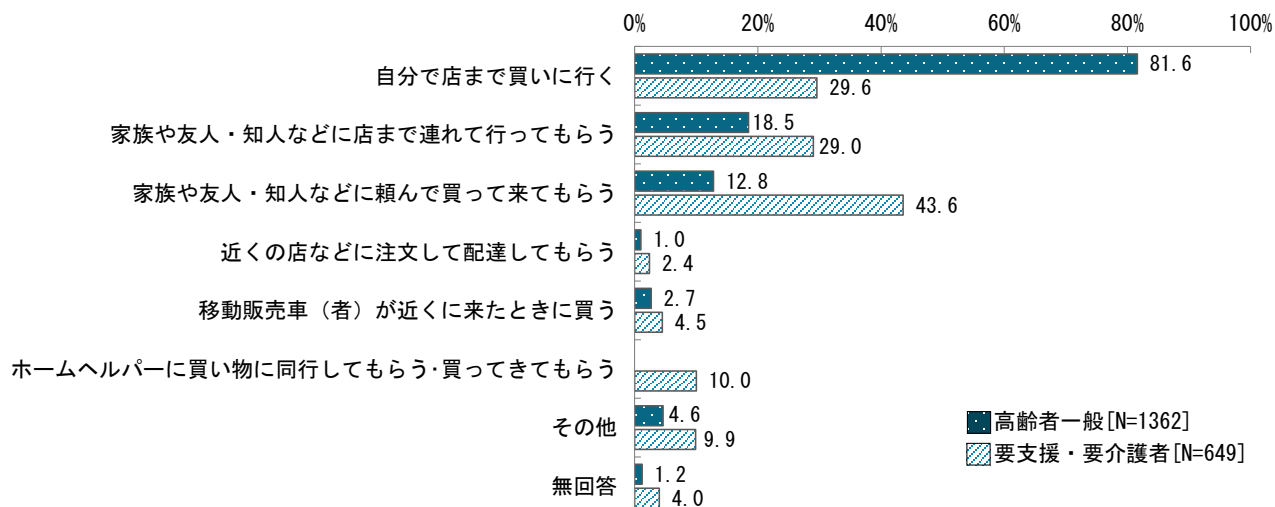
図表 69 外出の頻度



(2) - ② 買い物の状況

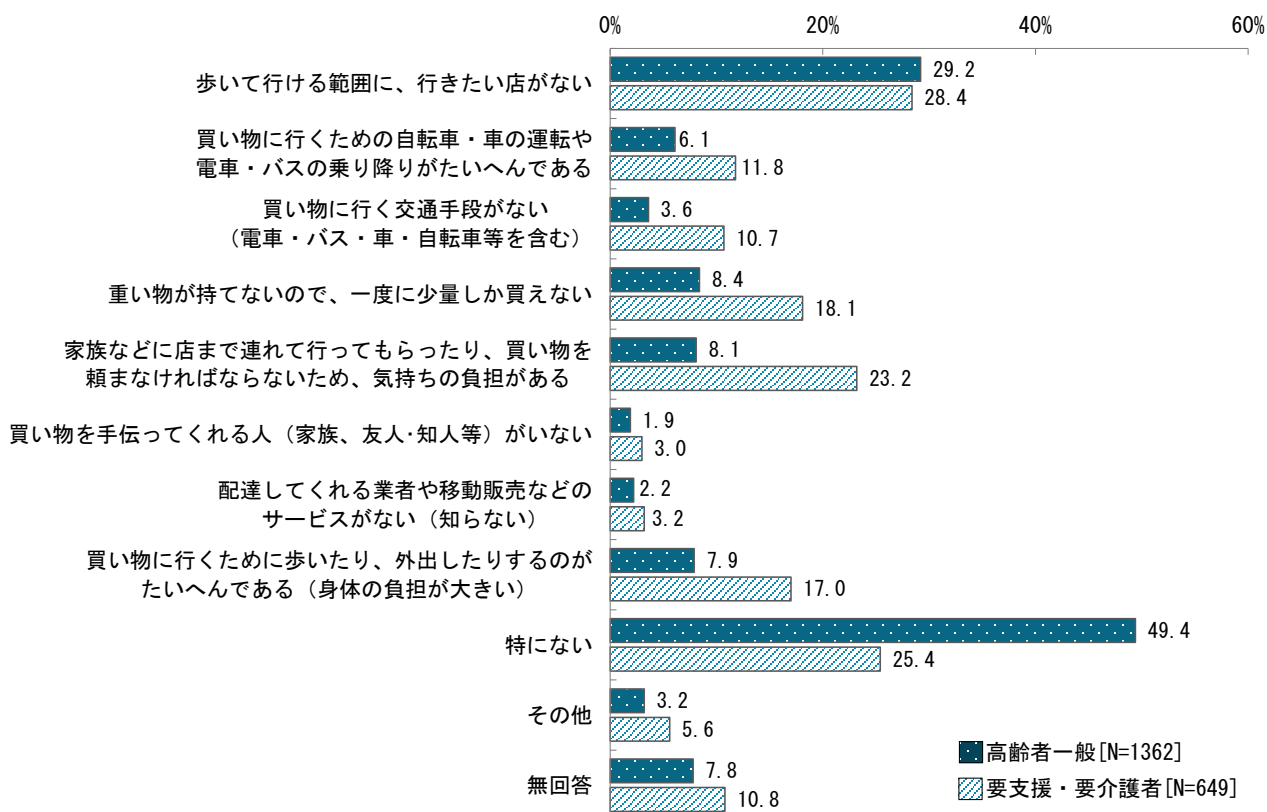
- 高齢者に対し、買い物の方法を聞いたところ、高齢者一般では、「自分で店まで買いに行く」が81.6%と多くなっています。また、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が18.5%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が12.8%等となっています。
- 一方、要支援・要介護者では、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が43.6%と多くなっています。次いで、「自分で店まで買いに行く」が29.6%、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が29.0%等となっており、多くの人が家族等を頼って買い物をしている様子がうかがえます。

図表 70 買い物の方法（複数回答）



- 買い物で困っていることについては、高齢者一般では「特にない」が49.4%と半数近くを占め、また、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が29.2%等となっています。
- 一方、要支援・要介護者では、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が28.4%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が23.2%、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が18.1%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」が17.0%等となっており、「特にない」という人は25.4%と高齢者一般に比べると低い比率になっています。

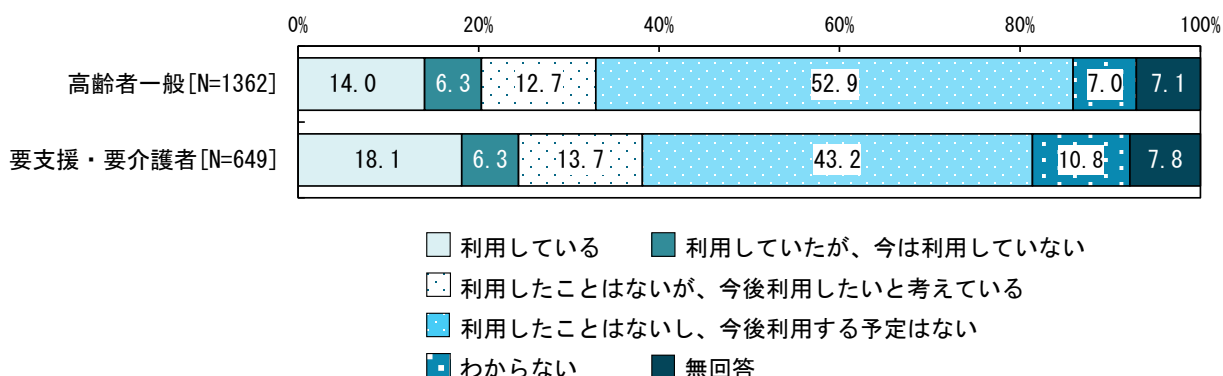
図表 71 買い物で困っていること（複数回答）



(2) - ③ 介護予防で利用している介護予防サービス

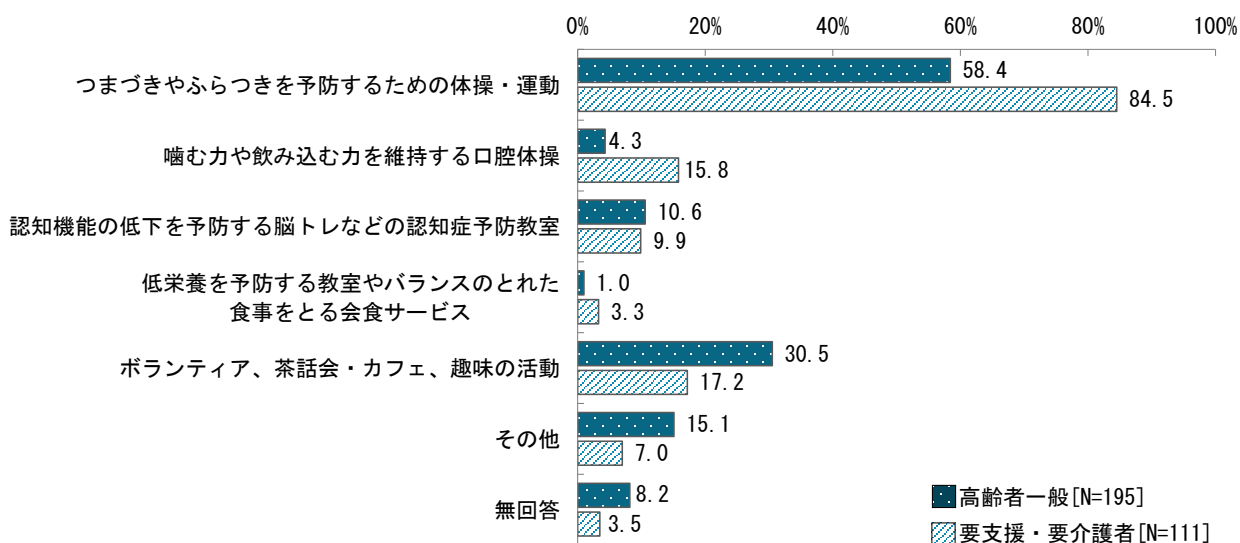
- 介護予防のためのサービスの利用の有無については、高齢者一般では、「利用している」が14.0%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が12.7%、「利用していたが、今は利用していない」が6.3%となっています。一方で「利用したことはないし、今後利用する予定はない」は52.9%となっています。
- 要支援・要介護者では、「利用している」が18.1%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が13.7%、「利用していたが、今は利用していない」が6.3%となっています。「利用したことはないし、今後利用する予定はない」については43.2%となっています。

図表 72 介護予防のためのサービス利用の有無



- 利用している介護予防サービスについては、高齢者一般では「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が58.4%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が30.5%、「認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室」が10.6%等となっています。
- 要支援・要介護者については、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が84.5%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が17.2%、「嚥む力や飲み込む力を維持する口腔体操」が15.8%等となっています。

図表 73 利用している介護予防サービス（複数回答）

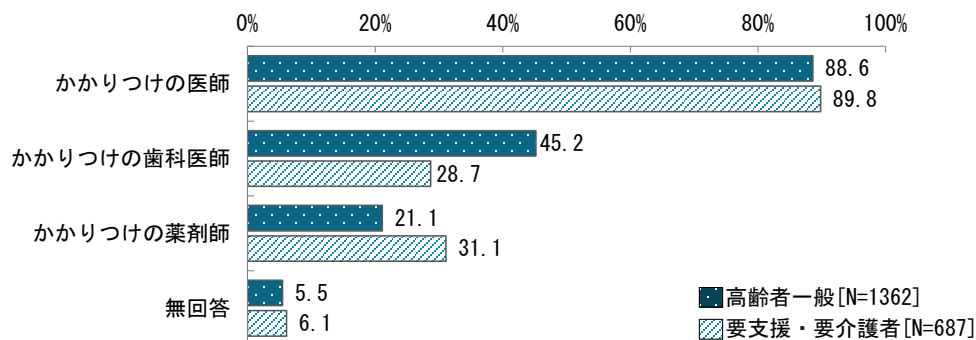


(3) 医療等の状況について

(3) - ① かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

○ 高齢者に対し、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無について聞いたところ、「かかりつけの医師」がいる人は、高齢者一般で 88.6%、要支援・要介護者で 89.8%となっており、多くの高齢者にかかりつけの医師がいる状況となっています。

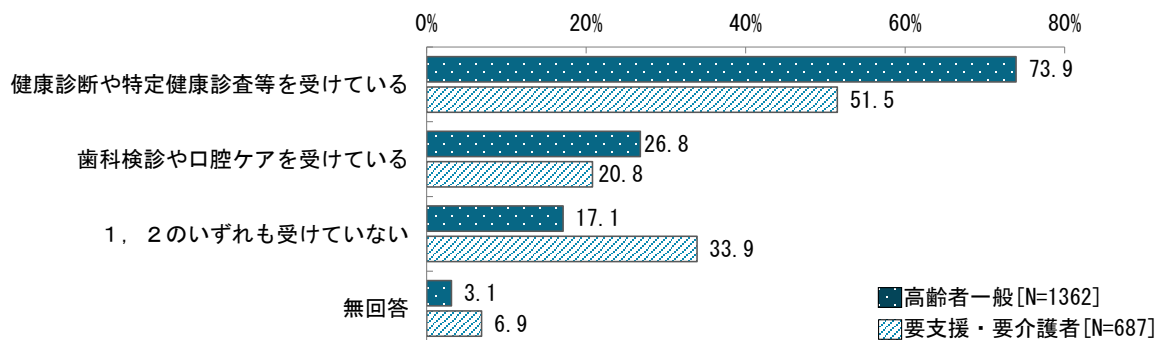
図表 74 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



(3) - ② 健康診断の受診状況について

○ 高齢者に対し、健康診断等の受診状況について聞いたところ、「健康診断や特定健康診査等を受けている」人は、高齢者一般で 73.9%、要支援・要介護者で 51.5%となっており、要支援・要介護者は高齢者一般に比べ、健康診断を受ける人が少なくなっています

図表 75 健康診断の受診状況について（複数回答）

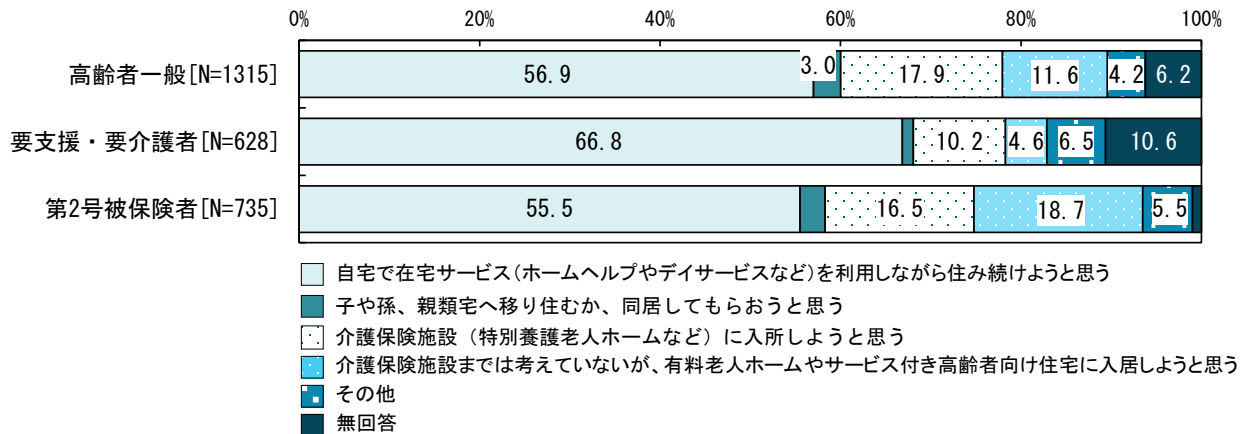


(4) 住まい、住み替えなどについて

(4) - ① 住み替えの希望

○ 将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者の全てで、「自宅で在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっており、要支援・要介護者で特に多くなっています。

図表 76 住み替えの希望

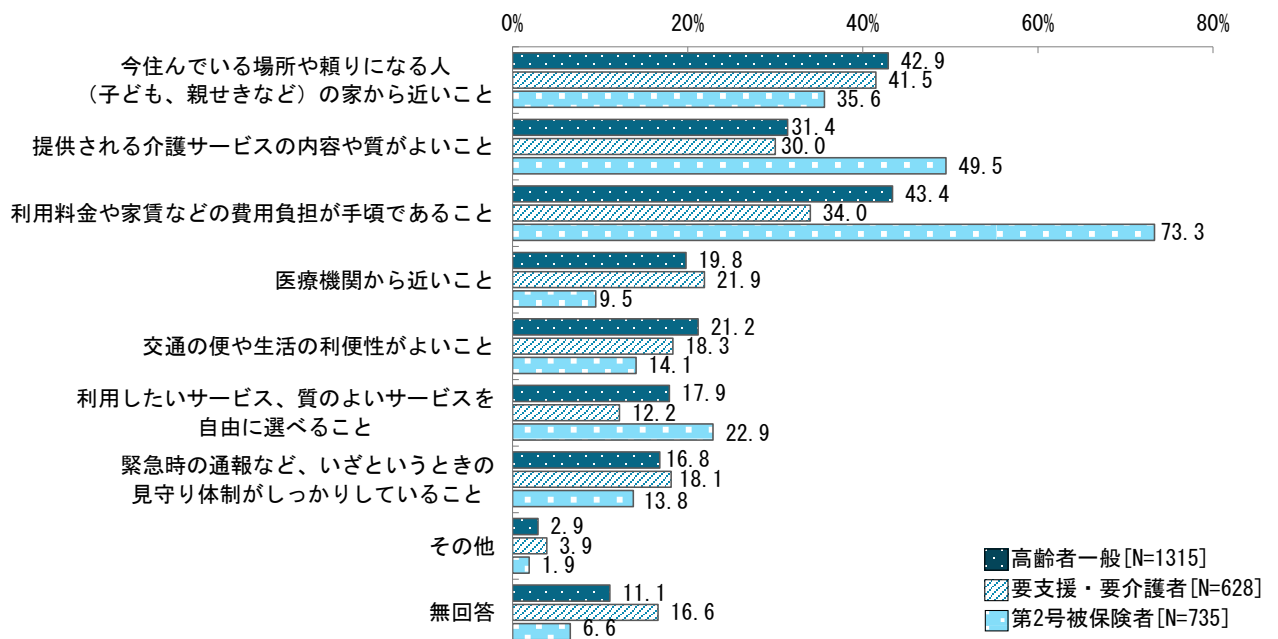


(4) - ② 住み替えで重視すること

○ 住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと」や「医療機関から近いこと」が多くなっています。

○ 一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」の割合が多くなっています。

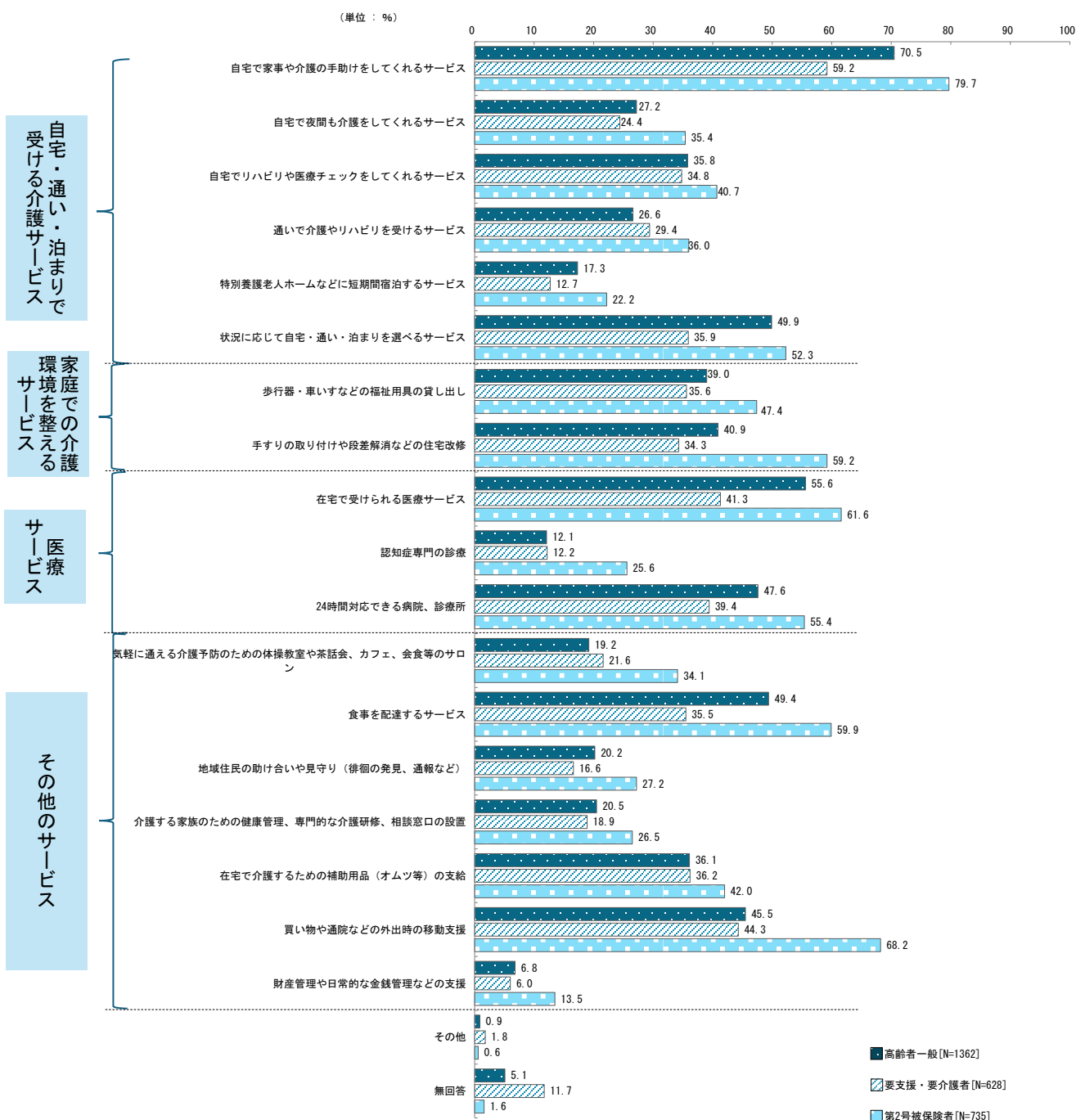
図表 77 住み替えで重視すること



(4) - ③ 在宅生活に必要なサービス

- 在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、全般的な傾向として、高齢者一般や要支援・要介護者に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が多くなっています。
- また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」の割合が最も多くなっています。

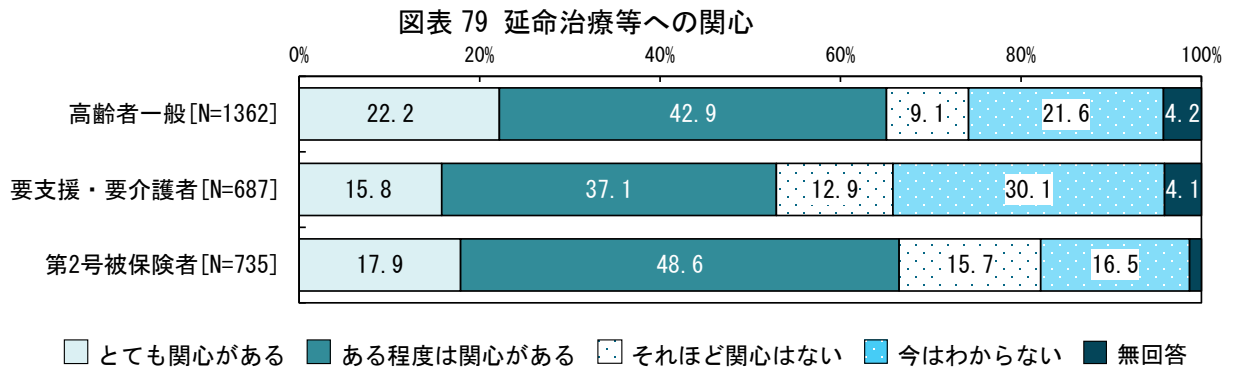
図表 78 在宅生活に必要なサービス（複数回答）



(5) 看取りなどについて

(5) - ① 延命治療等への関心

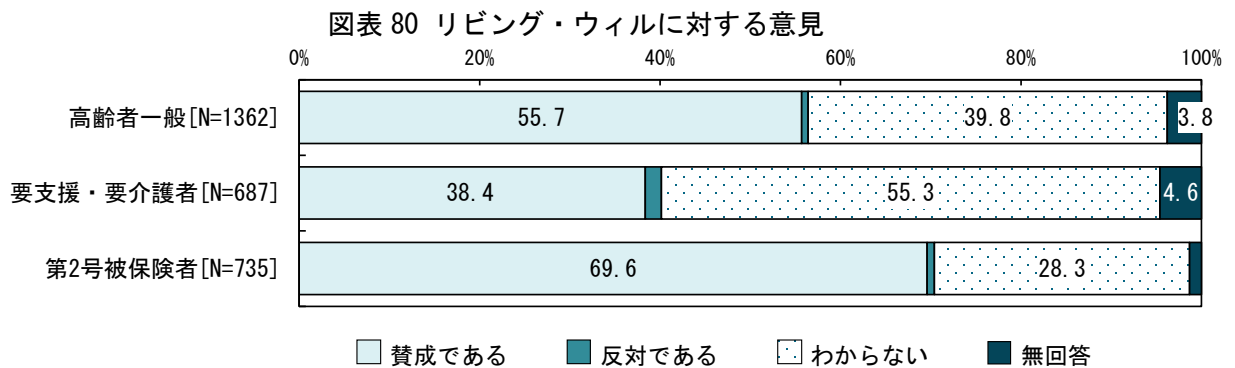
○ 延命治療等への関心について聞いたところ、「とても関心がある」「ある程度は関心がある」を合わせた関心のある人の割合は高齢者一般が65.1%、第2号被保険者が66.5%となっています。一方、要支援・要介護者では52.9%とやや少なくなっています。



(5) - ② リビング・ウィルに対する意見

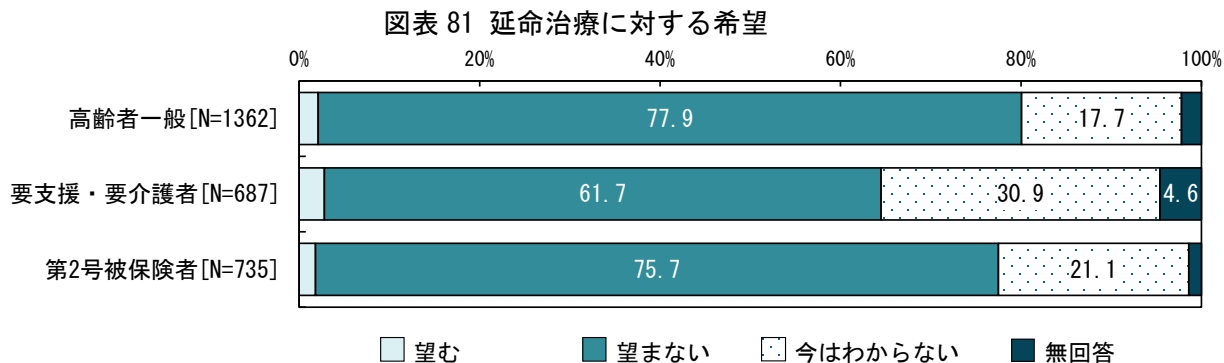
○リビング・ウィルに対する意見を見ると、高齢者一般、第2号被保険者で延命治療に「賛成である」人が5~6割台と多くなっています。一方、要支援・要介護者では3割台と少なくなっています。

※リビング・ウィルとは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことです。



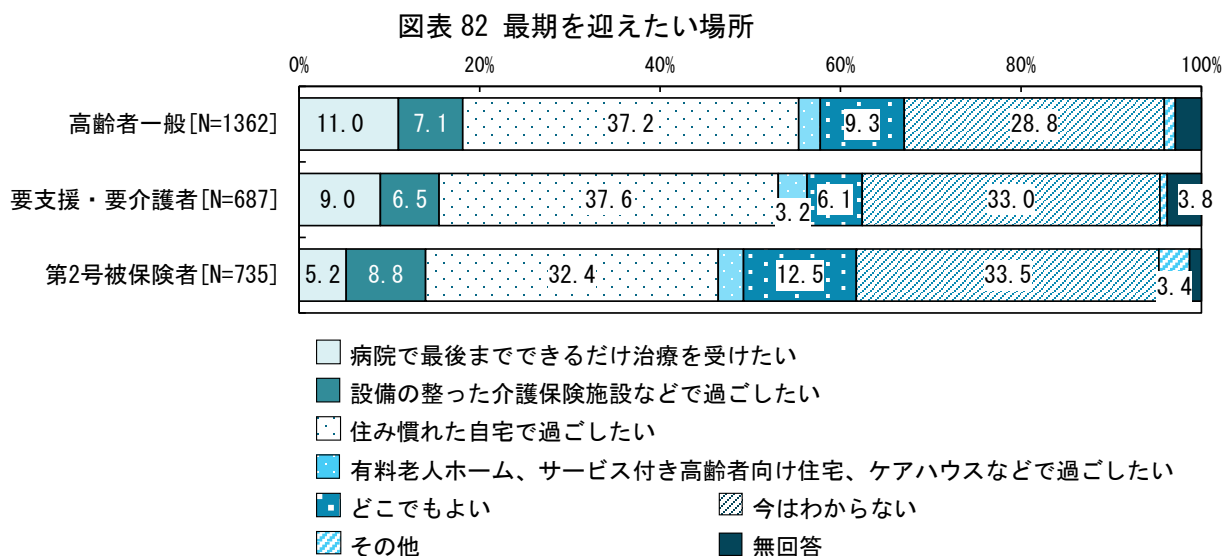
(5) - ③ 延命治療に対する希望

○ 延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6~7割台でいずれの区分でも多くなっています。要支援・要介護者では、高齢者一般や第2号被保険者に比べ、「今はわからない」という人が多くなっています。



(5) - ④ 最期を迎えたい場所

○ 最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がいずれの区分でも3割台となっています。一方、「今はわからない」という人も同様に3割台となっています。

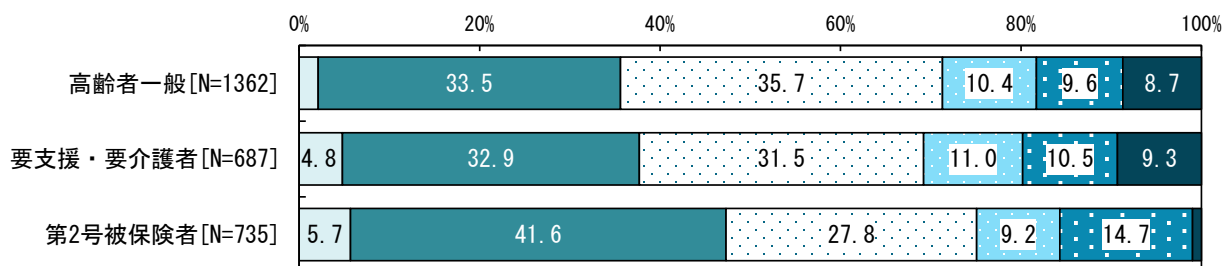


(6) 介護保険制度について

(6) - ① 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

- サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」と「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない」が近い割合で多くなっています。
- 一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が41.6%と最も多くなっています。

図表 83 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

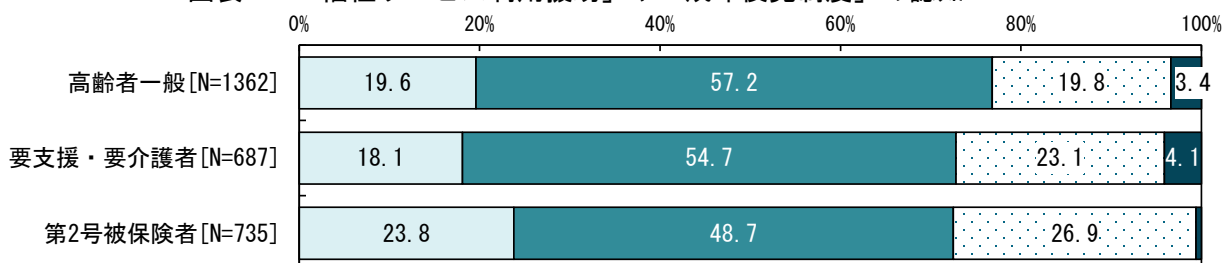


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

(6) - ② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

- 福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では57.2%、要支援・要介護者では54.7%、第2号被保険者では48.7%と多くなっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知っていても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 84 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知



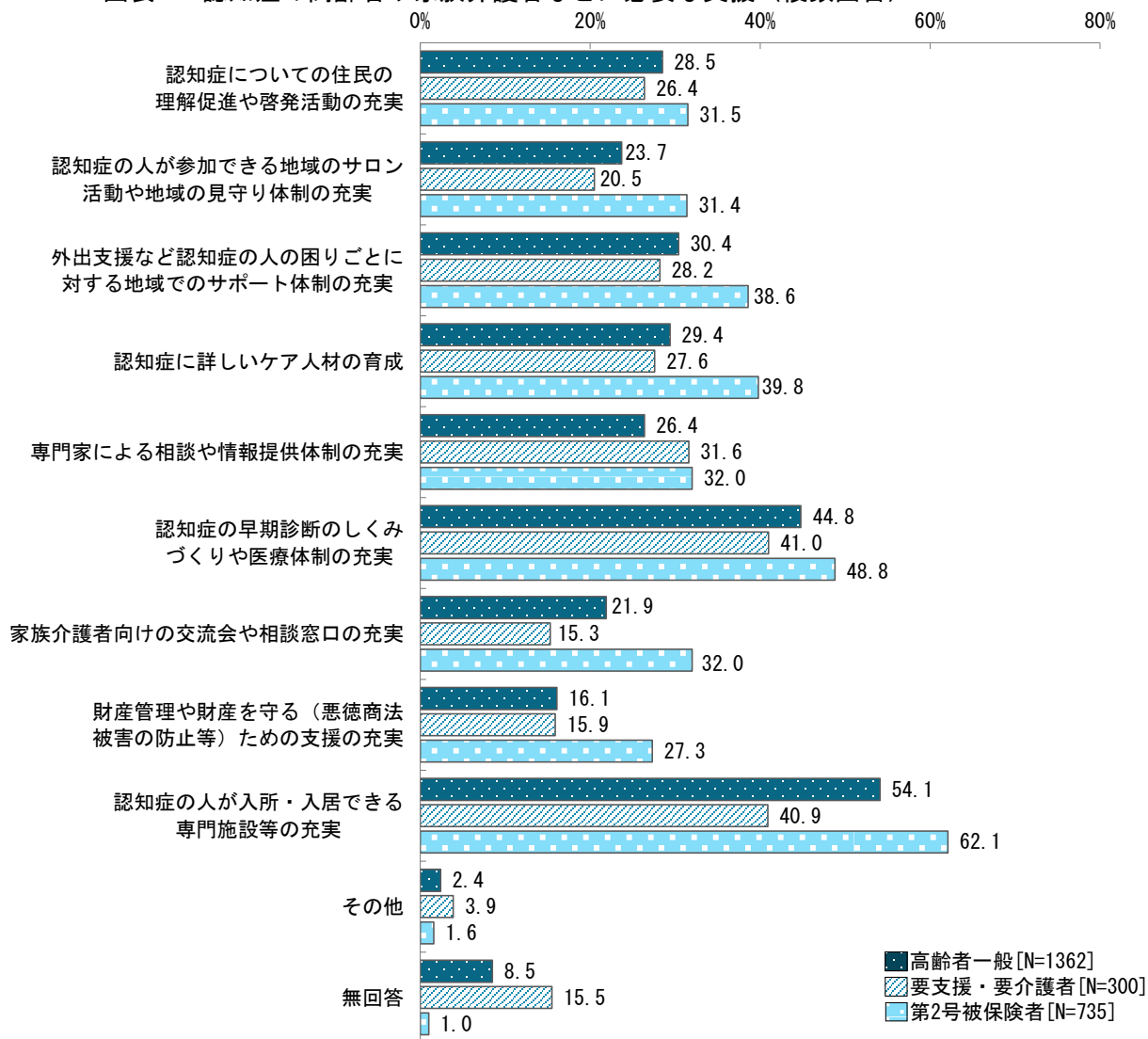
- 内容を知っている
- 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
- 名前も聞いたことがない
- 無回答

(7) 認知症について

(7) - ① 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

○ 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、高齢者一般や要支援・要介護者に比べ、第2号被保険者では全般的に割合が多い傾向があります。

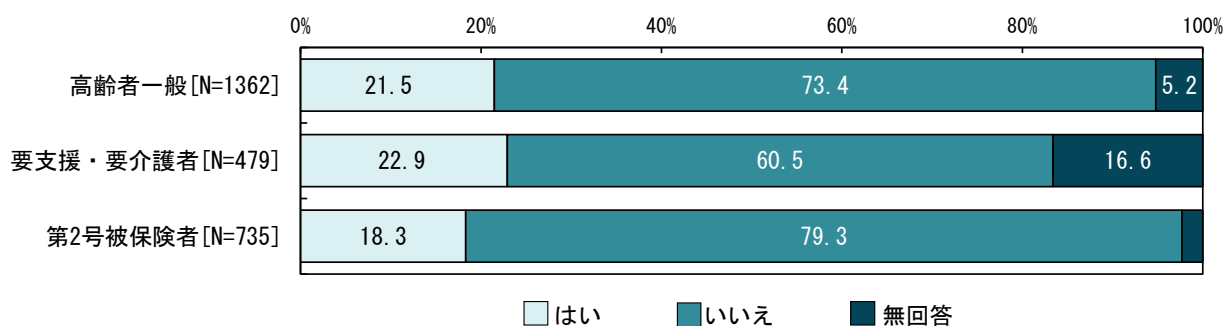
図表 85 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）



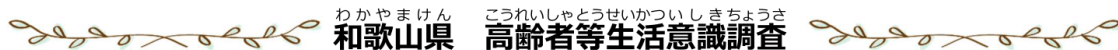
(7) - ② 認知症に関する相談窓口の認知状況

○ 認知症に関する相談窓口の認知状況について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「いいえ」を選択した人が6~7割台と多くなっています。一方、「はい」を選択した人は、いずれの区分でも2割程度と少なくなっています。

図表 86 認知症相談窓口の認知状況



参考資料：アンケート調査票



ちよう さ ひよう 調 査 票

■この調査の対象者は、令和7年8月1日現在、県内にお住まいの65歳以上の方で、介護保険で「要支援」または「要介護」と認定されている方です。

■この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することとが難しい場合は、ご家族の方などが、ご本人の立場に立ってお答えください。

※一部の質問（問44～62）で、ご本人を介護しているご家族などにご回答いただくものがあります。

■ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月17日（月）までに無記名のままポストに投函してください。（切手は不要です。）

※ 次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○をつけ、そのまま、ポストに投函してください。（切手は不要です。）

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定が非該当になった
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

🌸 ここからアンケートが始まります 🌸

問0 この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。（いずれか1つに○）

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。

大正・昭和

年

月生まれ

(満

歳)

問3 あなたがお住みの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市 | 2. 海南市 | 3. 橋本市 |
| 4. 有田市 | 5. 御坊市 | |
| 6. 田辺市 (旧田辺市) | 7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) | |
| 8. 新宮市 (旧新宮市) | 9. 新宮市 (旧熊野川町) | |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | |
| 12. 岩出市 | 13. 紀美野町 | |
| 14. かつらぎ町 | 15. 九度山町 | 16. 高野町 |
| 17. 湯浅町 | 18. 広川町 | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町 | 21. 日高町 | 22. 由良町 |
| 23. 印南町 | 24. みなべ町 | 25. 日高川町 |
| 26. 白浜町 | 27. 上富田町 | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町 | 30. 太地町 | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村 | 33. 串本町 | |

問4 あなたの要介護度は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

※有効期間が切れている場合は、切れる前の要介護度を記入してください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 |
| 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 |
| 7. 要介護 5 | 8. わからない |

問5 あなたの要介護度は、1年前と比べて、どのように変化していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 現在のほうが要介護度は上がっている (悪くなっている)
- 現在のほうが要介護度は下がっている (良くなっている)
- 同じ要介護度である
- 1年前は認定を受けていない
- わからない

問6 あなたは過去3年間で住み替えたことがありますか。ある場合、現在のお住まいの前はどちらにお住まいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 一般の住宅
2. サービス付き高齢者向け住宅
3. 有料老人ホーム
4. 軽費老人ホーム (ケアハウス)
5. 認知症高齢者グループホーム
6. 生活支援ハウス、養護老人ホーム
7. 特別養護老人ホーム
8. 老人保健施設、介護医療院
9. 病院等に入院 (医療保険、介護保険)
10. 過去3年間で住み替えたことがない →問8へ

問7 住み替えたのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活支援の必要性が発生 (増大) したから
2. 身体介護の必要性が発生 (増大) したから
3. 認知症の症状が悪化したから
4. 医療的ケア・医療的処置の必要性が発生 (増大) したから
5. 1～4以外で身体の状態等が悪化したから
6. 身体の状態等が改善したから
7. 費用負担が重くなったから
8. 自らが希望したから
9. その他 ()

問8 あなたは現在、どちらにいらっしゃいますか。(あてはまるもの1つに○)

※ショートステイで特別養護老人ホーム等におられる方は、ショートステイ利用前の所在でご回答ください。

1. 一般の住宅
2. サービス付き高齢者向け住宅
3. 有料老人ホーム
4. 軽費老人ホーム (ケアハウス)
5. 認知症高齢者グループホーム
6. 生活支援ハウス、養護老人ホーム
7. 特別養護老人ホーム
8. 老人保健施設、介護医療院
9. 病院等に入院 (医療保険、介護保険)

⇒問9～問15は回答不要です
6ページの問16に進んでください

⇒問9～問27は回答不要です
10ページの問28に進んでください

⇒問9から順番にご回答ください

問9 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身 (ご本人ひとり)
2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)
4. 2世代家族 (世帯全員が65歳以上)
5. 2世代家族 (64歳以下の家族がいる)
6. 3世代家族
7. 配偶者、親または子以外の高齢者 (65歳以上) と同居
8. その他 ()

問10 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんどない
2. ときどきある
3. 常にそうである

問11 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。(いずれか1つに○)

1. いる
2. いない

★お住まい、今後の住み替えなどについておたずねします。

問12 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 戸建 (持ち家)
2. 戸建 (賃貸)
3. マンションなどの集合住宅 (持ち家)
4. マンションなどの集合住宅 (賃貸)
5. その他 ()

問13 あなたは、今後、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で、在宅サービス (ホームヘルプやデイサービスなど) を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設 (特別養護老人ホームなど) に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他 ()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

問14 もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他 ()

問15 住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくためには、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

※現在利用しているサービスも含みます。

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他 ()

★介護サービスの利用状況等についておたずねします。

問16 あなたが、要介護認定を受けられたのは、どのような理由からですか。(主にあてはまるもの1つに○)

1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用するため
2. 特別養護老人ホームなどの施設に入所するため
3. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修を利用するため
4. 将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと自分で思ったため
5. 知人や家族から申請を勧められたため
6. 医療福祉関係者から申請を勧められたため
7. その他 ()

問17 あなたは、この1か月の間に、介護保険のサービスを利用しましたか。また、どのようなサービスを利用しましたか。(もっとも利用日数の多かったもの1つに○)

1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用
 2. 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用
 3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない(利用を中断している)
 4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない
 5. その他 ()
- 問19へ
- 問21へ

問18 前の問で「3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない(利用を中断している)」または「4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない」と答えた方におたずねします。
あなたが介護保険のサービスを利用していないのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. どうすればサービスが利用できるのかわからない
2. 病気やけがで、身体の状態が悪化したため
3. 家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない
4. 自分の身体状況にふさわしいサービスがない
5. 利用したいと思うサービスがない
6. サービスを利用することに何となく抵抗感がある
7. 身内や知人以外に、家に入ってきてほしくない
8. サービスを利用していてトラブルがあり、利用をやめた
9. サービス利用時の自己負担が経済的に負担である
10. その他 ()

※問19～問20は、介護保険サービスを利用している方におたずねします。
 利用していない方（問17で「3. 以前は利用していたが、この1か月は利用していない（利用を中断している）」または「4. 要介護認定を受けてから、一度も利用していない」と答えた方）は回答不要です。 ⇒問19～問20はとばして、8ページの問21に進んでください

問19 問17で「1. ホームヘルプ、デイサービスなどの在宅サービスを利用」または「2. 特別養護老人ホームや老人保健施設などのショートステイを利用」と答えた方におたずねします。
 あなたは、介護保険のサービスに満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1. 満足している
 - 2. おおむね満足している
 - 3. ふつうである
 - 4. 少し不満である
 - 5. 不満である
- 問21へ

→ **問20** 前の問で「4. 少し不満である」「5. 不満である」と答えた方におたずねします。介護保険サービスに満足していないのはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. もっと利用したいが、限度額があるので利用をおさえている
- 2. もっと利用したいが、自己負担が必要なので利用をおさえている
- 3. 在宅で受たいサービスを、提供してくれる事業者がない
- 4. 施設などの入所サービスを受けたいが、すぐに入所できない
- 5. 在宅で家事援助や外出支援などの生活支援サービスを利用したいが、介護保険でできるサービスが限られている
- 6. ホームヘルパーやデイサービス、施設などにおけるサービス内容や技術が未熟
- 7. もっと機能訓練やリハビリをしたいのに、デイサービスやデイケア、施設での実施が少ない
- 8. デイサービスや施設では集団での遊びのようなものが多く、個々の利用者に適したサービスが少ない
- 9. その他（ ）

問21 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 利用している
 - 2. 利用していたが、今は利用していない
 - 3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている
 - 4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない
 - 5. わからない
- 問23**へ
- 問24**へ

問22 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きます。次の(1)、(2)をご回答ください。

(1)現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. つまづきやふらつきを予防するための体操・運動
- 2. 噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操
- 3. 認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室
- 4. 低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事をとる会食サービス
- 5. ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動
- 6. その他 ()

(2)現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 週に2回以上
- 2. 週に1回程度
- 3. 月に2～3回程度
- 4. 月に1回程度
- 5. その他 ()

→**問24**へ

問23 問21で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きます。体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自宅の近くに体操教室やサロンがないから
- 2. 知らない人ばかりいそうだから
- 3. 健康や体力面に心配があるから
- 4. 体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから
- 5. 時間的な余裕がないから
- 6. 興味・関心がないから
- 7. その他 ()

★買い物などの日常の状況、不便を感じていることなどについておたずねします。

問24 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)
 ※散歩、買い物、外食、通院などを含みます。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. ほとんどない |

問25 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(家族等が運転) |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス(介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車(電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. 医療機関による無料送迎(通院時のみ) |
| 11. 外出は困難(寝たきりなど) | 12. その他() |

問26 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。
 (よく使う方法すべてに○)

- 自分で店まで買いに行く
- 家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう
- 家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう
- 近くの店などに注文して配達してもらう
- 移動販売車(者)が近くに来たときに買う
- ホームヘルパーに買い物に同行してもらう・買ってきてもらう
- その他()

問27 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 歩いて行ける範囲に、行きたい店がない
- 買い物に行くための自転車や車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである
- 買い物に行く交通手段がない(電車・バス・車・自転車等を含む)
- 重い物が持たないので、一度に少量しか買えない
- 家族などに店まで連れて行ってもらうたり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある
- 買い物を手伝ってくれる人(家族、友人・知人等)がない
- 配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない(知らない)
- 買い物に行くための外出が困難・外出できない
- 特にない
- その他()

※ここからは、皆様におたずねします。

問28 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 理・美容所まで行くのが困難・外出できない
2. 家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある
3. 訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがないなど)
4. 訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が安いなど)
5. 特になし
6. その他()

問29 あなたは、現在の暮らしにどの程度満足していますか。今の生活環境や国・県の福祉サービスなどを総合的に考えてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

★身体状況や医療などについておたずねします。

問30 あなたは日頃、ご自分の心身の変化(足腰のおとろえ、気力がわかず何もしたくなくなるなど)に気を配り、早目に改善していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 日頃からよく気をつけて、改善に取り組んでいる
2. 気をつけてはいるが、適切に対応できていない
3. あまり気をつけていない
4. まったく気をつけていない

問31 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. めったにない(年に1回あるかないか)
2. 年に数回程度
3. 月に1回程度
4. 月に2～3回程度
5. 週に1回程度
6. 週に数回程度
7. ほぼ毎日

問32 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけの医師
2. かかりつけの歯科医師
3. かかりつけの薬剤師

問33 あなたは、定期的(年に1回以上)に健康診断等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康診断や特定健康診査等を受けている
2. 歯科検診や口腔ケアを受けている
3. 1, 2のいずれも受けていない

★リハビリなどについておたずねします。

問34 あなたは現在、リハビリによる機能回復などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

※マッサージ、はり・灸、電気・温熱治療は除きます

1. 病院、診療所でリハビリを受けている
2. 老人保健施設でリハビリを受けている
3. 病院、診療所から訪問リハビリを受けている
4. 老人保健施設から訪問リハビリを受けている
5. その他 ()
6. 特にリハビリは受けていない → **問37**へ

問35 現在受けているリハビリの回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 週に3回以上
2. 週に2回程度
3. 週に1回程度
4. 月に1～3回程度

問36 あなたは、現在受けているリハビリに満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 満足している
2. おおむね満足している
3. ふつうである → **問37**へ
4. 少し不満である
5. 不満である

どのような点で満足または不満を感じていますか。具体的にご記入ください。

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問37 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

1. とても関心がある
2. ある程度は関心がある
3. それほど関心はない
4. 今はわからない

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のためのみに行うものを指します(問39も同様)。

問38 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと(リビング・ウィル)について、どう思いますか。(最も近いもの1つに○)

1. 賛成である
2. 反対である
3. わからない

問39 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

1. 望む
2. 望まない
3. 今はわからない

問40 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われませんか。(最も近いもの1つに○)

1. 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
2. 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
3. 住み慣れた自宅で過ごしたい
4. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなどで過ごしたい
5. どこでもよい
6. 今はわからない
7. その他 ()

★ **介護保険制度などについておたずねします。**

問41 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
5. その他 ()

問42 介護保険のサービスを利用する時に支払う利用者の負担割合(1～3割負担)についておたずねします。あなたにとって利用料の負担感はどうですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------|----------|---------------------|
| 1. 大きい | 2. やや大きい | 3. 普通 |
| 4. やや小さい | 5. 小さい | 6. 利用したことがないのでわからない |

問43 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者等)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★ご本人を介護している方についておたずねします。

※以降の質問は、ご本人を介護しているご家族などにお聞きするものです。ご本人が施設に入所しているなど、介護しているご家族などがいない場合は、回答は不要です。

※ここからは、質問文の中の「あなた」とは、あて名のご本人をおもに介護されている方を指します。あて名のご本人は、「ご本人」と表記します。

問44 ふだん、ご本人の介護やお世話をしているのはどなたですか。ご本人から見た続柄でご回答ください。なお、ホームヘルパーや家政婦等は除きます。(おもに介護やお世話をしている方おひとりに○)

1. 配偶者
2. 子、またはその配偶者
3. 孫、またはその配偶者
4. 兄弟姉妹
5. その他の家族・親類
6. その他(近所の人・知人など)

問45 あなた(おもな介護者)の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 30歳未満
2. 30～39歳
3. 40～49歳
4. 50～64歳
5. 65～74歳
6. 75歳以上

問46 あなた(おもな介護者)の性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問47 ご本人との同居の状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

1. 一緒に住んでいる
2. 別に住んでいる

問48 あなた(おもな介護者)の健康状態はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

1. よい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問49 ご本人に対する介護年数についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 半年未満
2. 半年以上1年未満
3. 1年以上3年未満
4. 3年以上5年未満
5. 5年以上10年未満
6. 10年以上

問50 あなた(おみな介護者)が行っている介護等についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 屋内での移動の介助 | 2. 外出の付き添い、介助、送迎等 |
| 3. 入浴の介助 | 4. 食事の介助 |
| 5. 本人用の食事(介護食等)の準備 | 6. 衣服の着脱や身だしなみ等の介助 |
| 7. 排せつの介助 | 8. 掃除・洗濯、買い物などの家事の援助 |
| 9. 服薬の管理 | 10. 医療面のケア(経管栄養、ストーマのケア等) |
| 11. 認知症・状態への対応 | 12. 夜間のケア(排せつ、体位交換等) |
| 13. 金銭管理、諸手続等の援助 | |
| 14. その他 () | |

問51 あなた(おみな介護者)は収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 会社や団体等の勤め人(常勤) |
| 3. 会社や団体等の勤め人(パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員 |
| 5. 自営業主、個人事業主 | 6. 短期・不定期のアルバイト等 |
| 7. 内職 | 8. 収入のある仕事はしていない |
| 9. その他 () | |

問52 あなた(おみな介護者)は、これまでに、介護のために仕事を辞めたり、転職をした経験がありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問53 現在お仕事をされている方にお聞きます。

(1) あなた(おみな介護者)は、介護をするにあたり、働き方の調整などを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 特に調整などはしていない |
| 2. 介護のために短時間勤務など労働時間の調整をしている/調整できる仕事に転職した |
| 3. 介護のために休暇を取りながら働いている/休暇を取りやすい仕事に転職した |
| 4. 介護のために在宅勤務をしている/在宅勤務が可能な仕事に転職した |
| 5. その他 () |

(2) あなた(おみな介護者)は、今後も仕事をしながら介護を続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 問題なく続けていけると思う | 2. 問題はありますが、何とか続けていけると思う |
| 3. 続けていくのはやや難しいと思う | 4. 続けていくのはかなり難しいと思う |
| 5. わからない | |

問54 介護で困っていること、感じるなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の方法、認知症への対応方法などがわからない
2. 本人の希望に沿った介護ができているかわからない
3. 身体的な負担が大きい
4. 精神的な負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある
7. 介護を手伝ってくれる人がいない
8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがるらない
9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない
10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない
11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある
12. 相談先がない
13. 特にない
14. その他 ()

問55 あなた(お主な介護者)は、介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族、親せきなどの身内
2. 友人、知人
3. 自治会や老人クラブの役員など
4. 民生委員や公民館など
5. 市町村役場や福祉事務所など
6. 地域包括支援センター
7. かかりつけ医院、病院など
8. 社会福祉協議会など
9. 介護保険サービスの事業者 (ケアマネジャーなど)
10. 介護保険施設やサービス付き高齢者向け住宅の支援員、相談員など
11. 相談する相手はいない
12. その他 ()

問56 認知症についておたずねします。ご本人は、医師から認知症と診断されていますか。また、診断されている場合は、その日常生活自立度はどの程度ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 認知症と診断されていない
2. 何らかの認知症を有するが、日常生活は社会的にほぼ自立している
3. 日常生活に支障をきたす症状が見られても、誰かが注意していれば自立できる(たびたび道に迷う、買い物や金銭管理にミスが自立つ、服薬管理ができない)
4. 日常生活に支障をきたす症状が見られ、介護を必要とする(着替え、食事、排便が上手にできない、口に物を入れる、徘徊等)
5. 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な状態で、専門医療を必要とする

問57 前の問で認知症と診断されていると答えた方におたずねします。ご本人の変化に気づいてから、最初の受診までの期間はどれくらいかかりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上1年未満 |
| 3. 1年以上3年未満 | 4. 3年以上 |
| 5. わからない | |

問58 前の問で「3. 1年以上3年未満」「4. 3年以上」と答えた方におたずねします。受診までに期間を要したのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 変化が年齢によるものと考えていたから
2. どの医療機関や診療科を受診すればよいか分からなかったから
3. 受診に関して家族の同意が得られなかったから
4. 認知症であると診断されることが怖かったから
5. 病院の予約がなかなかとれなかったから
6. その他 ()

問59 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ()

問60 にんちしょう かん そうだんまどぐち し 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(いずれか1つに○)

1. はい

2. いいえ

問61 ほんにん ざいたく かいご こんご じゅうじつ おも じゅうじつ ご本人を在宅で介護していくために、今後、充実してほしいと思うサービスがありますか。(充実してほしいものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. したく かよ と 泊まりで受ける 自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス
2. したく かじ かいご てだす 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
3. したく やかん かいご 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
4. したく けいりょう 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
5. かよ かいご 通いで介護やリハビリを受けるサービス
6. とくべつようごろうじん たんきかんしゆくはく 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
7. じょうきょう おう したく かよ と 泊まりを 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

8. かてい かいご かんきょう とどの 家庭での介護環境を整えるサービス
9. ほこうき くるま ふくしようぐ か だし 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
10. と つ だん さ かいしよ う じゅうたくかいしよ う 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

11. ざいたく う けいりょう 在宅で受けられる医療サービス
12. にんちしょうせんもん しんりょう 認知症専門の診療
13. じかんたいおう びょういん しんりょうじよ 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

14. き がる かよ かいご ぼう たいそうきょうしつ さわ かい かいしよくなど 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
15. しょくじ はいたつ 食事を配達するサービス
16. ちいきじゅうみん たす あ みまち はいかい はっけん つうほう 地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）
17. かいご かぞく けんこうかんり せんもんてき かいごけんしゅう そうだんまどぐち せっち 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
18. ざいたく かいご ほじょようひん など しきゅう 在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給
19. か もの つういん がいしゆつじ いどうしえん 買い物や通院などの外出時の移動支援
20. ざいさんかんり にちじょうてき きんせんかんり しえん 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
21. その他（ ）

問62

高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスの内容など）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

（ご本人記入欄）

Form area with horizontal dashed lines for personal input.

（ご本人を介護しているご家族等の記入欄）

Form area with horizontal dashed lines for family input.

★質問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

- ★記入もれがないかお確かめください。
★記入した調査票は、折りたたんで返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。（切手は不要です。） ⇒ プレゼントに関するお知らせ（裏面）へお進みください

かいとうしゃさま ちゆうせん あんない ご回答者様へのプレゼント抽選のご案内

このたびは「高齢者等生活意識調査」にご協力いただき、誠にありがとうございます。ご協力いただいた皆さまへの感謝の気持ちとして、プレゼントをご用意いたしました。ご希望の方は、ご当選時の連絡先として、メールアドレスをご記入ください。

ちゆうせん はっそう 【抽選・発送について】

1. プレゼントの品は「百花蜜と季節のジャムのセット」
2. 当選者数は**90名**
3. 発送時期は令和7年12月上旬頃を予定
4. 当選の発表は、調査委託先（和歌山社会経済研究所）より電子メールにてお知らせします。その際、プレゼント送付先のご住所・お名前を確認させていただきます。
5. 連絡先の記入がない場合は、抽選対象外となりますのでご注意ください。



「プレゼント」をご希望される方は、ご連絡先として「メールアドレス」をご記載ください。

※ 連絡先は、本調査票から切り離して管理し、抽選および発送の目的に限り使用いたします。

(メールアドレス)

@

※ 迷惑メール対策などで受信制限をされている方は、事前に info@wsk.or.jp からのメールを受信できるよう、受信許可（ドメイン指定受信・受信リスト登録等）の設定をお願いします。

令和7年度 和歌山県高齢者等生活意識調査 結果報告書
(要支援・要介護者調査)

令和8年3月

発行 和歌山県福祉保健部福祉保健政策局長寿社会課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地